第廿二輯第十號　昭和十四年十月一日

大正六年九月十四日第三種郵便物認可・昭和十四年 十月 一日印刷納本・昭和十四年十月五日發行・每月一回一日發行・

社會と建築

10

日本建築協會

會　　告

昭和十五年度用會員名簿調製に當り豫而各方面より待望の關係業者案内欄開設致候につき下記に依り奮而掲載御申込あらん事を。

寸　法　約三糎、九糎　左横組

掲載料
- 事務所案内欄　一欄につき金參圓也
- 請負並材料業者欄　一欄につき金五圓也

締　切　昭和十四年九月中

發行日　昭和十四年十月下旬の豫定

昭和14年9月

社團法人　**日本建築協會**

一枚のルーフイング・一滴の瀝青をも使はず而も絶對防水の新工法
トタン・スレート・陸屋根如何なる屋根の雨漏りも完全且つ迅速に手直出來る修繕材



陸屋根斷面

スレート屋根防水斷面

輕量屋根斷面

◇戰時國策に應へ如何なる屋根の故障も雨漏りも簡單に手直し出來る修繕材

1. 糊狀液狀に分れ兩者の合理的配合に依り適確なる修繕目的を達す
2. モルナイト自體寒暑の影響を受けず龜裂脫落無く耐久力半永久的且黑色スレート色、灰、錆、白、綠各色あり
3. 施工簡易素人にも簡單に使用出來る

◇ルーフキング防水層に依らず一滴のアスファルトを使用せぬ新時代の簡易防水工法

1. 熔融せるアスファルトを使用せざる爲現場で素焚の必要なし
2. モルナイトは氣溫に對する感度殆どなく爲に龜裂剝離を起さず絕對完全防水となる
3. 新築工事の場合の外既設防水修理の場合も大小に不拘自由に修繕可能
4. 施工上特別の技術を必要とせず

御照會の節は「建築と社會」廣告の旨御申添下さい。詳細カタログ仕様書送呈

特殊塗料と建築材料

大阪 

大阪市西區土佐堀船町23（大阪商工ビル內）
電話土佐堀(44)4195・4731・6696振替大阪13903

建築と社會

第22輯　第10號　昭和14年10月發行

十月號

目　次

卷頭言 …… （1）
建築技術者と國民徴用令 …… 大島三郎（2）
建築技術者の不足と國民徴用令 …… 伊藤滋（3）
建築技術者の徴用に就いて …… 山田守（5）
徴用令と建築家の大陸開眼 …… 吉村辰夫（7）
建築徴用所感 …… 中山元晴（10）
建築技術者と國民徴用令 …… 新名種夫（14）
壽瓦斯について …… 關谷房春（16）

☆紫煙室☆

滿洲瞥見記 …… 大石忠夫（24）
流線型是非 …… 山口正（26）
執筆者紹介 …… （28）

☆文獻☆

アメリカ都市計畫家協會提供の映畫 "The City" ……
市街地價再增進への一要素としての交通 ……
中學生によつて勸められた街路用紙屑籠 …… 星野一雄（29）

☆時報☆ …… （33）

☆古建築新抄☆

精巧・巧緻 …… 藤原義一

☆新建築欄☆

日本・眞田山公園水泳場（大阪）山中邸（兵庫縣武庫郡）
橿原神宮前綜合驛（奈良）外國・「ルーデンドルフ將軍」少年宿泊所
デュツセルドルフのジードルンク・スキス地方博覽會の建築、バイエルン林森地帶の鄉土建築
ミュンヘン郊外のルドキツヒ・ジーベルト・ジードルンク：カリホルニヤの住宅：ブルツクリンの住宅：リンコルンの住宅：完全に空氣調整せられた住宅：グラス・ブロツク使用の住宅懸賞1等當選圖案・同2等當選圖案

會報 …… （34）

巻頭言

今日の國際情勢が一日として止まることなく變化移行しつゝある様に、今日我國の政治經濟、社會の機構も根本的に建直らんとし、又建直りつゝある。そして統制と統一が此の未曾有の難關を乘り切らうとする我國の最も切實なる課題となつてゐる。

如何なる課題も、如何なる方策も、之れを樹立するのは、「人」でなければならない。即ち國是が要求するところの國内の機構刷新も革新も、其處に必要なる人的資源の整備、配置の適正があつて、はじめて達せられるのである。そして今日、日本が持つ多數の人的資源こそは、我國明日の備への基礎となるべき最も貴重なる資源でなければならない。

然るに、現下の超非常時局下に於いて、如斯貴重なる人的資源が如何に國策遂行に動員されて居るかを仔細に點檢すれば、其處には幾多の矛盾撞着が存在して居る事に氣が付くと同時に、此のかけがへのない人的資源の浪費と損失が各所で繰り返して居る事實を發見するであらう。

今日の興亞の偉業が要請した技術者の動員中、一に脚光を浴びて登場した我が建築技術員の徴用に關し、果して其處に如斯き矛盾撞着が存在しなかつたであらうか。此の點に關する反省と檢討の必要が充分ある様な氣がする。

〃國を思ふ心に二つはなかりけり、戰の庭に立つも立たぬも〃なのであつて、國家が總力戰を以て、此の聖戰目的達成に邁進して居るとき、我々は此の建築を以つて國家に役立たんとの愛國の赤誠に燃えてない者は一人もないと思ふ。

が然し、今日の建築界の機構を以つてして果して、此の革新の波に乘つて報國の實を擧げ得るであらうか？

我々に課せられた興亞の偉業は、學界に、業界に、即ち建築界のあらゆる部門に向つて再吟味と再檢討の必要が要請されて居るのではあるまいか。

建築技術者と國民徴用令

大島三郎

衣食住は人間が生きる爲の三大要件として誰にもよく知られてゐる事柄であるが民族活動の進展せる所必ずこの衣食住の進展がなくてはならない。特に進展先きの現場に於ける技術者を必要とするものは住即建築であつて、建築技術者は民族の進展する所にこれに伴つて進展する事を要求さるゝものである。東洋に於ける正しき明日の文化を建設する爲に我民族の大陸進展を見たる今日建築技術者の現地への進展の必要は當然の事である。

軍に於ける建築技術者必要の量的質的程度は如何なるものなるかは我々の知るを得ないところであるが建築技術者の徴用も又止むを得ざることであり、徴用されたる若き技術者諸君が勇躍之に赴いたのは當然の事ながら誠に心強く感じた次第である。建築技術者が第一に徴用されたる事は如何に建築技術が東亞再建に重きをなすものなるかを立證するものであつてこの際社會の建築技術者に對する認識を新たにせしめると共に建築技術者自から顧みて相勵み自重せなければならないのである。

私共は民族の大陸進出に平行して建築的建設を希望し徴用にも贊意を表する者ではあるが軍に對しては建築學會長より厚生大臣に提出の嘆願書の諸條件を考慮に入れらるる事と當建築團體が現に銃後に於て抑當國策的なる建築に努め居る其の一人の技術的負擔と軍の現地に於ける一人の技術的負擔の分量を十二分に睨合せて其の平衡を失せざる様配慮願度き事である。軍が其の軍機の機密と云ふ一言のもとに其の持つ仕事の輪廓をも示さず一人の技術的分擔の程度も示さずして國策的仕事の荷重に苦しめる乏しき建築技術團より盲目的に抜き取る感を抱かしめざる様に實行され度いと思ふ。　（昭和十四年九月七日）

第七回 全國都市問題會議總會

全國都市問題會議第7回總會は明秋を期して東京市に開催

第1議題　「本邦都市發達の動向と其の諸問題」

第2議題　「都市の人事行政」

建築技術者の不足と國民徴用令

伊藤　滋

先般國民徴用令が發布され且つ急速に實施され然も其の最初の被徴用者が建築技術者であつたと云ふ事に就いてもつとも感慨深いものは僅か1年半前乃至2年前迄、日本の上下一般は勿論建築技術者自身さへも、事變下に於ける建築事業界をどう見て居たかと云ふことであります。事變發生と同時に直ちに國内不急事業の繰延、中止が行はれたその最初に擧げられたのが所謂營繕事業であつたのであります。資金調整法は同じく民間の不急工事を制止させました。鐵鋼をはじめとし主要建築材料は殆んど全面的に製造、販賣、使用の制限を受け又輸出入臨時措置法は米材初め外材の輸入の見込みを絶望ならしめました。

政府が興亞事業遂行に最も緊急な必要を認めた技術者養成のため設けた七高等工業學校には一校も建築學科が設けられませんでした。

厚生省の學校卒業生就職の統制實施にも最近迄建築技術者は除外されてゐました。各中等、高等工業學校並に大學の建築學科入學志願者は他の工學科に比し著しく劣勢を示してゐます。建築勞働者及び一部の建築技術の他の工業への轉向が起て來ました。各官廳の營繕部門の安員縮減が云々され又民間建築事務所の閉鎖或は縮少が準備された樣であります。

斯くの如くして事變發生以來、建築事業全般は恰も全面的休止に至るかの如き極度な悲觀的情勢に追ひ込まれたかの如く見えたのであります。

然るに今回戰時人的資源徴用のトツプをきつて發せられた徴用令は、皮肉にも此の最も等閑視された建築技術者に對してであつたのであります。

それならこの徴用令は國内に建築技術者が有り餘つて居るから發せられたのかと云ひますと決してそうではなく、此の發令に先んづる僅か數ケ月前に地方長官を通じて建築技術者の公募が行はれ然もその成績は到底軍の要求を滿し得なかつたからであります。

此等戰爭と建築事業との關係に就いて重大な認識の誤こそ國の爲政府は勿論我々建築技術者自身眞劍に反省しなければならないものと思ひます。

第一には斯くの如き認識の誤りに陷りひいては戰時建築事業の準備に重大な缺陷を起した根本は日本の上下一般がそして又建築技術者自身が建築事業と云ふものを恰も消費體系に屬するものなるかの如き觀念を持つてゐて建築事業が社會活動の最尖端を行くべき生產機構の一部であり從て堂々たる生產體系のものであるんだと云ふ認識と自覺に缺けて居たと云ふ事に他ならないのであると考へます。

此の事實は又平時に於ても社會の各方面に於て建築技術が計畫者の立場に立つことが少く多く既定計畫の實施者たる位置にのみ置かれる原因であります。

第二には、徴用令の發令とは非常手段であつて斯くの如き非常手段をとらねばならなか

つたのは國內に建築技術者が不足して尋常なる方法では之れを得られないやうな窮迫した狀態になつてゐたからであります。

事實我國の建築界內の現勢は國も滿洲も支那もそして官界も民間も山積した建築工事が技術者の不足のため澁滯、遲延のやむなき有樣であつて技術者の爭奪は深酷なものがあるのであります。從つて今回の徵用を受けた所ではその名譽を喜ぶは勿論乍ら一方銃後の責任遂行を如何にすべきかに深い惱みを負はされることは勿論であります。これが對策としてもしも技術者の爭奪の如きのみに進んだとするならばそれは單に一定數の技術者の移動であつて國內生產力の增加にはならないのであります。從て今や技術者不足の對策としての唯一の途は技術者の養成による補充のみであると思ひます。

新設高工に來年度から建築學科を設く可きは遲まき乍ら文部省の當然採る可き義務でありませう。既設の官公私立各學校の收容生徒數の增加をなすべきも勿論であります。殊に最も焦眉の急に問ふ可き中等工業學校生徒の增大に就いては特に文部當局が今迄の如き地方放任の態度から一步積極的に乘り出して貰ひ度いのであります。

然し乍ら之等所謂常道的教育機關にのみまつてゐたのでは到底此の非常時の要求に間に合はないのであつて非常時に非常手段を講ぜねばなりません。それは機械、化學、電氣方面の大會社に於て既に實行してゐる樣に又建築に於ても官廳の一部で實施してゐる樣に、各組織に於て技術者の短期教育を施すことであります。一例を申すならば筆者の勤務する鐵道省に於ては事變發生以來召集により、軍屬派遣により、滿洲及び北、中支交通會社への轉出により極度に建築技術者の不足を來し且つその補充が困難な爲めに今年初頭から北海道、九州に於て中學出を採用し採用後之れに六ケ月の短期建築教育を施行しはぢめ、やがては全國數ケ地方に之れを擴大する豫定であります。此の方法に於ては日本の工業教育の統制とか又被教育者の將來の資格の問題とか考ふべきことは澤山あるのでありますがそれはやがて調整される時がありませう。民間に於ける大組織に於ては直ちに此の方法を研究實施されては如何か、これは自ら技術者を獲得する方法であると同時に廣い意味から內地技術者の外地技術者への義務とも考へられ又國內生產力擴大に對する唯一つの途であるからであります。第三には、今回名譽の徵用を受けた戰士のため銃後技術者たる我々として軍當局に望み度い事である。我々は徵用戰士が何處で如何なる業務に服するか詳に知る事は出來ないし又軍の組織もわからないのであるが、我々として多少疑問に感づることは斯くの如き多數の然も同樣程度の技術者を集められた上、これを如何なる組織によつて動かして行かれるかと云ふ點である。人間の團體活動に組織の重大なるは誰よりも軍自身が最も深く知てゐる筈であるが、特に技術者をして最大の能率を擧げしめるには軍に於ける技術者の體系とその組織とは極めて重要なことであります。我々は今1人の戰士を送るのは平時10人の技術者を失ふに相當します。從て此の貴重な技術戰士を軍に於て十二分の働きをさせて貰ふ樣祈て止まないのであります。

建築技術者の徴用に就て

山田守

大凡事を定むればそれに伴ふ長所美點があると同時にそれに伴ふ短所缺點があるのが通則であつて、美點ばかりあつて缺點のないもの、或は缺點のみあつて美點のないものは特例中の特例であるに過ぎないものである。

資材の統制にしても、或は電氣、機械等の工學卒業者の割當などブーブー云つてゐる人が相當にある。否ブーブー云つてゐる人の方が多い位に感ぜられるのである。そんなにブーブー云はなければならない事であるならば缺點ばかりあつて長所のない様にも聞こえるが、事實そんな馬鹿な事ならば誰が行はんとするか、又誰が行はしめるのであるか、世の中には盲目千人でも眼明も相當にゐる筈だ、害ばかりある事を誰がやらせて置くものか。資材の統制にしても卒業生割當にしても大局から觀れば明らかにこの時局に大いに役に立つてゐるのであつて、この秋この際止むを得ない事柄であり、其小乘的不便とか不都合とかは忍べる丈忍ばなくてはならない事である。其の法規の不完全は改善し、其の上運用の缺點はこれを除去するに努め、一層其の長所美點を強化し、其の短所缺點を縮少せなければならないのである。其の大局的長所美點を認識して以て矢鱈にブーブー云ふきでないではなからうか。

此度の建築技術者に對する國民徴用令の實施も時局下の大局的見地より必要にして止む得ざりし爲に爲されたる事と思ふ。但し如何なる組織であつても一團の建築技術者がチームウワークをやつてゐる際に矢鱈に力を以て引こ抜いてもつて行かれるのは事實相當困るのであるがこの點は學會長の名で出した別紙に歎願書の様に實情を精査判斷の上引つこ抜く必要があると思ふ、勿論この事は次第に考へられて行くものと信ずる。

徴用期間もなるべく短期として順々に「病人に非ざる建築家にして國内に於て一寸手離難いとてその國策に基いた仕事に從事してゐない者は」誰も一度は大陸の土を踏ませ大陸の空氣を吸はせ大陸の水を飲ませる事だ。これこそ我々建築家に必要な事だ。世界の政局がどんなにグラグラしようとも今東洋新文化の建設を中止する事は出來ない、我國はこの使命を第一としてゐるのである。そしてそれを實行する事によつて世界文化に寄與貢獻せんとするのである。我々建築家はかゝる大勢下にあるが故に自己の爲にも又國家社會の爲にも欣然として大陸に赴くべきである。徴用は名譽であるがその有無に關せず誰もが志を大陸に持つ事が大切な事だ。それには先づ一年か一年半を一期として交代するを原則とすればよい。（二期三期踏み止まらんとする者も勿論歡迎する事とすればよいのであるが）

更に私は軍當局へ希望致しますが、あまり取り扱ひ者の好みを入れ過ぎないでなるべく普遍的に人に應じて仕事の方面種類等宜敷を得しめられたいのである。從つてあまり年と

か地位とか現在の軍當局との權衡とかにこだわらない様に自由且つ抱擁力を大にしていたゞき度いものと思つてゐます。

尙ほこれに因んで書き添へ度き事は今は建築技術者採用に困難をする秋であるのに增して徵用令もあるのであるから公私共に建築技術者の移動採用には必ず兩所屬團體の責任者相互の取引とし闇取引は建築家社會でせぬと云ふことに致し度いと思ふ。

次に今一つ付け加へ度きは數千年の文化史を持つ支那大陸である。廣大なる山川湖原を持つ支那大陸である。これが面白くない筈はないのである。こゝの建築を如何にすべきかを大陸の建築家も內地にゐる建築家ももつともつと頭に置いてもよくはないか。過去の支那大陸には相當立派な建築が存する。民の十三陵にしても或は天壇にしても又は曲阜の孔子廟にしてもそれぞれ相當に面白い。然し今日の文化を集中した支那大陸に明日への支那建築に過去の支那建築の眞似ではいけない。これを眞似て構造法丈を新文化的にしたものは歐米人の手に掛つたもの支那人の手に掛つたもの又は日本人の手に掛つたものと所謂現代建築としての滿支の建物には相當にある様式である。これ所謂イージーゴーイングであつて非本格的現代大陸建築である。或は又天津とか上海と北京で見受けられる様に其の代表建築たる大陸の現代建築には英國人の手になる現代英國建築、米人の手に成る現代の米建築、或は佛の或は獨の或は伊の現代建築であるに過ぎないのであつて、眞に現代高度文化の上に立ちて支那大陸の人文と地理とに矛盾なき現代建築の創設は未だ無いのである。この必要なる現代支那大陸の文化建築の創造實踐こそはわれわれ日本の新建築家に課せられたる大使命である。誠に今の建築家は生れがひある時代に生れて來たものである。われわれは進んで大陸を認識しこの大使命に力を傾注せなければならないのである。

（昭和十四年八月二十五日稿）

徴用令と建築家の大陸開眼

吉村辰夫

國家總力戰下に於ける國民の義務は、國の必要に應じて隨時各分野に及ぼさる可く、從つて技能の徴用も自づから此の內に含まるゝは當然である。

然かも其の最初の徴用に當つて眞先に建築技術が撰ばれたことは一其處に如何なる事情あるにせよ一建築其自體の非常時的意義に付て一般の認識を深め得たことは全く慶賀す可き事と謂はなければならない。

從來建築事業と謂へば大半は個人の事業であつたが爲に、其意義の公共性反面は兎角失はれ勝であつた。

已にして一般は建築と土木事業に付て其性質上大いなる差別を與へて、居り從つて此等の受待つ社會公共的役割に對して迄も明確な區別をさへ爲しゐるのである。

又建築家も自ら建築は個人の業務に於て成立し、土木は公共的業務に於て成り立つと云ふ思想に陷つたのであつた。

事實は夫に遠ひなかつた。然し反面、建築事業の公共的領域に對して建築界の認識すら漸く薄れかけた今日世間からは最早全く忘却された態にあることも否めなかつた。

斯る際に建築技術の徴用があつたのである。であるから其に依つて建築界は固より、世間が、更めて建築事業の公共性に付いて覺醒した影響は極めて大きいものがあつたろうと思ふ。

大陸經營の問題は滿洲國創設以來始まつた事ではあるが然も其が國民精神の上に與へた最も重大な効果は國民氣質の變革にあつたと思ふ。

我國民性の特質には謂はば鄕土的安易さに甘んずると云ふ强い願望があつた。國土の環境と天然の惠與とが斯くあらしめたのかも知れない。然しそう云つた中に尙長崎、和歌山縣下又は各地沿岸漁村民が抱懷するやうな熾烈な海外雄飛性の存在を我々は目擊するし又近くは大日向村の分村計畫に於ける雄飛的覺醒さへも知るのである。斯ゝる雄飛的氣分への轉換こそ——例へ夫が生活手段の已むを得ない事情からにせよ——實に海外認識の啓蒙にあることを我々は悟らない譯には行かないのである。

斯く觀すれば、從來の鎖國因循的な國民思想も決して不變のものでは無く、何等かの機會、何等かの時期に於て更に發展性を持つものと考へられるのである。然も斯ゝる全面的轉換こそ今回の事變を契機として當然齎らさるべき豫感がするのである。

又それで始めて日本の將來の發展と充實、所謂東亞新秩序の建設、日支共同團體の樹立と云ふ今日の目標が實力的に裝備せられることになると思ふのである。

徴用令は此の意味に於て應徴者に國民としての又建築家としての多くの啓蒙と幸福とを齎らすことゝ信ずる。

其は先づ**國民思想的に大陸の認識を得さしむる**事である。恐らく一度び大陸を踏めば彼等は從來とは全く異なつた生活の印象を受けるに相違ない。其處で實物を通して幾多の啓蒙が與へられるに違ひない。それらは轉て大陸を眞に理解することゝなり延いては祖國の認識を深めることゝならうし、又東亞の進路を明確にする所以ともなり得るであらう。

新秩序や共同體の達成が何故に必要であるか、又何故に早急に爲さねばならぬかの問題こそ大陸に赴き其處で生活する事に依つて始めて明瞭にされるのであつて恐らく應徴者は此處で先づ大陸に對する活眼を開くに至るであらう。

第二には**自分の技術に付て再批判を爲し得る**ことだ。即ち建築と謂ふものに對して再認識することである。

大陸の建築を見た眼は先づ我國の建築が如何に技術的に難澁のものであり經濟的に高價なるかを發見する。そして彼地の其が如何に簡單なるかに一驚するであらう。その結果或は我國の建築を斯くあらしめた自然の恐威に大いなる呪咀を感ずるかも知れない。

然し一方に於て其が應徴建築家の建築觀を啓蒙する所以ともなるのである。斯くして悟り得た彼等は恐らく自由な開放された立場に置かれるに違ひない。其が建築家として極めて大いなる幸福だと私は思ふのである。

內地に於ける建築家達は例へば構造上の見地からすれば耐震的なることに極めて鋭敏であり神經質である。地震と生活とが切離し得ない內地にあつては其は當然である。已に、我々の仕事の根底には耐震的考察が常識的に横はつてゐる。我々はどんな些細な事の前にも先づ耐震的考察を廻らさねばならない。

然るに大陸に於ける一般建築的要件の中には斯々る問題は無いのである。火の無い所に火事を考へ雨無き處に洪水を思ふの愚は我々の採るところではない。我々は上海其他の土地に於て一般建築の極めて簡易なる構造を實見し非常なる危懼を感ずる。

然して彼地の建築はそれで宜いのである。

寧ろ恐る可きは斯る處に迄耐震構造を考慮するの愚である。

我々は兎角平常の立場に於て物を考へ勝である。即ち構造に對しては常識化した耐震的觀念を以て批判し支配し勝ちである。かゝるが故に先づ內地の建築家が彼地に至つてそれを强制支配することを懼れるのである。又斯る餘分な考察を重ねるに從つて招來される經費の增額は直ちに建築費の膨脹となり、延いて支那或は第三國の建築業者との自由競爭に際して我國業者に不利となることは云ふを俟たないのである。その結果大陸の將來にイニシヤーチブを採らねばならぬ我國技術の進出を阻止することにでもなれば其罪亦大なりと謂はざるを得ない。

「常に土地の材料により、土地の要件に應ずる構造を考へよ」こそは蓋し建築態度の要諦

であらう。

最後に**建築其自體に關する啓蒙の機會が與へられた**ことである。

彼地の建築の規模は尠くとも內地のそれに比して優るとも劣らない。間取りに付ても設計に付てもそうである。之に反して內地の建物は矮少の感無きを得ない夫は永年の風習と材料、規格に影響された爲めであらう、然し建築家は其のスケールに狎れて設計の小細工に努力し過ぎて居る。夫は一面國として技術の特異性を發揮する所以であるかも知れないが、我々はあまりに個性の發揮に努めた結果は形式のヴァライティイを作り街を多彩にしたに過ぎない。然し同時に街を粗雜にし建物を玩具視した譏りを招いたことも考へねばならない。

兎に角、內地の多樣と雜多の都市建築に狎れた眼で巧まぬ材料と樣式に依り統一整頓された彼地の街を見るとき果して彼等は如何なる感慨を抱くだろう！

恐らく其處で彼等の設計的態度には大きな批判と啓蒙が加へられるに違ひない。

要するに徵用建築家達は書物や學術では到底教へられぬ深い技術的精神と大陸認識に貴重な開眼を享くるに相違ない。そして啓蒙された新建築家達が將來の我國建築界を縱橫に活躍する時こそ、新しい東亞の建築技術創設の日なることを私は期待したいのである。

徵用は寧ろ遲きに失した。

大陸建設に對して、一層明確な判斷と實行とが必要とされる今日我建築家達には今後地位の高下、老若の如何を問はず凡てに徵用の來らむことを欲する。

それでこそ始めて時局に對處する建築精神が高揚され、我建築界の大陸發展を礎石付くる所以となろうことを信ずるからである。

建築徴用所感

中山元晴

支那事變勃發以來皇軍の武勳赫々、誠に鎧袖一觸の概を以て大東亞建設の障礙を排除しつつある。銃後にある吾々として眞に感謝に堪へぬ次第である。事變も第三年に入り、長期建設の時節となつて國の總力を擧げて聖戰の目的達成に邁進しなければならぬ秋である。吾々建築に關係するもの此の大建設事業を袖手傍觀出來ない熱意を有する。

從來建築家と言へば單に藝術家としてのみその存在を認められ、悪くすると大工の親方と異るところなきが如く看做され、社會の進歩の爲め、救世經國の事業の爲めには關與する餘地なきが如くに遇されて來たのである。唯建築行政部門に於てのみ建築家の都市構築都市改善に對する希望の一端が充されて居つたに過ぎぬ。

然るに今次事變を契機として建築の重要性大に認められ、銃後に在ては防空建築の完成第一線に於ては軍用建築物の整備、又軍需工業に於ける生產施設の急施等の爲めに建築家の協力を求められて居る。此の防空建築の完成と建築徴用の奏効とは現下建築界に於ける二大事業であると思ふ。吾等は協心戮力此の二大事業の達成に努力しなければならない。

建築徴用の選士が軍屬の服裝に軍刀を佩き、炎天下の宇品灣頭打上花火に氣勢を添へられ人の浪、旗の浪、萬歳の聲に送られて「ランチ」で本船に向つて出發した時の光景は全く皇軍將兵の出征と異るところはなかつた。皇軍出征の時常に宇品運輸部構內にある宇品凱旋館大「ホール」內に於て、廣島縣並に廣島市主催の下に出征將校の送別乾杯を行ふ習はしとなつて居る。今回の建築徴用者も服裝が將校待遇になつて居ると同樣に、凱旋館大「ホール」內に於て盛大なる送別乾杯が行はれた。陸軍運輸部參謀長、第五師團經理部長、在鄉軍人會長、陸軍省將校及び建築技術官、厚生省事務官、廣島縣知事、廣島市長等臨席の下に盛大嚴肅裡に擧行され建築報國の一端茲に緒に就けりの感を深くした。輸送指揮官も見送りの大衆も、立派な學校を出た教育のある人々といふことで態度極めて丁重である。吾等建築同僚も灣頭に旗を振り萬歳を叫んで吾等が建築選士の門出の爲めに心から祝福した。

建築徴用は他の技術者徴用と同樣に國民精神總動員法の發動に基くもので、國家が必要とする建築事業に於て適當なる人智を徴用するのである。諸種の事業に於て事業執行の容器となるところの建築設備に付て、建築家の協力を求めなかつた從來の遣り方が寧ろ間違つて居たのである。新支那の都市建設に於て、軍の兵舍、病舍の建設に於て將又時局產業の生產施設に於て、建築技術の大量協力を要することは當然である。現下社會の各方面に於て、近代文明に於ける有力なる部門としての建築の重要性を漸次認識し、建築技術尊重の機運の表はれ來れることは誠に慶賀に堪へないことである。

吾等は建築報國の熱意に燃える。技術の限りを盡して東亞建設の大事業に參畫することを光榮とする。然し吾等の熱意にも拘はらずその効果の揚らぬやうなことがあつては甚だ殘念である。唐突の場合而も最初に行はれた建築徵用に付ては當局も更に改善工夫を凝らされることと思ふので、吾ゝ建築家の希望意見を率直に述べて折角の制度に有終の美を齎らすことは徵用に熱意を有するものの當然の務めと考へる。若し缺陷を認められたらば當局者も活淡に之を改良して折角の制度を活かして戴き度い。

現在徵用の事務は各府縣の職業課に於て之を取扱ひ、職業紹介所に於て實務を掌る。之は技術者登錄の申告簿に基き軍の要求に應じて選擇するものと考へられる。其の選ばれたるところを見るに忌憚なく言へば形式主義、數量主義であつて、選ばれる建築家の技能、特徵は全く無視されて居る。家庭の事情を調査し成るべく獨身者を徵用する方針はよく解るが、その選考に當つて俸給の安いものをのみ目をつけるのは、豫算の關係からかも知れないが事務能率の上からは必ずしも當を得た方法ではない。豫算關係からかとも思はれるもう一つの點は、徵用後の資格を雇員として徵用することを固執することである。官廳、地方廳に於ける技手をも雇員として採用しやうすとる。口の惡い人が赴任旅費を儉約するのだらうといふが、さう思はれても仕方のない程無理な方法で採らうとする。その爲めに徵用後同窓の後輩との間に悲喜劇を生ずることにもなる。

又俸給額を定める場合にも本俸本位で、現場手當等の斟酌をしない爲めに、徵用後現地にて何割かの手當を支給されても本人の實收入には何等變りのないこととなる場合がある。非常時局下の御奉公に於て金錢上のことは云爲すべからずとはいふものの、士氣に關することは爭はれぬ。又徵用者の服制が定められ、軍刀其の他の入手甚だ困難なるにも拘らず、支給せらるるところの支度料は甚だ輕少で實情に添はぬ嫌ひがある。更に身分上の事に就て言へば中央官行に勤むる官吏は現地勤務に依て恩給年限が何倍かに加算される恩典があるが、其他のものに於ては此の點は全く顧みられて居らぬ。殊に地方廳に勤務する營繕技員は土木、電氣等の技術官と異と所謂待遇職員でない爲めに同じ地方廳から徵用せらるる場合建築家のみ甚だしく不利である。地方在住の建築家を徵用する場合にはこれらの點に付ても充分考慮することが必要である。更に吾人の憂ふるところは新卒業生が徵用せらる場合である。各自の特徵、希望を頓着するところなく、又基礎的準備も出來ないものをその儘徵用して、一種の型に嵌め込むことは本人の爲めにも建築界の將來の爲めにも不幸である。其の他擧げ來れば限りもなく色々不合理なところも多いが、要するに量を充すに急にして質を顧みる遣り方である。

然らばかゝる意義ある事業の完成を期し種々の欠陷を除去する爲めにはどうすればよいか。

第一に徵用事務を掌る職業課、職業紹介所の係員が建築に對する正しい認識を持つことである。若し理解がゆかなければ建築專門家に聽くことである。建築徵用事務に付ては建

築家は全然無視されて居る現狀である。餅は餅屋にの諺の如く、建築のことを建築家に聽かないでどうして完全を期することが出來やうか。

更に遡つて考へれば軍部と建築界との連絡をもつと緊密にすることである。軍が直接に建築界に呼びかけ建築界から軍の緊急の用に役立つ人を必要なだけ選んで提供するやうにすることが出來れば最も理想的である。

かくする爲めには何よりも先づ建築界そのものの統一が必要である。軍屬、官吏、公吏並に民間建築家を一丸として人事の交流を爲し得るやうな機構を造ることである。此の場合實際問題として軍屬を自由に民間に轉任することは出來ないかも知れず、官吏も恩給其の他の關係で特別の場合を除き不可能かも知れない。寧ろ官公吏、民間より軍に徵用されることの方が多いと思ふ。從來建築家の人事は同じく官吏の內でも役所が異ると轉任は中々困難であり、殊に官民の人事交流の如きは殆ど不可能である。現在建築家の仕事の內容は官公署の事業體に於ては主として設計を爲し、監督行政を掌る都市計畫、建築取締の部門に於ては都市の計畫と一般民家の取締りに專念して居り、民間の建築家は民家の設計又は一般建築の施工に從事し、此の外學校の教授は建築の學術理論につき後進を指導する。各々自己の好めるところに從ひ特徵技能に應じて自ら分れるものであるが、建築界も非常の場合、之れら建築家の彼此融通有無有通、するの途が開かれれば極めて大なる利益を得られることと思ふ。現在相融通する上に於て困難な原因の一つは、建築家が現在の位地に固定し過ぎるといふことにありはしないか。固より各人の特徵を無視することは出來ないが、建築全般に付ての理解を缺くことが建築家各自の特徵發揮を鈍らし、普通の事務家と異るところなきに至らしめる。建築家は各々自覺と努力とに依て小さき天地に固まらず、建築各部門に對して理解を持つやう努めなければならない。次に使用者又は上司の立場に立つ人が非常の場合に於て建築家を互に融通することに理解と同情とを持たなければいけない。又此の方法を圓滑ならしめ、徹底せしめる爲めには建築界に强力な中央統制機關を置き、有力なる人格者を中心に持たなければならない。その爲めには建築家が自己の才を恃んで互に相反撥することを避け、偶像的にも中心人格者を造り上げなければならない。同じ技術界の仕事に於ても建築は人類の生活に極りて密接微妙な關聯を有する。一般社會人の建築に對する理解を待つ迄もなく進んで社會を啓蒙し社會の改良をしなければならない。建築が惡いが爲めに起る國家的、人類的の大損失は今更繰返す必要のない程のことである。程築家全般が協力して自ら之を爲すに非ずんば百年河淸を待つに等しい。建築家はいつまでも職人氣質に自己滿足することなく、社會教育、國家發展の溫床を造るのだといけ自覺に立たなければならない。

次に軍部の徵用方針並に建築機構に付て一考を煩はし度い。先づ其の徵用方針に付て一言すれば、現在の徵用方法に於ては民間の有力なる方面の利用が足りないのではないかといふことを虞れる。現在各種の建築統制を受けて一般民間の建築事業は激減して居る。從

て民間の建築事務所は仕事が減少し中には無くて困るところもあると思ふ。かゝる事務所を利用して、設計の下請けをさせるとか、事務所主以下全部を徴用して適當な方面に其の技能を揮はすとかすれば、部隊長以下よく纏まつた立派な一つの建築部隊が出來る。やがて聖戰の目的達成せられ民間建築事業も盛になる頃、徴用を解除して元の設計事務所に還元することとすれば、軍民共に利益を得、所謂有無相通じて極めて結構なことと思ふ。或は軍機漏洩といふことが反對の理由として擧げられるかも知れないが、從來施工の場合に於ては請負人には書類圖面を與へて居るのである。軍機漏洩に付て請負人は心配ないが設計事務所は信用がならぬといふことはどうしても首肯出來ない。是非是は研究して戴き度い。次に現在召集されて第一線に活躍し又は原隊に居る勇士の中には建築專門家にして優秀なる人も相當に居るのである。かゝる人々を建築技術を要するところに廻せば其の人の特徴を生かし得ることとなるのである。かういふ方面の研究をされては如何であらうか。次に軍の建築機構を見るに、現在海軍には建築局あり陸軍には建築課がある。海軍建築局長は土木技術官であり、陸軍建築課長は陸軍大佐である。夫々の最高方針に依り然か定められて居ることと思ふが、建築のことは建築家でなければ本當の事は分らない。如何なる建築家を徴用すべきかといふ場合に、勿論建築技術官の意見を斟酌されることとは思ふが、更に慾を言ふならば、建築界の空氣を充分察知する爲めにも建築技術者を建築部門の首腦者とすることである。更に又百尺竿頭一歩を進めて建築界の中心的人物を顧問として招聘されては如何であらうか。國家の凡ゆる方面に於て再組織、再編成の叫ばれる秋である。聖戰の目的達成を圖り、東亞建設百年の大計を樹立完成する爲めには既往に囚はれず再出發することが必要であると思ふ。

建築の事業が眞に國家社會に役に立つのは之からであると思ふ。大東亞建設といふ重大事業遂行に際して、幸にも吾々建築家に協力を求むるの手が差し延べられた。此の機會に於て建築界の大同團結を計り、建築全般の向上發展を圖り度いものである。

建築技術者と國民徴用令

新名種夫

國家總動員法第4條の規定に基き、本年7月15日より國民徴用令が實施せられた。（朝鮮、臺灣、樺太、南洋等の殖民地では10月1日より實施）

徴用令の發布を必要とした理由は、事變に伴ふ重工業の發展に依つて、夥しい技術者がその方面に吸收せられたことと、多數の青壯年者の兵役に動員されたこととの爲に、特に熟練工及び技術者の不足著だしく、聖戰目的遂行の爲に國家の必要とする人員を、個人の自由意志を基調とする方法では、到底滿足に集めることが出來なくなつた爲である。

被徴用者の業務の範圍は、國家總動員法第3條に規定せられてゐるものであるが、最初その業務種目中に建築及土木は含まれてゐなかつたものを、第3條の9號（前各號ニ揭クルモノヲ除ク外勅令ヲ以テ指定セル國家總動員上必要ナル業務）に依つて、7月5日徴用令公布の間際に勅令を以てこれが追加せられ、而もその實施に當つては、他の業務に先じて第1に建築技術者の徴用を見たことは、政府が時局下に於ける建築技術者の重要性を、この徴用令の發布を機會に、初めて、而も切實に認識したことを表明するものであつて、事變後機會ある毎にこのことを强調して來た我々建築關係者としては、當然であり而も餘りにも遲蒔であつたとは言へ、一應我意を得たりと言ふべきである。

他の技術者に先じて、眞先に建築技術者に徴用令の適用を必要としたといふことは、とりもなほさず建築技術者の時局的重要性と、その極度の人員不足とを意味するものであつて、本年度新學年の開始に當つて、大學及專門學校等の工科に於て、各學科共定員の增加を當局に申請した際、建築及土木の兩科目に對しては、必要なしとしてその增加を認めなかつた當局も、本年度は之非ともこれを認ざるを得なくなるであろう。

建築技術者に對しては徴用が行はれる迄に、各府縣の職業紹介所を通して、既に再三國家の重要事務に携はるべき人員を建築技術者を擁する各方面に求めたのであるが、その成績が思はしくなかつたといふことは、一般の建築關係事業に於ても、徴用前既に建築技術者の冗員を少しも有しなかつたことを裏書するものであつて、一方に於て建築家自身も充分に自己の立場の重要性を自覺し、滅私以て邦家の爲に全力を盡すべきは勿論であるが、國家も亦建築技術者を平和的不急產業にのみ關與するものの如き先入觀を捨て、機械、電氣、鑛業等の方面と同樣、速にその人的資源の涵養に努め、內に對しては、徴用の影響に依る內地事業の停頓を救ひ、外に對しては、國家總力戰下に於ける建築技術の重要性を確認し、建築が總ての技術の動員に先行すべきものであることを認識して、大陸建設の根本計畫を樹つべきである。

建築技術の進出の遲れた大陸が、その住宅難の爲に如何にその建設事業に支障を來しつ

つあるかを、この機會に考へる必要がある。

建築技術者の徴用に關して、建築學會より厚生大臣宛の意見書が提出されてゐるが、これに對してはその2の『徴用人數ヲ指定シ其人選ニ當リ主腦者ノ進言ヲ斟酌スル云々』の1項以外は贊成である。

厚生省の取扱もこの項のほか略學會の意見通になつてゐる樣であるが、尙慾を言ふならば、給與の査定に當つて收入の實狀を充分斟酌され度きことと、內地勤務者に對しても指定の場所に勤務することに依つて生活に支障の起らない程度に充分の考慮を拂はれむことを望む次第である。

埋　め　く　さ

● 雜誌「ダイヤモンド」主催の座談會で、阿部眞之助が次の樣に言つてゐる。——フランスのマジノ・ラインでは要塞の內外で氣壓が違ふ、要塞內の氣壓が高いので毒瓦斯が來ても要塞內に入らぬ。だから毒瓦斯も要塞を落すに足らぬ。と

過日大阪市役所建築科會で行つた防護室の防毒實驗は、極めて僅かな氣壓の相異に依つて充分に毒瓦斯の侵入を防止し得ることを立證した。マジノ・ラインの恐るべきはそんな瑣細な點の遙か彼方にある。

● 近刊のドイツチエ・フオルクスヴイルト誌所載のウイルヘルム・グレツクナー博士の統計に依ると、1938年度のドイツの建築狀況は前年に比較して勞働雇傭數に於て14%增、建築總費に於て 1億マルク增の 110億マルク（1932年度は23億マルク）といふ躍進を示してゐるが、これは80%まで政府方面の建築が占めて居り、勞働時間も 8.2%延長されてゐる。

尙新しい建築の中で地下建築が激增してゐることは驚くばかりで、全體の70%近くを占めて居り、ドイツが今日に對して久しく準備してゐたことが充分に察しられる。地上及地下建築の割合は次の通である。地下建築 69.7%地上建築 27.0%

● 本年五月號の「大大阪」の電燈50周年記念號に、明治22年 5月大阪電燈が營業を開始した頃の話が載つてゐるが、當時の社員の給料を規定した同會社の定款に面白い數字が出てゐる——

第51條　當會社ノ給料ハ左ノ如シ

社　長	月給	50圓以上	150圓以下
取　締	同	15圓 同	30圓 同
支配人	同	30圓 同	70圓 同
副支配人	同	20圓 同	50圓 同
技　師	同	50圓 同	150圓 同
書　記	同	10圓 同	30圓 同
技　手	同	10圓 同	50圓 同
手　代	同	6圓 同	12圓 同

——當時の貨幣價値と今日の其とは雲泥の相異があるから上の金額そのものは今日問題ではない。問題になるのは各職相互の給料の比較である。技師の給料が社長と同等であり、技手のそれが取締役を凌駕してゐる。

技術者萬能の聲さへ聞かれる今日、諸君以て如何となす？

● 競爭入札制はどうも低物價政策徹底の障碍になるといふので、最近政府の買入實拂は「當分の間隨意契約によることとし、適正な價格に於いてストツクに應じ注文を發すること」になつた。これは政府の大英斷と言へる。

建築工事に對しても次第に同樣な方法が用ひられる樣な傾向になりつつあるが、「特定の業者と隨意契約を結ぶ」制度は種々弊害を伴ふ事が認められた結果、競爭入札制が出來たわけであるから、この點を適當に考慮して弊害を除去する方法が講ぜられるならば、隨意契約は寧ろ今日の時局に適應したものと言へる。

毒　瓦　斯　に　就　て

關　谷　房　春

空襲時瓦斯彈投下又は瓦斯雨下等のありたる時これが完全な防護をいたしますには、國民一般がその瓦斯の種類、性狀等を十分認識しておいて誤りなく落ついて防護することが肝要であります。

實際に用ひらるゝ瓦斯の多くは眞の瓦斯狀のものは甚だ少く實は霧狀又は雲狀に瀰散せる液體、若くは固體であつて決して嚴格なる意味の瓦斯體ばかりでない。然し一般に人體に直接影響を與へ其のために戰鬪力を減ぜられるものを毒瓦斯と稱してゐます。即ち人體又は動物に對して外部的に若くは身體の內臟に直接生理的に毒作用を及ぼしこれによつてその生命を奪ひ或は完全なる身體としての官能をに一時的又永久的に破壞するのであります。

A瓦斯の種類及び特性（別表參照）

甲、瓦斯は生理的、傷害發現の遲速、戰術的特性等により分類し得るのであります。

一、生理作用による分類

1.　窒息性瓦斯

窒息性瓦斯は氣狀となりて効力を現はすもので呼吸器特に氣管及び肺を冒すものであります。

例、鹽素、ホスゲン、ヂホスゲン等

2.　催涙性瓦斯

催涙性瓦斯は氣狀又は微粒子となりて眼を刺戟し濃度小なる場合でも、催涙し一時視力に障碍を來します。

例　クロルピリン、鹽化アセトフエノン、臭化ベンジル等

3.　クシヤミ性瓦斯

クシヤミ性瓦斯は大體において固體微粒子となつて効力を現はし鼻腔、咽喉等を刺戟しクシヤミ、咳嗽、嘔吐等を催すのであります。

例　ヂフエニル鹽化砒素、ヂフエニル靑化砒素、アダムサイド等

4.　中毒性瓦斯

中毒性瓦斯は氣狀をして効力を現はすもので主として神經系統又は血液に作用するが、普通空氣よりも輕く速かに擴散する。

例　靑酸、一酸化炭素等

5.　糜爛性瓦斯

糜爛性瓦斯は液狀及び濃厚瓦斯においては接觸において皮膚に發疱を來し次でこれを糜

爛せしめ又は稀薄なる氣狀と雖も長くこれを曝露するときは眼及び呼吸器を冒します。

二、戰術的用法による分類

1. 一時性瓦斯は擴散性大であつて速かにその効力を失ふものを謂ひ窒息性、クシヤミ性、中毒性瓦斯はこれに屬します。

然れども地形天候によつて數時間その効力を持續することがあります。

2. 半持久性瓦斯、催涙性瓦斯の如きはその種類及び使用法の如何によつて一時性又は半時久性能を現はします。

3. 持久性瓦斯、は地面道路家屋及び草木等に附着して徐々に氣化し長時間その効力を保持し通常數時間乃至數週間に及ぶものでありまして主として糜爛性瓦斯はこれに屬します。

三、傷害發現の遲延による分類

1. 即効性瓦斯は直にその傷害を發生するものを云ひます。窒息性、クシヤミ性、催涙性、中毒性の瓦斯は多くこれに屬します。

2. 遲効性瓦斯は接觸二三時間乃至十時間位で傷害症狀を發現するものを交ひます。糜爛性瓦斯はこれに屬します。

乙、防護上より見たる瓦斯の特性

一、普通の彈丸が命中すれば最後的で防護の方法はないが瓦斯は化學的手段によつて或程度迄防護が出來ます。從つて瓦斯は防護完全なものに對しては効力は著しく減殺されます。然しその防護方法は相當複雜な原理に立脚しておるから不斷の研究が必要であり又その使用者は防護器材に對し充分なる理解と訓練とが絶對に必要であります。

二、瓦斯はその種類によつては金屬を腐蝕し又器材、飲料水を汚毒するものであります。

三、瓦斯は豫期しない場所迄流れ又は意外に永く滯溜することがあるので決して油斷してはならないのであります。

殊に糜爛性瓦斯が撒布せられた場合は數日間もその効力を持續しますので注意を要します。

四、瓦斯の効力は季節氣象及び地形地物等の影響を受けること極めて大であります。

1. 風、風速小なる時は永く一地に瓦斯を滯溜せしめ風速大なる時はこの反對であります。風向は瓦斯の退路である故風下は危險であります。

2. 日光の照射を受ける時は一般に上昇氣流を生じて瓦斯の効力を速かに減少いたします。

3. 氣溫高い時は持久性瓦斯の持久度を小ならしめますが低い時はこれの反對であります。が極寒地においては凍結してその間著しく効力を減ずることがあります。

拂曉又は薄莫等のよく風いでゐる時には良く低迷します。

主要毒瓦斯一覽表

區分	名稱	常溫時ノ狀態	投下使用時ノ狀態	投下使用ノ色	特臭	歐洲大戰時ノ使用法	耐水性	常溫時ノ戰場ニ於ケル持久性
窒息性	鹽素	氣體	氣體	帶黃綠色	刺戟臭	放射	溶解	一時性
窒息性	ホスゲン	氣體	氣體	無色	腐敗堆肥臭	放射及彈丸	分解	半持久性
窒息性	ヂホスゲン	液體	氣體	無色	腐敗堆肥臭	放射及彈丸	分解	半持久性
催涙性	鹽化アセトフエノン	固體	微粒子又ハ氣體	無色乃至淡白色	芳香性刺戟臭	彈丸及毒煙	耐水	一時性
催涙性	クロールピクリン	液體	氣體	無色	刺戟性胡椒臭	彈丸	耐水	半持久性
催涙性	臭化ベンジル	液體	氣體	無色乃至白色	芳香性芥子臭	彈丸	耐水	持久性
催涙性	青臭化ベンジル	固體（半溶性）	氣體	無色乃至白色	芳香性刺戟臭	彈丸	耐水	持久性
クシヤミ性	ヂフエニル鹽化砒素	固體	微粒子	白色	刺苦扁桃油樣臭	彈丸及毒煙	耐水	一時性
クシヤミ性	ヂフエニル靑化砒素	固體	微粒子	白色	刺苦扁桃油樣臭	彈丸及毒煙	耐水	一時性
クシヤミ性	アダムサイト	固體	微粒子	帶黃綠色乃至白色	無臭		溶解	一時性
中毒性	靑酸	液體	氣體	無色	苦扁桃油臭	放射	耐水	一時性
中毒性	一酸化炭素	氣體	氣體	無色	無臭		耐水	一時性
糜爛性	イペリツト	液體	氣體及液體	無色及黃乃至褐色	芥子臭	彈丸及毒煙	緩徐ニ分解	持久性
糜爛性	ルイサイト	液體	氣體及液體	無色及淡黃乃至紫淡褐色	天竺葵臭	彈丸及毒煙	分解	持久性

生理作用	防護法	救護法	消毒法
主トシテ呼吸器系統ニ作用シ肺ニ障害ヲ與ヘ窒息致死セシム	防毒面ヲ使用シ防毒面ナキモノハ防毒室ヘ應急的ニハ水又ハウロトロピン液ヲ濡シタル布片ニテ鼻口ヲ覆ヒテ避難ス	絶對安靜ニシテ手足ヲ暖メ又暖カキ食料ヲ與フ、人工呼吸ヲ禁ジ、自動呼吸器ヲ使用シ、又酸素吸入ヲナス。	1. 次亞硫酸ソーダ水溶液 2. アルカリ水溶液（苛性アルカリ、炭酸ソーダ） 3. 水 1. 2% ウロトロピン水 2. アルカリ水溶液 3. アムモニア又ハアムモニヤ水 4. 水
眼ノ粘膜ヲ刺戟シ一時著シキ視力障害ヲ生ジソノ量大ナルトキハ惡心嘔吐ヲ催シ又呼吸器ヲ侵ス	防毒面 防毒室	イ. 新鮮ナル空氣中ニ避難シ2%ノ重曹水又ハ0.8%ノ食鹽水ニテ洗眼ス重症ニハアルカリ性眼軟膏ヲ用フ ロ. 鼻孔ヲ重曹水ニテ洗滌シ又ハ含嗽吸入ヲナス甚ダシキ肺障害ニ對シテハホスゲン患者ニ準ジ處置ス	1. アルカリ水溶液（熱溶液トナスコトニリ効力ヲ增加ス） 1. 過酸化ソーダ水溶液（アルコールヲ附加スルヲ可トス） 2. 亞硫酸ソーダ液 1. 苛性アルカリ水ヲ熱水溶液トシテ用フ（アルコールヲ加フル事ニヨリ効力ヲ增加ス） 2. 5%ノ次亞硫酸ソーダ液（除毒用）
主トシテ上部氣道ヲ刺戟シ分泌增加クシヤミ咳嗽疼痛嘔吐等ヲ發セシメソノ量大ナルトキハ致死作用ヲ呈ス	防毒面 （面ノ種類ニヨリ多少侵入スルモノアリ） 防毒室	新鮮ナル空氣中ニ出シ重曹水ニテ洗眼含嗽吸入及洗鼻ヲナスヲ可トス又ユーカリ油ノ吸入モ可ナリ	實用ニ適スル消毒劑ナキモ晒粉又ハ苛性アルカリニ依リ相當ノ効果ヲ認ム
中樞神經及血液ニ作用シ中毒致死セシム	特殊防毒面 （カメレオンヲ附加シタルソーダ石灰ヲ吸收劑トセル吸收罐ヲ附シタルモノ） 特殊防毒面 （ポプカリツト粒ヲ使用セル吸收罐ヲ附シタルモノ） 酸素呼吸器	酸素呼吸器	實用上最適ノ消毒劑ナキモウロトロピン水、アルカリ水溶液、水モ多少ノ効果アリ
皮膚ヲ糜爛シ呼吸器ヲ侵シ尙吸收中毒ヲ呈ス又砒素中毒ヲ起ス	防毒面及 防毒衣 防毒手袋 防毒靴 及 防毒室	イ. 速カニ除毒シ糜爛症ニ對シテハクロラミン水（0.5—1.5%）水酸化鐵泥膏デンチニ軟膏晒粉亞鉛華（晒粉3亞鉛華1）ヲ用フロ. 重曹水又ハ硼酸水ニテ洗眼シ後アルカリ性眼軟膏ヲ塗布ス イ. 30秒以內ニ2%苛性アルカリ液ヲ以テ除毒スロ. 重曹水ニテ洗眼洗鼻吸入ヲナス ハ. 30秒以內ニ除毒スレバ被害ナシ ニ. 1分以內ナラバ生命ニ危險ハナシ ホ. 2分以上ナラバ生命ニ關ハル	1. 晒粉或ハソノ水溶液（石油ニテ洗滌シタル後） 2. 過マンガン酸アルカリ水溶液 3. クロラミン水 4. 重曹水 5. ルイサイトハ水ニヨリテ分解ス然レ共其分解ニヨリ出來タル物ハ砒素系ナルヲ以テ毒性アリ

4. 霧及び雨霧は通常瓦斯を抑留して効力を増大し細雨は殆んど影響なくそして大雨は空氣中の瓦斯を沈下させ持久性瓦斯を流して効力を減少せしめます。

5. 低地、谷地、市街地、森林等は永く瓦斯を滯溜せしめます。

以上で大體瓦斯の種類を申上げた譯でありますがなほ消毒劑及び救急法については表に詳しく書いてありますからそれを御覽になつていたゞきたいと思ひます。

次に建築專門家の皆樣方に直接關係のある防護室のことにつき申上げませう。

B. 都市空襲における瓦斯防護について

一、家 庭 防 護

二、集 團 防 護

一の家庭防護としては一定の部屋を防毒室にあてゝ戸障子に目ばりをすることが一方法でありますが空襲の際は爆撃を覺悟しなければならない關係上日本建の家屋では爆風のために折角作つた防毒室も破壞されるのでありますから防毒室を作つても防毒面を用意する必要があると思ひます。なほ老人や子供に對しては防毒蚊張を用意する必要があると思ひます。防毒室の設備についてはこれくらいにして置きます。

個人防護としては何と申しましても防毒面を用意することであります。若し防毒面のなかつた場合は手拭を水でしめして鼻孔にあてゝ防毒班員の指揮に從つて避難することが肝要であります。

二の集團防護の場合を申ます。多人數を避難させるには集團防護室を設ける必要があります。何故なればたゞ單に瓦斯の流れて來るのを防ぐといふのみならず目ばりやその他の方法によつて防ぐことも出來ます。がかういふ場合は爆彈その他の爆風を覺悟しなければなりません。爆風に對しては戸障子の密閉は却つて慘禍を來すのであります。從ひまして日本建の家屋に避難してゐる場合は矢張りマスクを用意して置くことが安全であります。又老人や少年には矢張り防毒蚊張を用意して置かれたなれば尙更安全だと思ひます。

次に完全な防毒室といたしましては洋式の堅牢な建物であれば結構でありますが防護室をその何れに設くべきかといふことを項に分けて申しませう。

一、防彈の點も考へなければなりませんから地下一階の部屋を適當とします。若し地下に適當の室がなかつたら一階を使用する。然も外に面して居る部分の少い眞中の部屋が最も宜しいのであります。

二、部屋の面積は一人當り、室の面積は0.6乃至0.7平方米、部屋の床と天井との高さは2.5で0.6×2.5=1.5 平方米以上を要します。これであれば三時間くらいはそのまゝでは入つて居ることが出來ます。然しこれは一同が靜肅にしてゐる場合のことであつて立ち騷いだり喧騷する場合は非常に空氣が汚損されて時間が短縮されるのであります。それ故に平素から訓練を受けて居るものが一定の防護室に入つた場合と不統制な民衆の入つた場合とは時間的に非常な差があるのであります。

ドイツでは三立方米と規定して一立方米の時は絶對に換氣を命じて居ります。それには濾函を用ゆるを最も適當とします。この濾函にはいろいろ式がありますが要するに防毒マスクの大きなものに匹敵するものであります。この濾函については將來皆樣方が十分その能力と價格の低廉なものにつき御研究を願ひます。

三、避難所には前室と後室とを設けて置かなければなりません。そうして出入に際して直に瓦斯が後室に入らぬやうに設備してあるのでありまして前室が爆破された場合に避難するために後室（本室）には大工道具の一式と避難所の切開器具を備へて置く必要があります。

四、避難所內でマツチをすつて火が軸木に燃えつかずに消へるやうになると空氣は駄目となつたのであります。この時の炭酸炭斯の量は3パーセント以上になつて居るからであります。炭酸瓦斯は少くとも1パーセントより以上生ぜしめないやうに注意するを要します。この部屋における空氣は一人當り60L/分を送ると1パーセントの炭酸瓦斯で繼續することが出來ます。

五、設置場所、建物位置

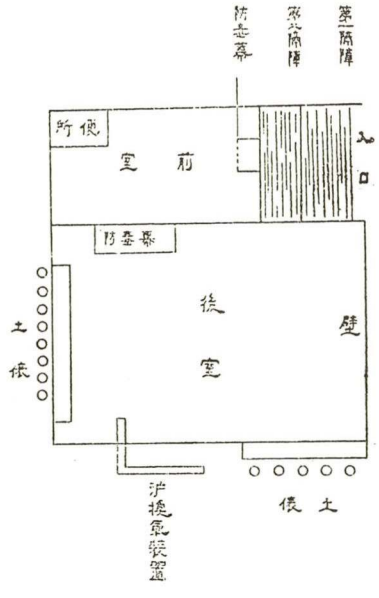
各防護團において收容上便利なる地點

ビルデング、學校、地下室又は一階

大道路、廣場に面する場所

已むなき地域は大建築物、寺院、會社、倉庫等を選定します。

六、構造、建物の都合により一定せず少人數にして多數設置すること。



七、煙突の設備、濾函を用ひざる場合は煙突を持つて換氣する方法もありますが煙突を造る場合は煙突の根本に安全辨をつけて置いて外へ外へと空氣が出るやうに內部の空氣が外から入らぬやうにする必要があります。

大收容室の大きさ大建築物におけるその從業員の避難所と一般の人の避難者とはそれぞれ別々に區別するのが宜しいのであります。それは1會社1學校であれば首腦者とか學校の先生の指揮命令が行はれますからやゝ大きな收容力のある部屋をつくつても宜しいが一般民衆を避難させる所は50人くらいの收容力のある部屋を數多く設けるのが安全であります。

八、高層建築物で四階以上の場合は一時性瓦斯は安全なりと豫想されて居りますからそれ以上の高さなれば尚更安全だと思ひます。然し爆撃に對する考慮から下位にある部屋を防護室若くは避難所にあてさせる譯であります。それで防護室に煙突を立てる場合もその點を考慮に入れて設けられる必要があります。然し第一線と戰線より遠く離れた本國都市を空襲する場合とは自から使用する毒瓦斯にも種々の條件或は一定の毒瓦斯に制限されるのではないかと思はれます。

次に持久性瓦斯の撒布された場合における消毒方法を申上げませう。

道路面消毒法一覽

路面	處理
微滴雨下の場合（路面の種類を問はず）	交通繁華なる場所はなし得れば30分以内に水にて洗ひ流す、その他の場合は放置して自然消毒に待つ
毒滴大なる場合及び投下彈による汚毒の外周域（路面の種類を問はず）	出來得る限り速かに水にて十分間洗ひ流す。これを繰返す、直に通行を要する舖道は晒粉乳劑と水をもつて擦するを可とす
投下彈斗孔周圍の消毒悪しき部位（石敷き）	晒粉乳劑及び水、繼目によく擦込む十五分その儘とする。最後に水にて洗ひ流す。
石材舖裝コンクリート	十分間水にて洗ひ流す晒粉々末を撒布す。五分間表面をよく擦る。下水溝も最後に水にて洗ひ流す
木煉瓦舖裝	十五分間水にて洗ひ流すも繼目の接合劑軟化せるを認むるときは砂にて蔽ふ若し液の飛沫を認むるときは水洗前に晒粉及び砂を掛けるべしよく表面を擦り一內至二時間放置す
タール固め割栗石ピッチ及びアスファルト	十五分間水にて洗ひ流す汚毒甚しき部分は晒粉々末を用ふる場合により道路加熱を用ひ得べし
セメント固め割栗石	出來れば自然放置とす。消毒必要なる時は晒粉を撒布して十分間放置す次に靜かに十分間水を流す。
裸地及ひ芝生等	二乃至三吋の土をかけ自然放置とす。若し汚毒程度大にして且つ住居に近きときは土三晒粉一の層を表面に加ふべし。

建物消毒法一覽

注意　毒物蒸氣による汚毒に對しては消毒の要なし

材質	液狀汚毒に對する處置
石造又は煉瓦造	毒液が滲み込まぬ內に水にて洗ひ流す。但し既に手遲れの時は水を使用せず晒粉乳劑及び水を表面に吹付け又は擦り付くべし出來得る限りその儘附着せしむ少くも二四時間以上此操作を繰返す。
コンクリート及床タイル	水に洗ひ流す晒粉及び乳劑を用ひ表面を十分擦る六時間その儘放置す。水にて洗ひ流す。なし得れば珪ソーダ溶液を塗る汚毒程度大且つ長時間接觸しありたる場合には居住を要する室內の床は全部紙換へを必要とすべし。
艶面タイル	水にて洗ひ流し晒粉乳劑と水とを用ゆ、繼目には特に注意すべし。
水性塗料壁面	晒粉泥と水とを塗附け若くは吹きつけ晒粉泥と紙とを交互の層とし少くとも48時間その儘附着せしむ最後に洗ひ去り新たに水性塗料又は珪酸ソーダ溶液を塗る。
紙張の壁面	紙を剝ぎ取りたる後前項同樣に處すべし

家具類消毒法一覽

品物	處理法
堅木製家具	流動パラフインにて充分拭ひたる後晒粉とワセリンとの混合物を長時間（少くとも48時間）附着せしむ。
布紙家具	總ての布紙を木枠より剝取るを要す。故に寧ろ燒却して他のものと取換ふるを得策とするものあるべし 消毒をなさんとする場合は次の如く處理すべし 毛織物、沸騰水に一時間浸漬す 綿織物、綿製衣服と同樣に處理す 革、長時間熱風に曝す汚毒大なる場合は燒却するを可とす 詰物、熱風處理も可なるも燒却するを安全とす。
寢具	毛織なるか綿織なるかにより區別して被服の場合と同樣に處理す。蒲團は蒸氣滅菌罐にて處理し得べし。
絨緞其他の敷物	汚毒輕微なる時は屋外において普通の氣候なれば七日間寒氣には十四日懸吊す、もし毒液浸潤しある時は地質の損傷を防ぐため屋外に懸吊する前に洗濯ソーダ溶液を噴霧すべし。 絨緞の汚毒甚しきものは沸騰水中に二時間浸漬するか其設備なきときは燒却するを要す。
リノリユーム	未だ損耗のあらざるものが表面のみ汚毒したる場合には晒粉乳劑にて處理す。損耗したるものが地質内部迄汚毒したる場合に燒却するを安全とす。
金屬家具類	流動パラフイン又は石油にて拭ひたる後清淨なる乾布にて擦る
ガラス及び陶磁器	沸騰水又は晒粉濃厚溶液にて處理するか又は流動パラフイン石油にて拭ふ（素燒には不適）
注意　家具類は大體が直接接觸するものであるから起る危害を考慮し輕忽的な消毒法は嚴禁せねばならぬ	

以上大體毒瓦斯の種類と防護室の設置上の地位と持久性瓦斯の消毒方法につき申上げた次第であります。その他の點については他日機會がある時に申上げたいと存じます。

（昭和十四年八月十五日——大阪府建築協會席上に於ける講演の速記）



滿洲瞥見記

大石忠夫

8月上旬滿洲國に行き大連より哈爾賓までを慌しく見學して來た。友邦滿洲國を今日まで見なかつたと言ふ事は甚だ遺憾と考へて居た處であつたので、忙しいながら機會を捕へて走り廻つて來た次第である。日數は至つて短かく會つた人も多くはないが放談式に散慢な感想文をなぐり書きしてみる。

大連には水がない。朝夕の時間給水だが辛い事甚だしい。適當な水源地がないので遠い大石橋に求めて工事だと言ふ。大規模の話だ。三越の食堂に入つてウドンを註文する。すぐ出來ると思つて言つたのだが半時間も待たされた。この2つの事柄が大陸とは如何なる處かを敎へてくれた樣な氣がする。

滿洲國は北に寄つて居るので大阪に比べて大分涼しからうと考へて行つたが、豫想に反して箆棒に暑い。旅順の爾靈山頂で戰跡見學に來て居た何處かの青年團の1名が日射病で倒れ、樺太と同緯度だと言ふ哈爾賓でも燒く樣な暑さだ。日本人がやつて來て滿洲も暑くなつたと滿人は言つて居るそうだが、日本人の行く處は何から何まで日本化して終はなければ氣がすまないらしい。

緯度が北に寄つて居るので夏の日は永い。4時半に夜は明けて9時過ぎに陽は沈む。だが官廳も會社も勤務時間に8時から3時までだ。會社が退けて日が暮れるまで優に6時間内地の半日もある。其時間を利用すれば何か一仕事出來相だ。然し技術屋はなかなかに忙しく現場を34ヶ處持たされて居る邊等現場監督となると、14時間の勞働となる。日はかんかん照つて居るのに3時を過ぎると殘業だと言つて居るあたり、内地とは大分に趣きを異にして居る。會ふ人毎に、内地に歸つたら姉に、兄に、時には母に、自分が元氣にやつて居る事のみ通知して欲しいと依賴される處を見ると、滿洲に居る人達は餘り手紙なんか書かないらしい、し又ゆつくり手紙でも書かうと言ふ樣な雰圍氣を持たないのかも知れない。

哈爾賓で東京學生勤勞報國隊先遣隊の一員と語る。東京を出てから2ヶ月、160名の隊員が幾つかの班に分れて奥地の開拓村に入り後からやつて來る本隊のための住家、道路等を作業して居たが、終つて歸途に就いて居る處で、色々得難い體驗を得ましたと言ふ。持參の飯盒を見せて貰ふと白い米の飯は半分位で、あとは灰色のや黄色ので賑つて居た。又奉天から大石橋まで東京工業大學の學生11名と同車する。一行は大陸研究會員で大連より北上し鞍山の昭和製鋼所で10日間實習し、奉天迄行つて引き返し營口方面で實習と見學を行ひ、北上して哈爾賓より東行し2ヶ月間に渉つて滿洲國の產業を充分に研究しようと言ふのであつた。又往航の吉林丸には奉天の松村組へ實習に行くのだと言ふ都島工業生が3名乘船して居た。以上何れも暑中休暇を利用して大陸に出張し、其實際を研究しようと言ふのであつて、眞に嬉ばしい現象だと考へたのである。大陸では其資源の開發に多數の技術者を要求して居る。此點に於て白紙の學生自身が其實際を研究に行く事は眞に有意義の計畫と言はねばならぬ。

哈爾賓の某官廳では技術員3名（建築2名土木1名）だが、來年度豫算では700萬圓の工事をせねばならん。幾ら頑張つてみても是ぢや手に負へん。徵用令に依つて内地の方から30名位の技術

者を寄越して貰ふかな。なんて言つて居た。某工事が我國策上緊要なものとあれば、是が非でも内地から應援せねばならない事になる。

偖、人が行つて困る事は住宅の不足である。新京、奉天に於て然うだから邊境に於ては特に甚だしいものがあるものと考へられる。房産あたりで盛に建築して居るが追つかない。もつとも其建築費も安くない。ペチカのある社宅で坪單價450圓と言ふのが相場であると言ふ。又34年前に建てられた住宅が現在では當時の工費の3倍位に取引されると聞く。新京で紅松1立方尺の市價が4圓乃至4圓50錢石材より木材の方が高くなる相だ。建築費の高い一因として煉瓦の不足も見逃せない。愈々煉瓦も統制されると聞く。側聞する處に依れば、不足を補ふ對策として奉天の城壁をとりこわすとか。中世紀イタリヤ建築がローマ時代の建築を潰して其石材を轉用した様な鹽梅だ。

新京あたりの現場を見ると面白い。先づ必要な木材を原木の儘で現場に搬入し、必要の寸法に木挽職が木取りし始める。依つて木材の乾燥期間と言へば現場で作業をして居る間位のものだ。基礎工事も至極簡單。必要寸法に合せて錢型を作る様に堀り込み、上からコンクリートを流し込む。從つて地下の型枠は要らないし埋め戻し等の要もない譯である。然かも其根切たるや相當深く堀り下げられるものであつて、砂質等では不可能である。其基礎の上に建つ煉瓦壁が見た眼に甚だ頼りない。目地は右左と砂の混合でもろもろしてゐる。だが表面仕上となると下地が粗雜な爲か返つて奇麗に出來上つて居るかの様に感ぜられる。

3階建以上となると構造部のみ鐵筋コンクリート造とし、他は煉瓦で塞いで行く方法となるので歐米の施工法と同一となり内地の其れとは異なつたものとなる。斯様に簡易な構造法を採用して居る故に、今少し自由な様式を採用し得るものと考へられるが、餘り是はと思ふ明快な姿も見られない。

友人の下宿に行く。大阪市内にある普通の下宿屋は部屋前まで下足の儘で行ける様にしたもので、足音が相當に喧しい。6疊の部屋で室代33圓食事は朝夕の2食で25圓、普通より安いとの事だ。部屋を獨りで占領して居る者は至つて稀く、4疊半に3名も入つて居るのがある。然うしなければ室の不足で人間を收容し切れない現狀だ。大體1疊5圓位の相場だと言ふ。

新京の都市計畫は現代日本建築界の象徴であり現實化された理想境とも言はれよう。困窮に促られる事な廣く、大な敷地に、組織的な計畫を行び得る立場にあるのであるから、充分理想的な都市を建設して貰ひ度いものである。廣い道路公園、東洋趣味調と言はる可き諸官衙の悠々たる配置は眞に面目躍如たるものがある。希くば個人の住宅まで集合住宅の様式に統制するを得ば、眞に偉觀を呈し得るものと思はれるもの、滿洲とは言へ其處まではやられないらしい。市面積の7%を占める廣大な公園は窈窕たる楊柳と楡に覆はれ、市民に充分に綠を提供して居る事は實に美しい次第である。又芝生の間を流れる水が澄み切つて居るのも氣持が良い。概して新京は水に惠まれて居り、且水道管が冬期の凍結を避けて地下深く埋設されて居る爲に、給水栓より出る水が地上の暑さに比し氷水の様な冷たさを持つて居るのは内地では想像出來ない事である。

市内の交通機關としては馬車が重要な役割を果して居り、前後左右止の5語をしやべり分ければ良い譯であり600米迄5錢、其以上10錢とふ様な規約が出來た相だが、昨今客に依つて斷つたり、婦人子供に對して高値を要求したりするのが出たりして五月蠅くなりつゝあるとか。

日本人は大陸に發展して返つて彼等自身の生活を苦しいものにするとの見方がある。大陸に高級で内地人を呼ぶ。行つた内地人は不經濟に消費して次第に物價を吊り上げる結果を將來する。大阪で10錢の西瓜が新京では40錢、哈爾賓では70錢と

具合になつて現はれ、又昔は安い勞金の標本みたいに言つて居た苦力も現在では1圓20錢乃至1圓80錢の日給を稼ぐ樣になつて來た等、結局日本人自身で其環境を惡くして居る樣な始末である。

滿洲の各都市は內地と殆んど變りがない。何處にも內地人の個性が其儘に生きる市街を形成して居る。少し滿人が多いと感ずる程度であり屈託さは少ない。どしどし進出して躍進滿洲國を成長させますかね。

流線型是非

建築家の生活信念を糺す

山口正

今さら流線型でもあるまい、と人は笑ふであらうけれど、私は別に可笑しくも何ともない、と思ふ。いつの頃から、流線型なる言葉が俗間に流布されたか知らないが、自動車の尻がへつぴり腰になつたりきかん車に妙な恰好のガウンを被せたり船の煙突が平べつたい斷面になつたりした頃からである。そしてそれはかなり古い頃であつた。それを今さら流線型でもあるまい、と云ふであらうが實はその頃流線型を云々爲した事が既に滑稽なのである。その頃建築界に於ては、流線型といふ言葉は既に蕎聞に屬したので、交通機關等に實施されたのは唯か蒸し返しの感がないでもなかつた。全くのところ、アインシュタインの塔であるとか、分離派某氏作品の山の家とか云ふ樣に、風に對しては起き上りこぶしの樣な意匠（敢て意匠と呼ぶ）が現はれて、國境のトーチカさながらに幅を利かした時代があつたのである。もう既に20年も前の事であつたか？建築家の頭の中樞に流線型が位置してゐたのである。してみれば今、もはや忘れられかけた今頃になつて、改めて是非を考へてみる事もあながち無駄な事でもあるまい。

いや、この記述は小し惡趣味であつた。流線型とみだしに書いたばかりに心にもない事を書きすぎた。私は流線型そのものゝ事を書く考ではないのである。

私に無作法な言を吐く事を許してもらふとすれば、建築家は概して流線型であると云ひたいのである。餘りにも無抵抗主義だと云ひたいのである。もう一つ露骨に云ふなら、節操なく追隨的である、自說なく、批判力なく、徒らに社會性を鵜呑みに作品の上に反映して、指導の責任感に乏しいと云ふのである。然しかゝる職業的缺陷は建築家のみには限つてゐない。現代日本のあらゆる職業人が殆ど皆そうであるようだ。追隨的どころか甚だしきは附和雷同的でさへある。然し一々列擧して、つまらぬにくまれぐちを叩く事は止めておこう。それよりも肝心建築家の問題に歸つて、この建築家の遺憾なる態度を糺さねばならぬ。

この問題の中樞は、建築家の生活に於ける無識無信念である。建築と生活と切りはなす事が出來ない事は云ふまでもない。生活のない建築なんてあり得ようもない。建築とは生活の外箱のようなものである。生活とは建築を形造る內容であり、主因である。然るに、一般建築家が生活に對して恬然たるは何たる事か。尙一層不愼な事には、建築家は生活に對して深い理解を持つと自ら思ひ込んでゐるのである。處が、それは理解でもなければ智識でもなくまして信念でも何でもなく、實は上辷りな一應の趣好（單なる趣好である）を持つてゐるに過ぎないのである。かゝる趣好の程度の觀念であるから、如何樣にも、右にも左にも、大きくも小さくも、黑くも白くも生活を形式づける事を異としないのである。生活に對する信念を忘れたまゝ平氣で設計をする、それが現代建築家の態度である。我々は如何に住むべきや。は問題でなく、住む人は如何なる生活樣式を好むや。が問題にされるのである。右にも左にも、大きくも小さくも、黑くも白くもと上述したのは卽ち、住む人のお好み次第に動かされる事を指したのである。住む人の好みに逆らはぬように（餘計なおせつか

い等せずに）素直に設計する事を以つて建築家の利巧な態度とせられてゐるようである。この建築家の態度、時の風潮に逆らはず、色々の條件に逆航せず、逆らはぬ態度——流線型態度をまことに物足らぬ事と私は考へるのである。

生活の信念、具體的な事柄、精神的な事柄等は建築家のみに課せられた研究事項でない事は無論であるけるけれども、廣く世の職業分野を見渡してみて、矢張り建築家の分擔事項とする事が穩當のように思はれるのである。とすれば、建築家は常に生活に對する深い信念を持ち、進歩的であらねばならぬ。而て指導的でなければならぬ。醫者は患者に養生法を指示する、病人のお好みの藥を役する醫者なんてあるまい。どんなに無智な親でも子供のためはに玩具を撰ぶ。獨り建築家にのみ生活に恬然として設計料をかせぐ事が許さるべきではない。即ち建築家は住む人の生活の外箱を美しく強く造るだけでなく、その生活に就いて指導的であらねばならぬ。住む人が和風を好めば、疊を敷いた座敷に、床や棚の工夫を凝らす。洋風に古めかしくと云へば、壁爐を設けて變な電灯をぶらさげる。田園趣味だと云へば、田舍を馳けまわつて煤けた農家を買つて來て建て替へ、自在を吊したり甍を葺いたり、いやもう多種多樣あきれるばかりである。こんな建築家は、私をして無遠慮に云はしむれば建築家ではない。色々な品物を揃えておいてお客の好みに應じて賣る百貨店の番頭さんのようなものである。「俺は、コルビエジュばりでも、數寄屋でも、ルネツサンスでも、それこの通り完全にこなせる」といつて威張るだらう。そんな事は當り前だ、あつちで仕入れ、こつちで仕入れて間に合はす位の事なら誰にでも出來る。こんな人は建築家をやめて百貨店を始めるとよい。きつと賣下げの多い繁昌する店が出來るだらう。つまり現代のありさまでは、小才がきいて手先が器用ならば、建築家になつても百貨店を經營しても同じように成功出來るといふ事になる。

こんな便利な、都合のよい建築家に限つて、自己の生活を持たぬ。自分自身が如何に住むべきかも判らないのだ。現代日本の建築に如何にあるべきかと問はれても答へられまい。答へられなくてこそ當然である、そんな事は考へてみた事もないのだから。生活には信念なくどうしてその外箱たる建築に信念があらう。あはれに思ふ。相當立派な作品もあり、又主張もありそうな有名建築家が最近自分の住居を建てるにあたつて、農家を移築改造しようとしてゐるときいて、淋しい氣持になつた。あゝ、この人も生活に信念なく、ぐらついた心でゐるのかとあはれに思つたのである。

建築家に生活の信念がないばかりでなく、建築の樣式に就いても亦確固たる意思を持つた人の少い事は一層殘念な事である。樣式と云ふ程でもないけれど、一つの型例へば近時流行の數寄屋建築——（日本建築の再檢討とかなんとか云つて）——に就いて考へてみよう。數寄屋建築のそもそもの始まりはどんなであつたか。歷史につたへる最初の數寄屋建築（そんなもののある筈はないが）に一寸似通つたものに農民の開墾小屋がある。開墾小屋といふのは、荒無地に僅かの食料と農具とを持つて移住し、そこに粗末な住居を營む場合の建築である。雜木を伐り倒して家の恰好を造る草を被せて屋根とする、土を四角に切つて壁に積む。こんな家に風雨と戰ひながら、漸く一般の農家なみの生活が始まる迄には幾年の星霜を終るのか知らないけれども、ともかくもその小屋の中には盛なる生產と生活が營まれて、今日の農家の盛大にまで發展する事が出來た。私は今、今日の農家に建築家らしい讃美を止めておくが、農民の現世的なる生活の信念が野性に溢れた精力と相待つて、自然に對して至極素直な農民建築を造り出した事は、他國は知らず、我が國日本に於ては特記すべき日本建築史の主幹部分である。、（にもかかはらず、農民建築を忘れた建築歷史を我々は授けられた）事を强調せずにはおかれない。しかるに他

方、これとその起源に於て類似してゐる數寄屋建築では、あはれ、世外に立つて、現世に執着しつゝ彼岸を憧れた人々によつて妙にせゝこましく手入れされて、今日の數寄屋情緒を描き出したのである。農民建築を陽光に溢れ輝く建築とすれば、數寄屋建築は日影の建築であらう、然し日影の建築、頽廢的建築と雖も、現代の不調和なる世情においては歡迎される事一通りではない。數寄屋建築、これも亦現代世情に於ては流線的存在である。我々は、求められるまゝにかゝる建築を與へてよいものか、どうか私をして愼歎おくあたはざらしめる事は、よくも惡るくも、建築家が建築を與へるに際してテンで考へても居らぬ事である。私は願ふ、流線型的建築も流線型建築家もこの世から姿を消さん事を。　(14. 7. 15.)

本號執筆者紹介

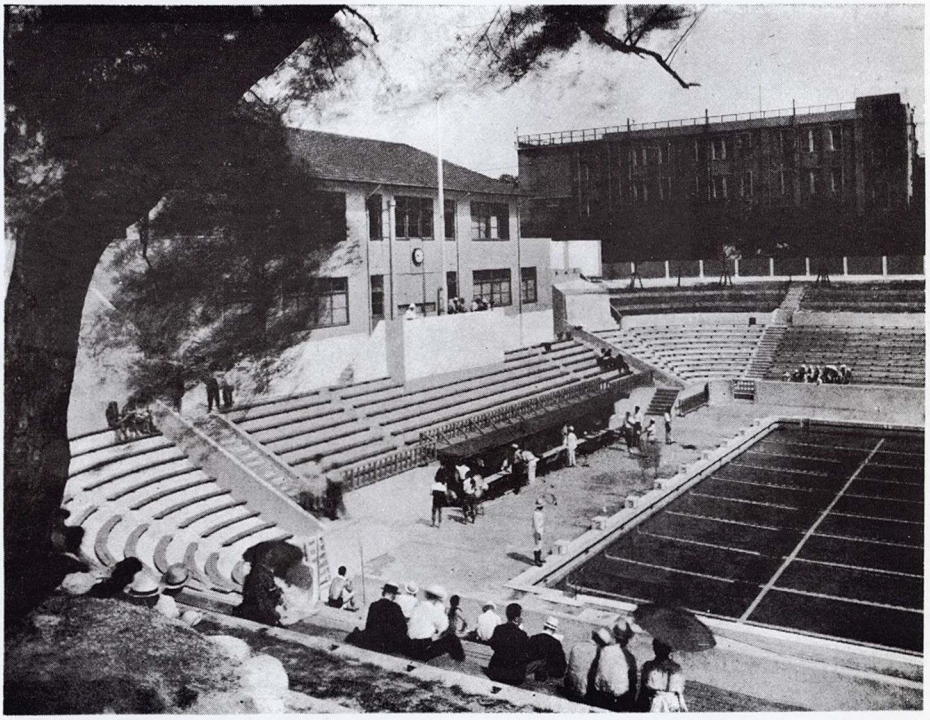
(五十音順)

伊藤　滋	鐵道省建築課技師
大石忠夫	大阪府立西野田職工學校教諭
大島三郎	遞信省營繕課長
關谷房春	大阪府警察部地方技師
新名種夫	大阪市水道部教育課長
中山元晴	廣島縣營繕課技師
山口正	京都市市役所
山田守	遞信技師營繕課
吉村辰夫	內務省都市計畫東京地方委員
星野一雄	大阪府廳建築課

１０月號



眞田山公園事務所正面（1階――事務所・地階男女脫衣室及シヤワー室）

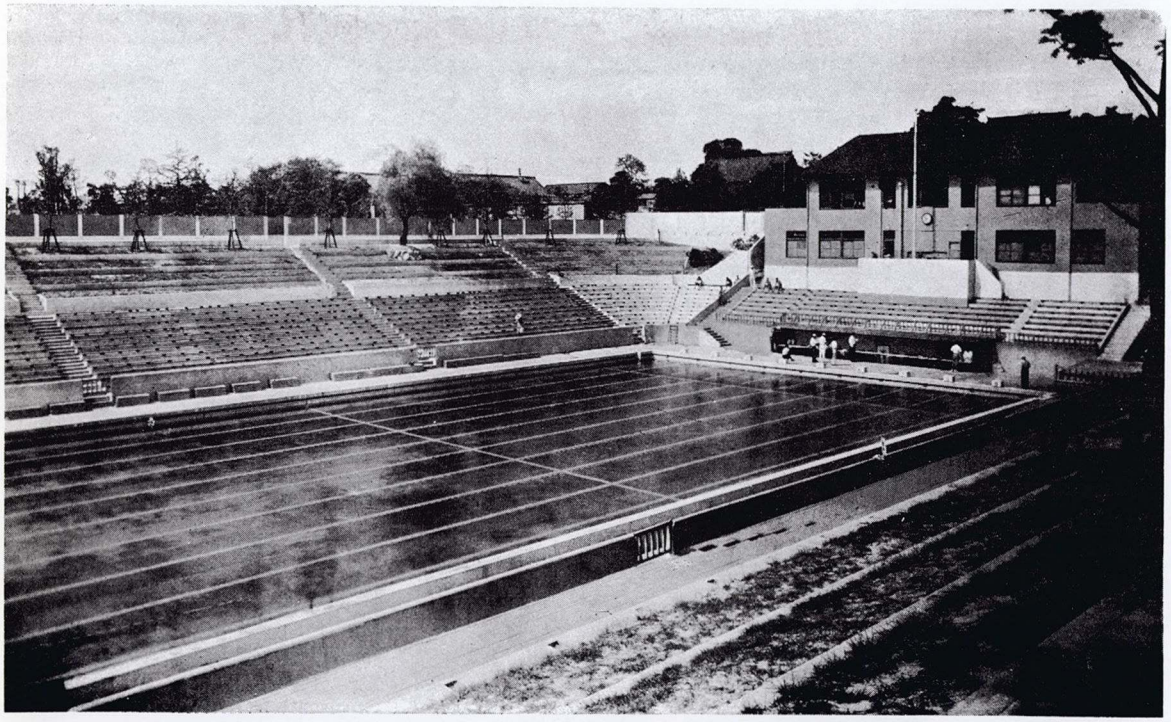


眞田山公園事務所背面と貴賓觀覽席



眞田山公園事務所脇より水泳場を望む
（之に續いて飛込池25m×17.5m徒渉池650m2を目下工事中）

本寫眞は大阪市が皇紀二千六百年の記念事業の一つとして目下東區上小橋町に工を急ぎつゝある眞田山公園（面積五五・二七六平方米）の北部自然の凹池を利用して築造されつゝある水泳場の一部として最近竣功を見た五〇米公認競泳池とその附帶構築物を示すものである。各寫眞とその說明により御理解を乞ふ。

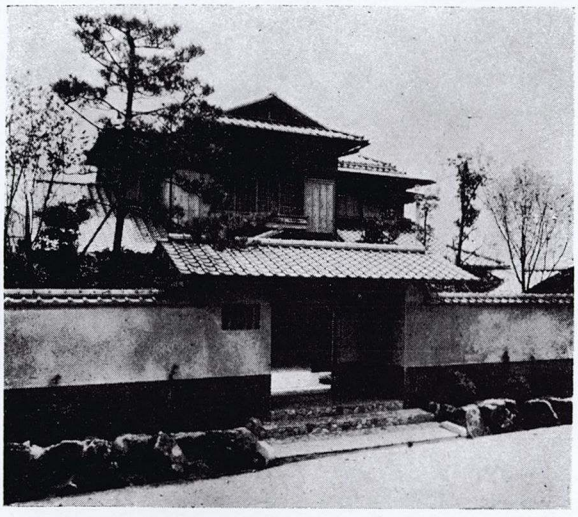


眞田山公園水泳場1部竣功部分
（50m×25m9コース公認競泳水泳池と無筋コンクリート7.000人收容觀覽席）

x 2　大阪市營眞田山公園水泳場　設計　大　阪　市

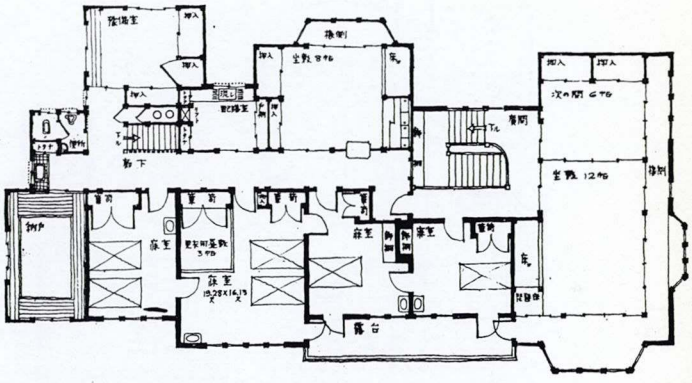


前庭の外觀

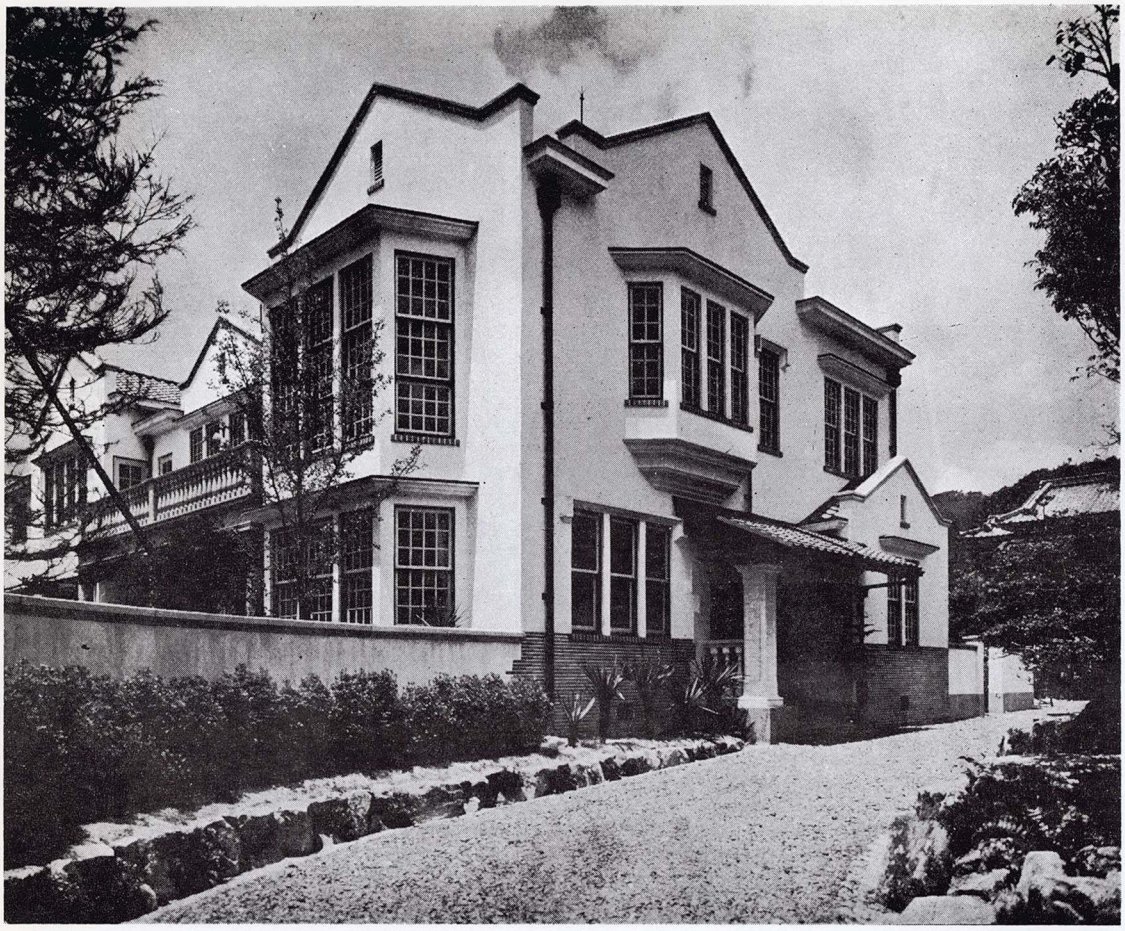


隱居所　木造瓦葺外壁　鐵鋼モルタル塗　スタツコ仕上
　　杉板竪羽目
階下　30.8坪　　延坪　45.05坪
階上　14.25坪

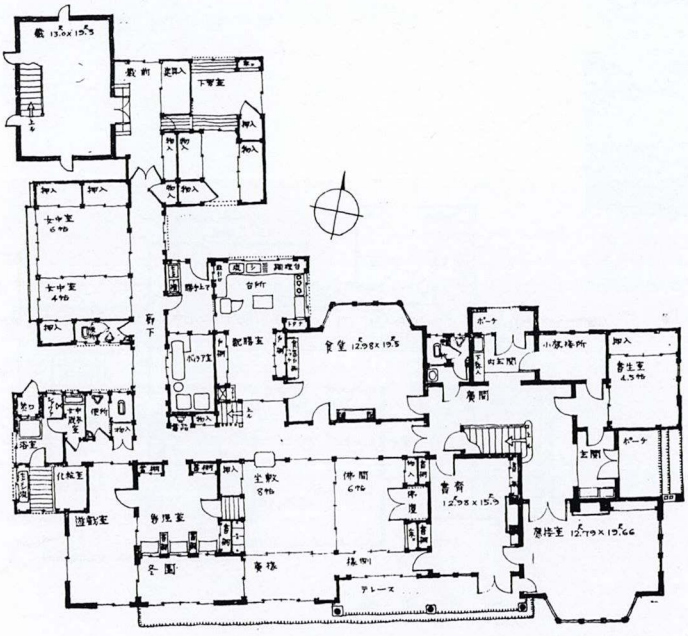
起　工　昭和十三年七月三日
竣　工　昭和十四年三月十日
位　置　兵庫縣武庫郡本山村岡本
敷地面積　約 750坪
本　家　木造瓦葺 外壁鐵網 モルタル塗
　　スタツコ仕上
　階　下　108,75坪
　階　上　75.25坪　計　184.0坪



2 階 平 面 圖

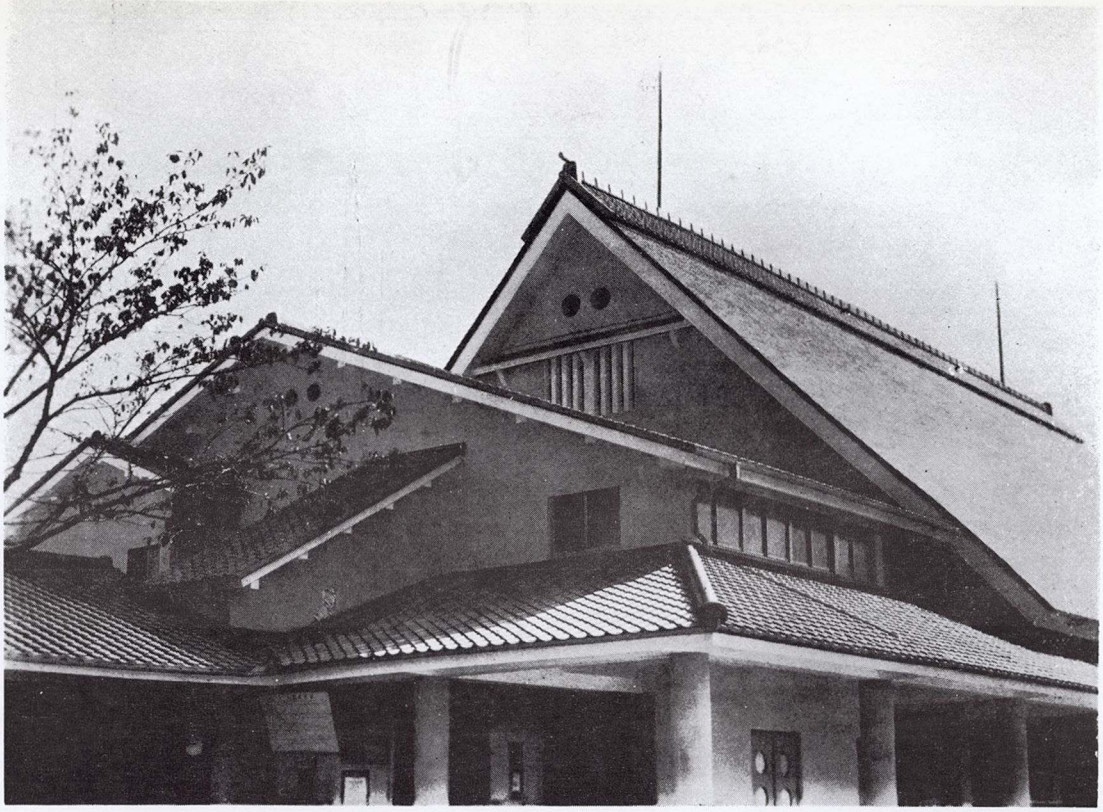


玄　　關



1階平面圖

x4 山　中　邸　設計・下村喜三郎・施工・清水組大阪支店



左東側外觀



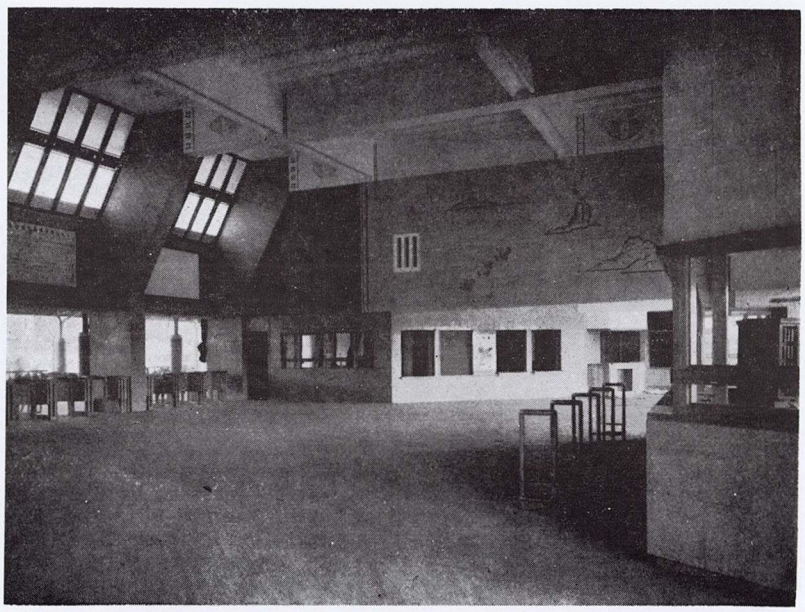
下外　外觀

建築位置……奈良縣高市郡畝傍町字久米

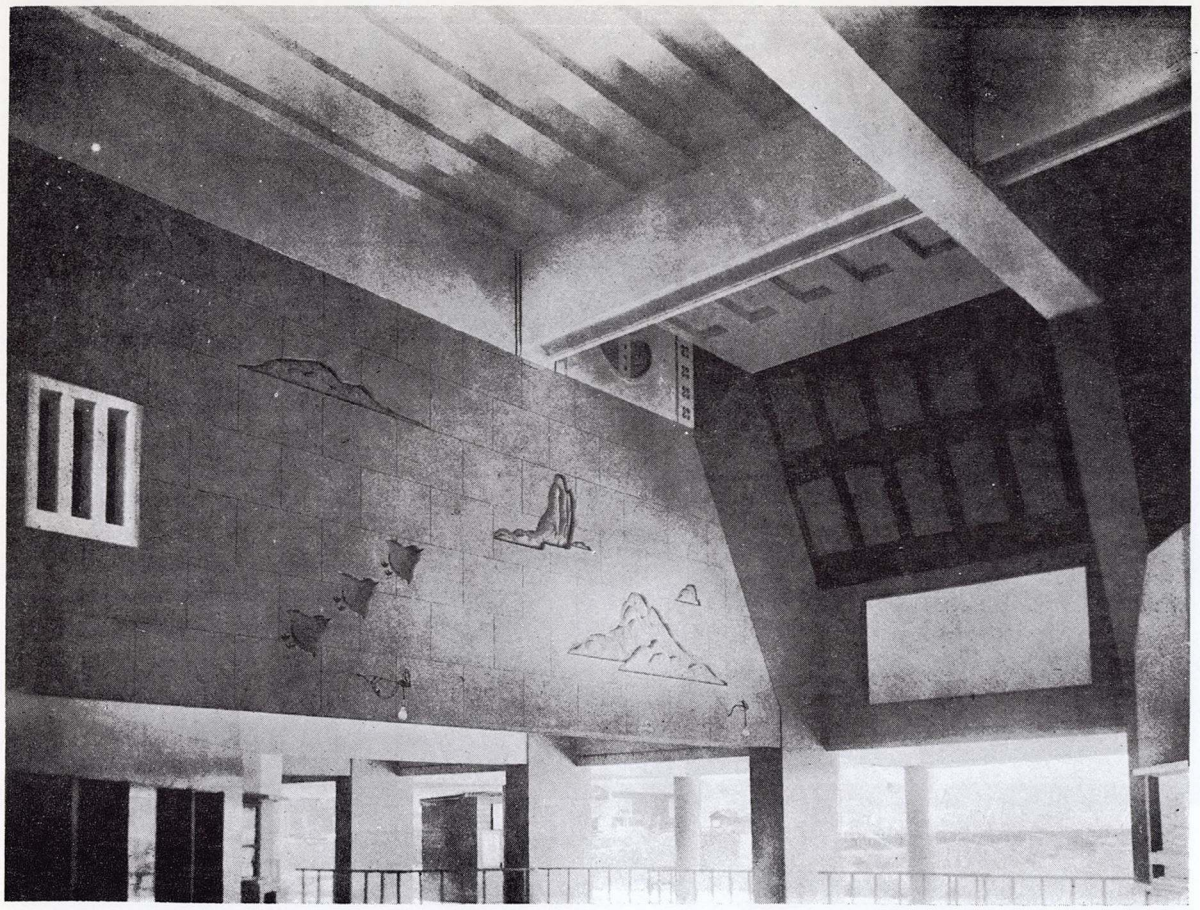
建築面積……1階（2,098.7m²）　2階（788.7m²）　計 2,887.4m²

構造及び種別……木造2階

建國二千六百年を記念するため且つは新興日本精神を象徴するため、外觀は大和古來の民家に範を求め、内部は神武天皇御東征の古事にちなみ、熊野灘及大和三山を圖案化して廣間壁上の意匠とした。貴賓室、特別待合室の壁面裝飾も、かゝる神域の建築物としてふさわしからしめんため、古代の銅鐸及埴輪を圖案に用ひてゐる。而しあく迄新しき精神を表象するため、手法並びに形態は新興建築に依つてゐる。使用材料に關してはこれも日本建築の本來の精神である材料そのものゝ素地の美しさを發揚することにつとめた結果、貼りつけた材料、塗りつけた材料が直ちに仕上りとなつたため、塗飾工事の著しき輕減、工期の安全なる短縮を容易に行ふことが出來た。



ホール東側壁

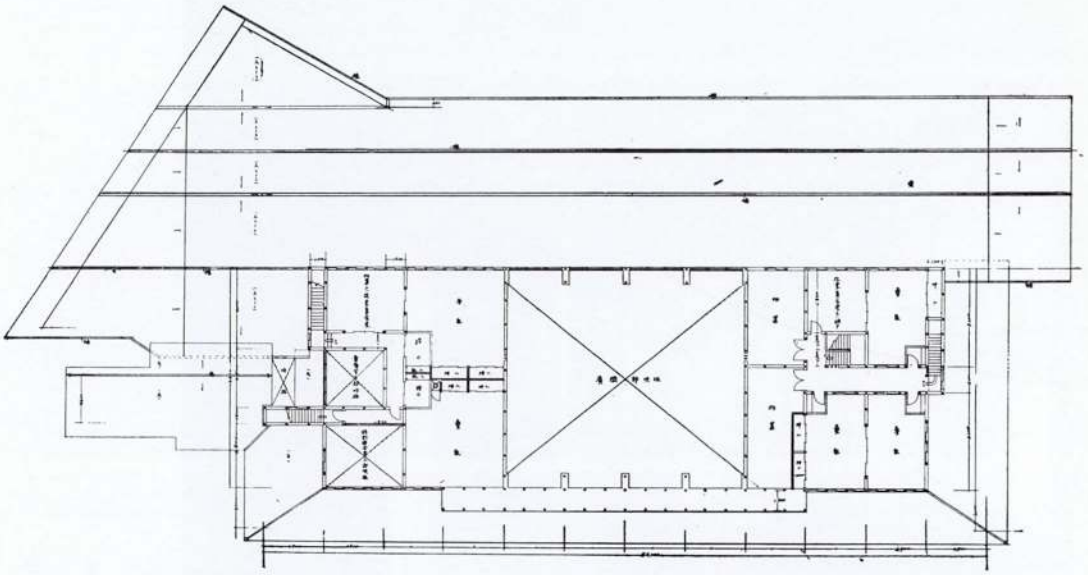


ホール西側壁（熊野灘）



綜合渡廊下

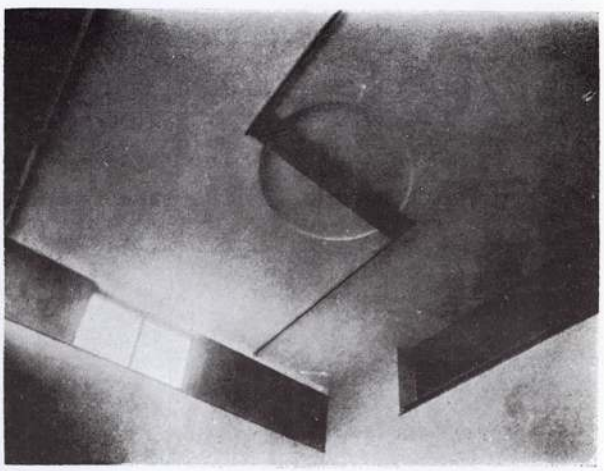
x 6　橿原神宮前（大軌、大鐵、省線）綜合驛　計劃・大軌改良課・設計・大林組設計部・施工・大　林　組

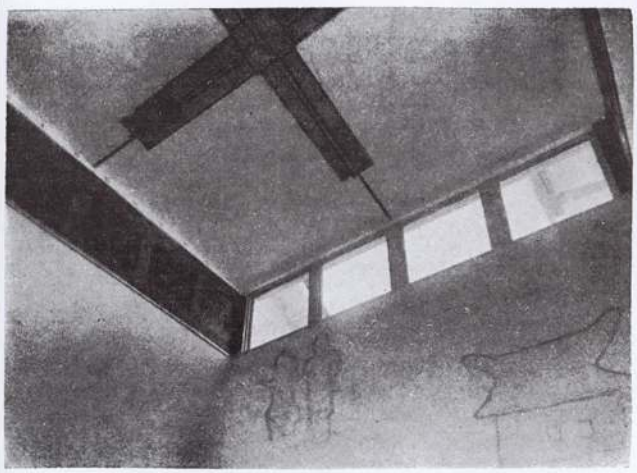


二 階 平 面 圖

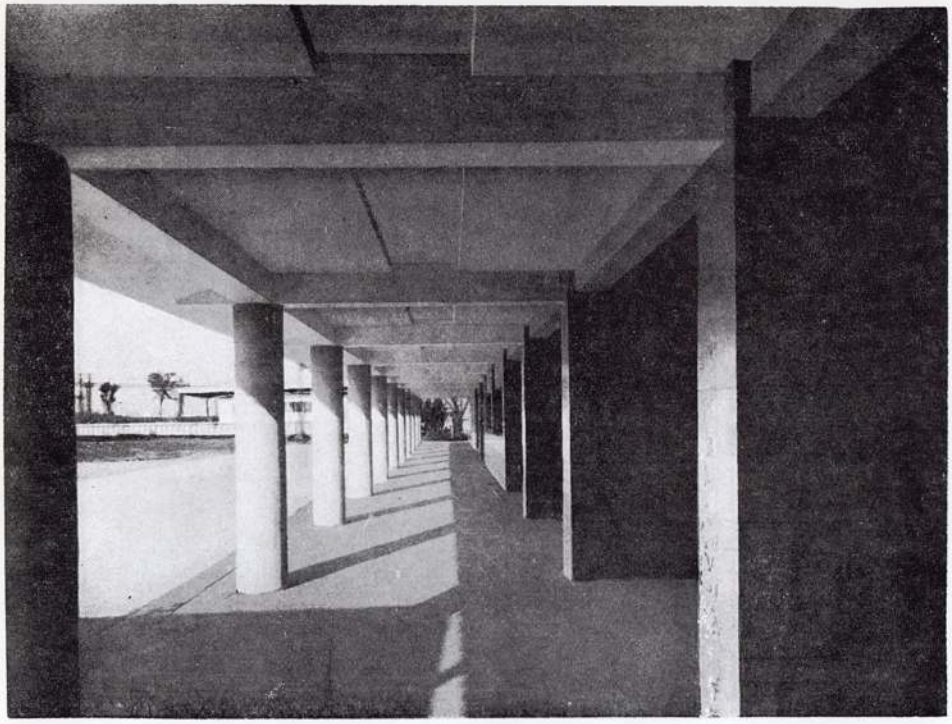
材 質　木部雛地　素地色仕上
壁面モルタル、下地モルタル吹付
天井　プラスター水製ペンキ、ステレシル模様入
床　アスファルト・ブロツク
貴賓室　壁面レリーフは銅鐸及び埴輪

特別待合室天井

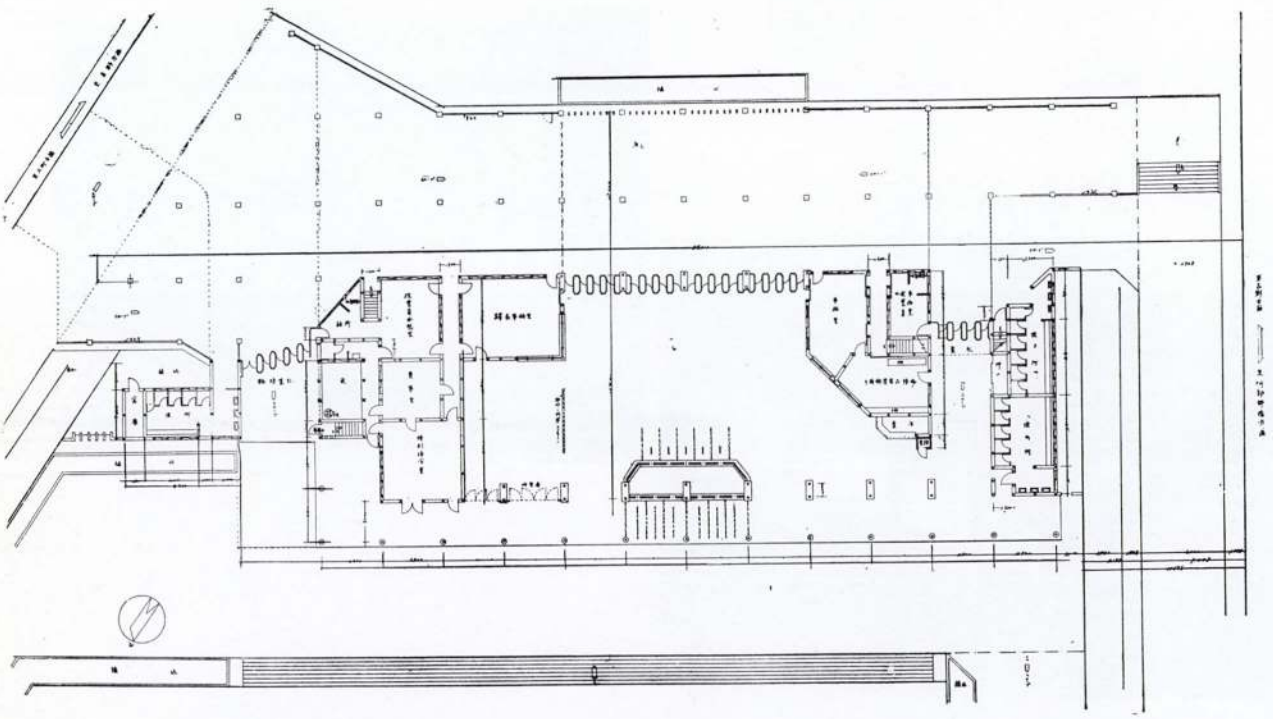




貴 賓 室 天 井



正　面　廊　下



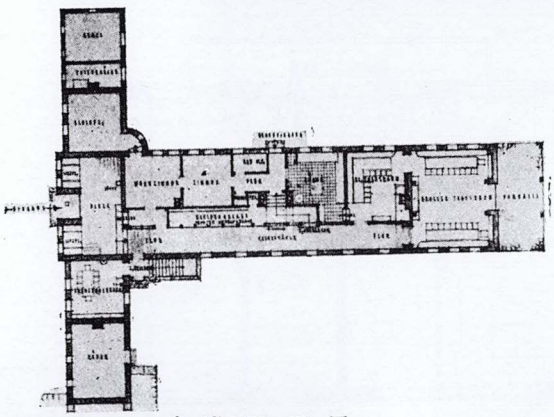
一　階　平　面　圖

x 8　橿原神宮前（大軌、大鐵、省線）綜合驛　計劃・大軌改良課・設計・大林組設計部・施工・大　林　組

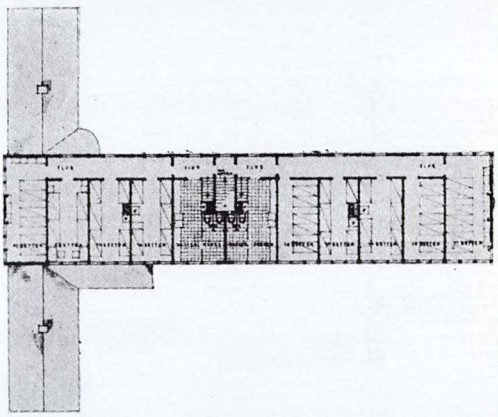
(Baumeister,
Juli, 1939より)



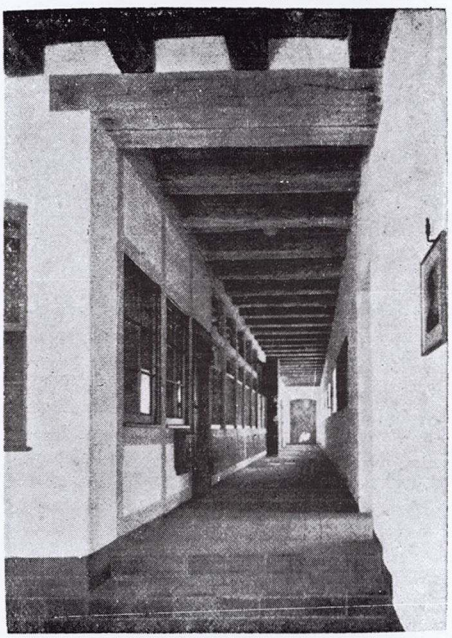
南面外觀



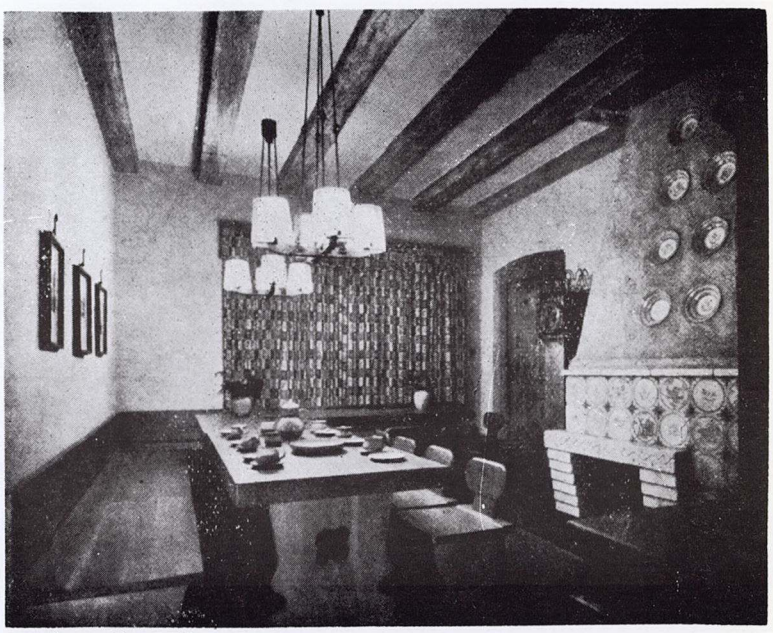
1階平面圖



2階平面圖



廊下



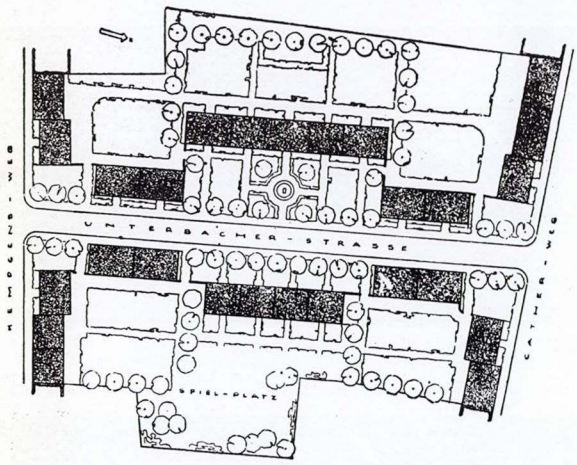
會議室

（ドイツ）〃ルーデンドルフ將軍〃少年宿泊所　建築家 Hans Riechert

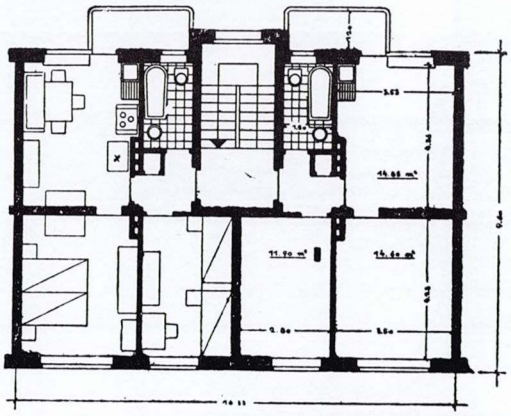


(Baumeister,
Juli, 1939より)

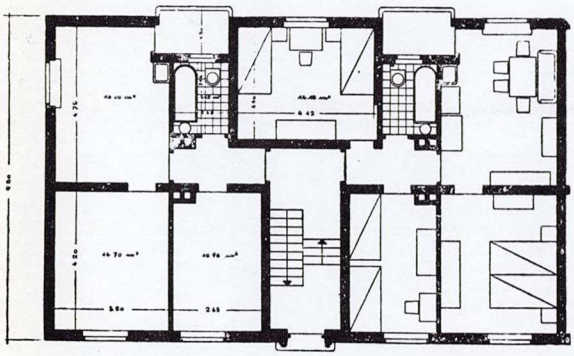
外　　觀



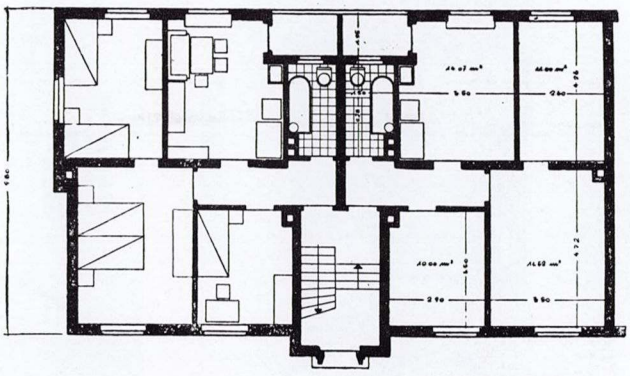
配　置　圖



代表階平面圖 1

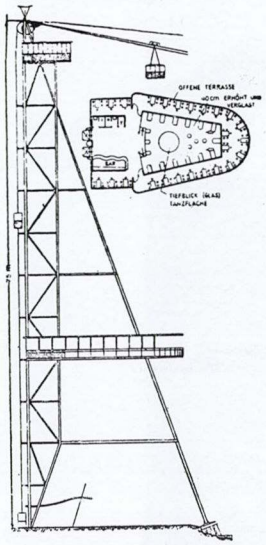


代表階平面圖 2



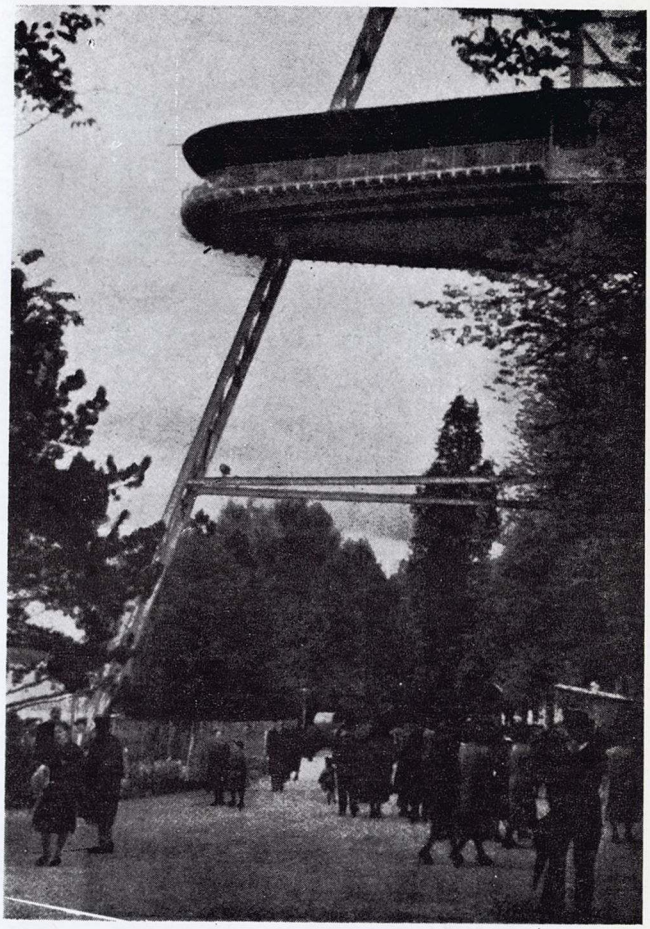
代表階平面圖 3

x 10　（ドイツ）192家族を収容するデユツセルドルフのジードルンク　設計者　Heinz Thoma



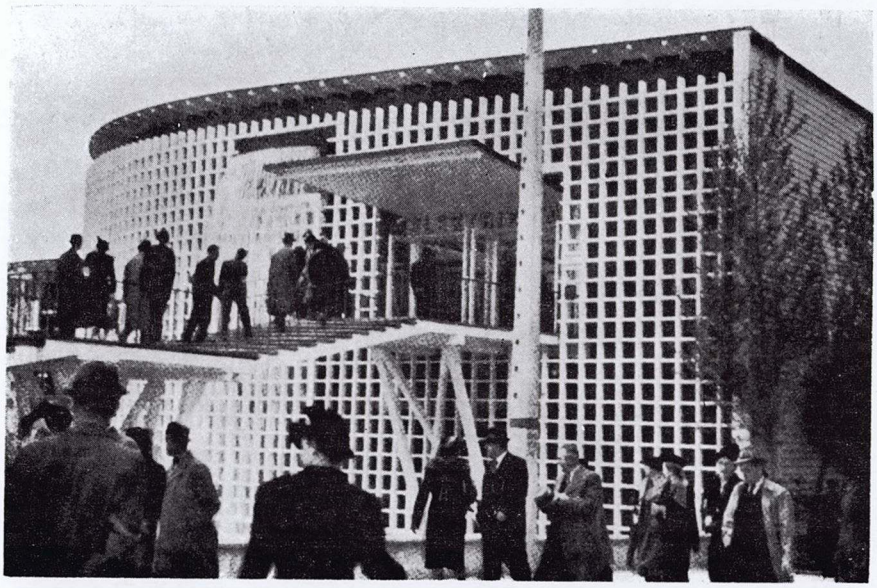
索道塔設計圖

鐘塔設計圖　Rudolf Dick 設計

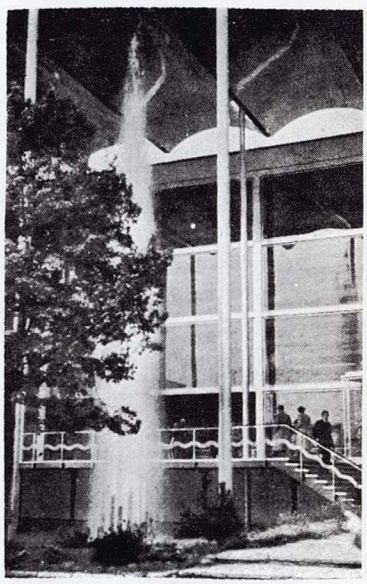


索道塔の櫓食堂

(Baumeister, August, 1939 より)



電氣館　Dr. Roland Rohn　設計

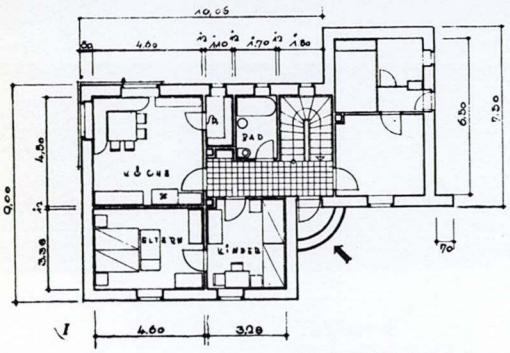


アルミニユーム館　J. Schütz設計



(Baumeirter,
August, 1939より)

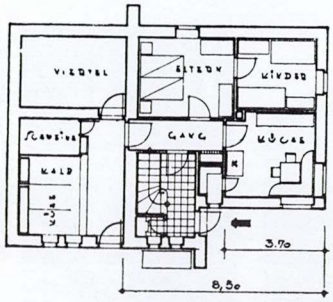
外　　觀 1



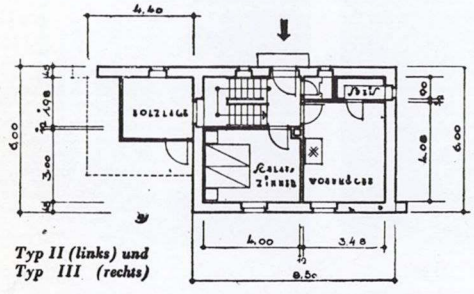
代表階平面圖 1



外　　觀 2



代表階平面圖 2



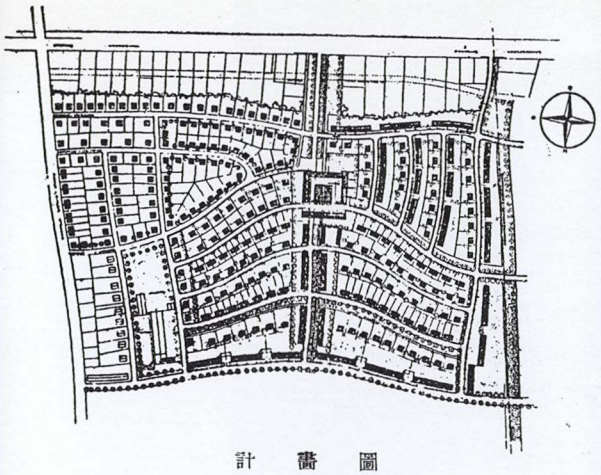
Typ II (links) und
Typ III (rechts)

代表階平面圖 3

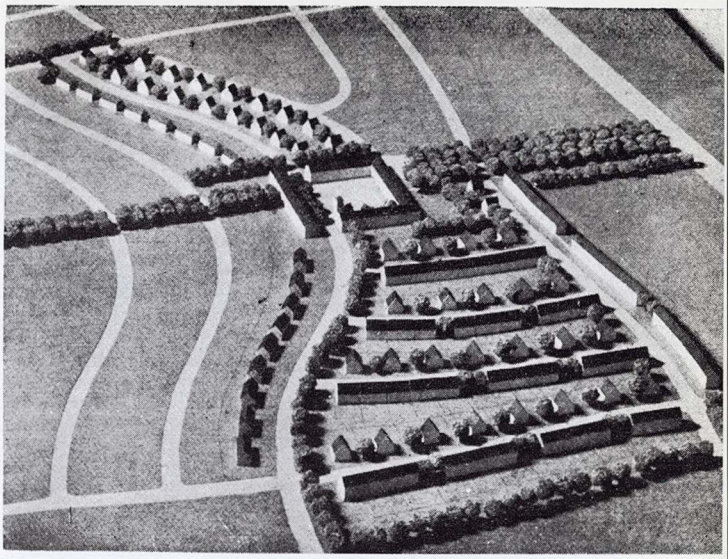


外　　觀 3

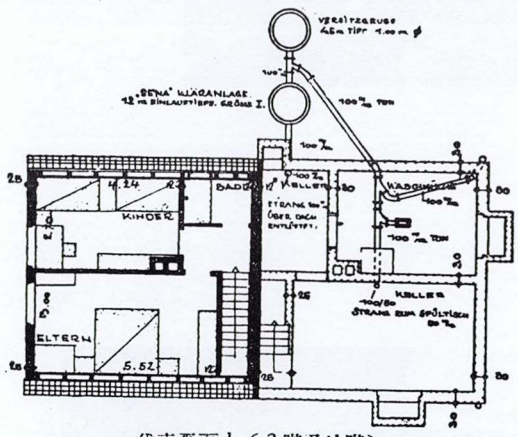
x 12　（ドイツ）下バイエルン森林地帯の郷土建築



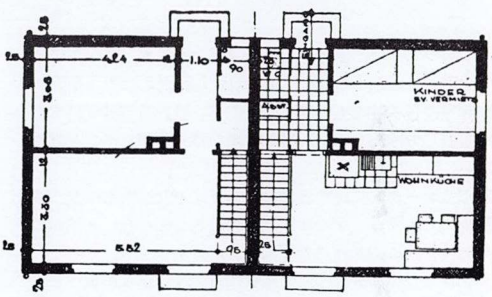
計　畫　圖



406家族收容の第1次計畫の模型

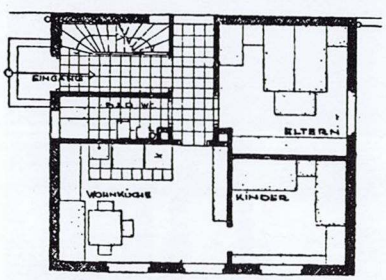


代表平面1（2階及地階）

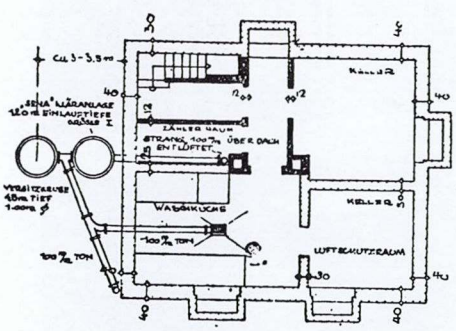


代表平面1（1階）

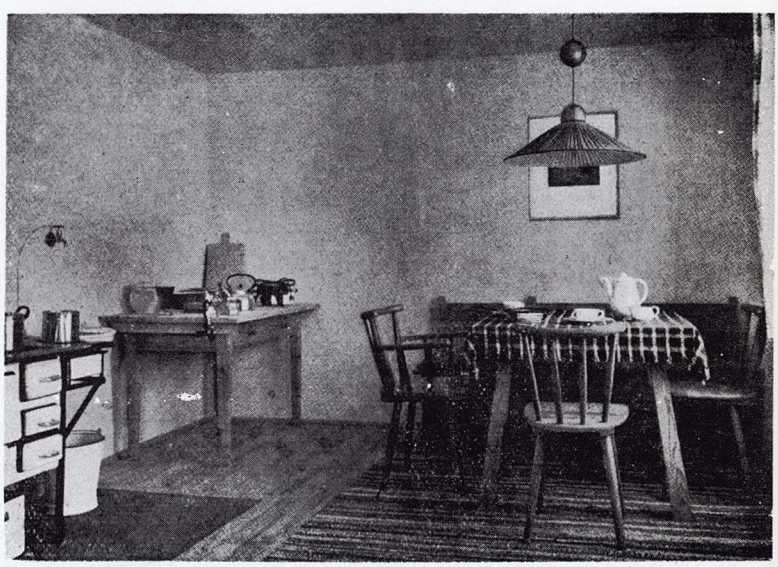
（Baumeister, August, 1939 より）



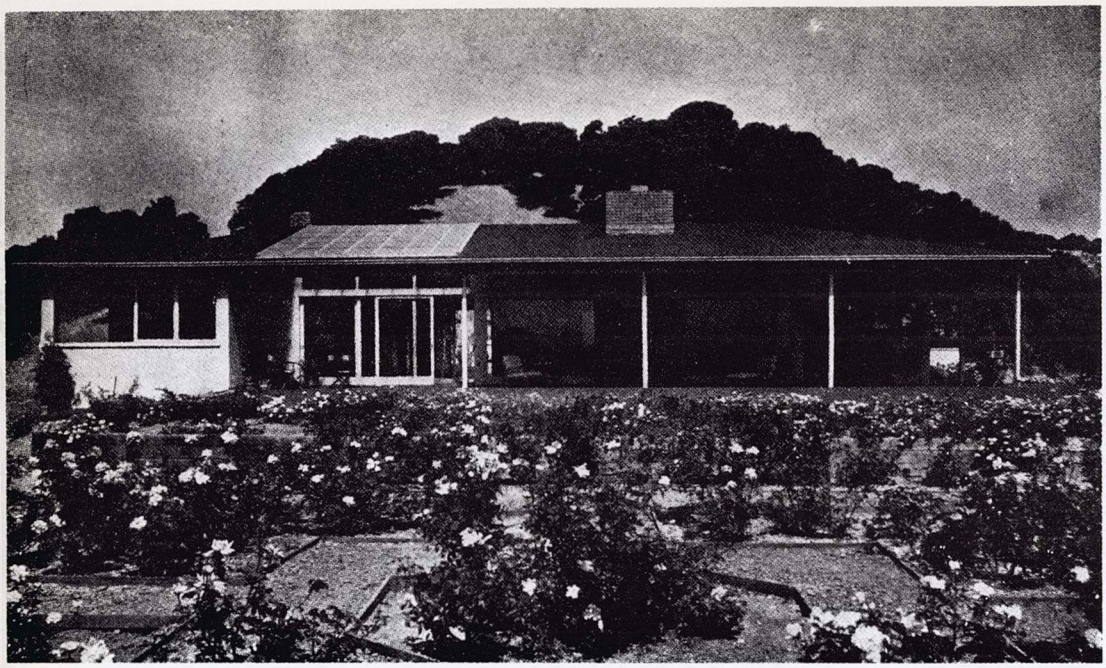
代表平面2（1階）



代表平面2（地階）



台ニ所・食　堂・兼居間



外　　觀

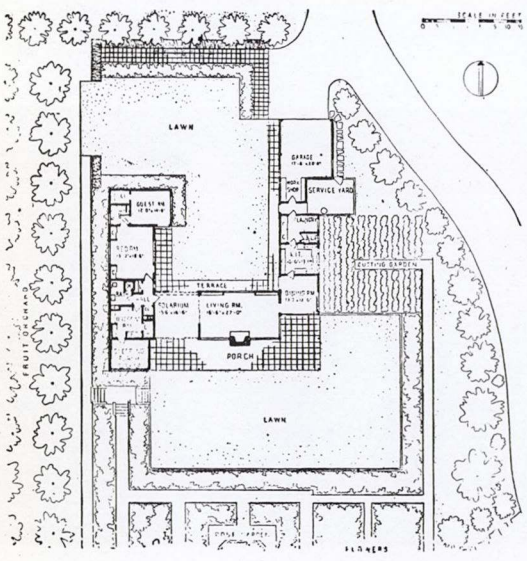
庭園に向つて完全に開放せられた住宅．室内まで庭を誘導する樣な住宅といふ施主の注文にて設計せられたもので．平面外觀共に非常に日本的なものを持つてゐる。設計者自身「日本の細部は眞似してはゐないが，日本建築の精神を學んだ」と言つてゐる。

南方に2エーカーに達する敷地があり．それが南方に向つて急傾斜をしてゐる爲．南の眺望に何の遮るものもないと同時に庭及び室内を人に覗かれる心配もない。

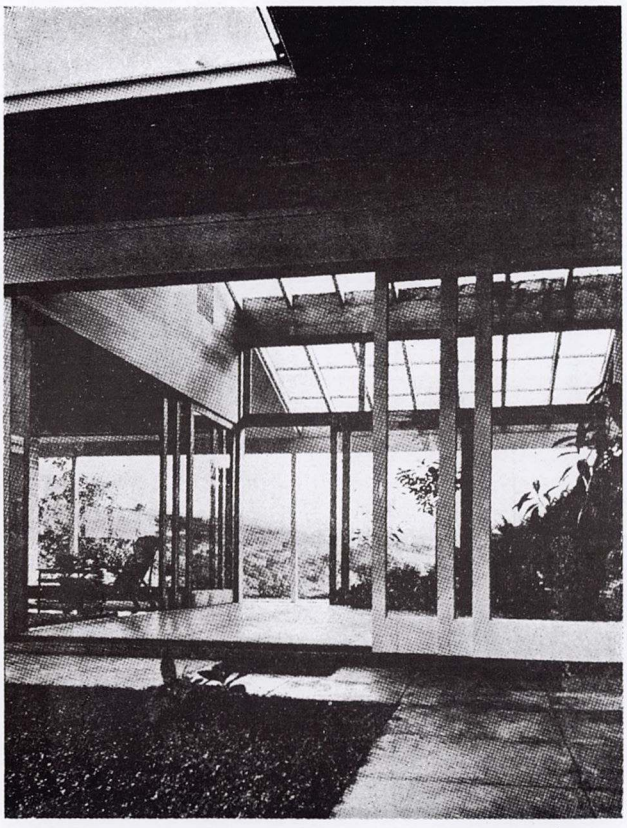
カリフオルニヤの從來の住宅樣式に啓蒙的な指示を與へるものとして注目すべき設計である。

木造平家建。

（Architectural Forum, July, 1939より）



平　面　圖



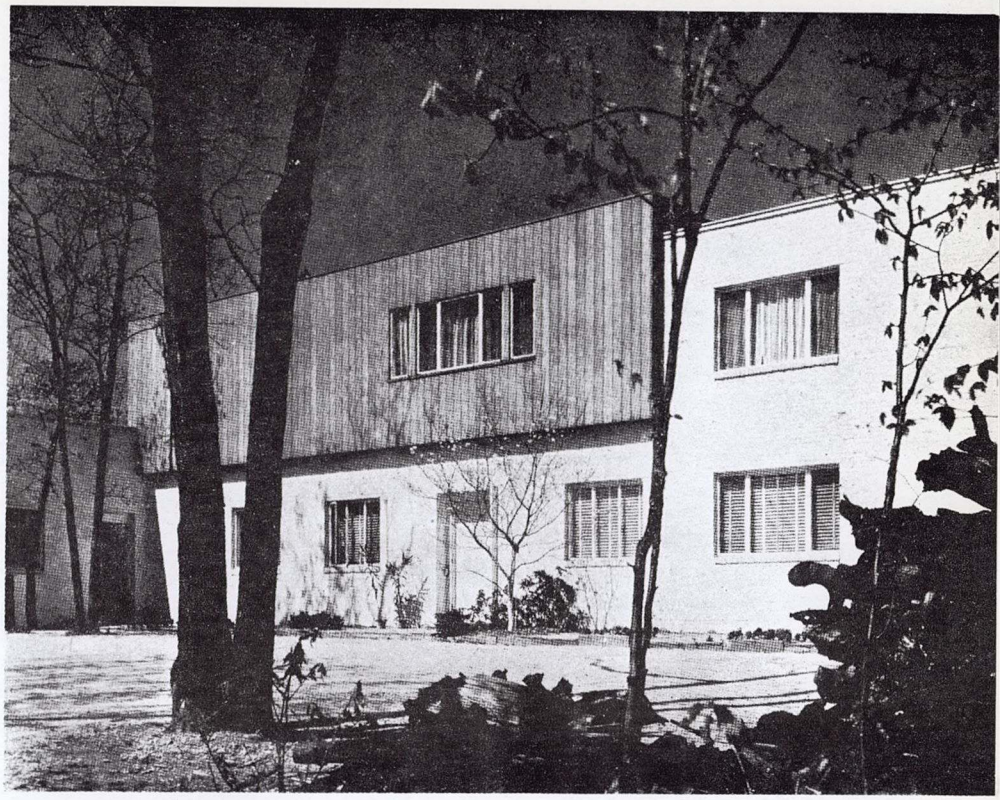
中庭より屋内を望む

x 14　（アメリカ）カリホルニヤの住宅　　建築家　W. W. Mayhew

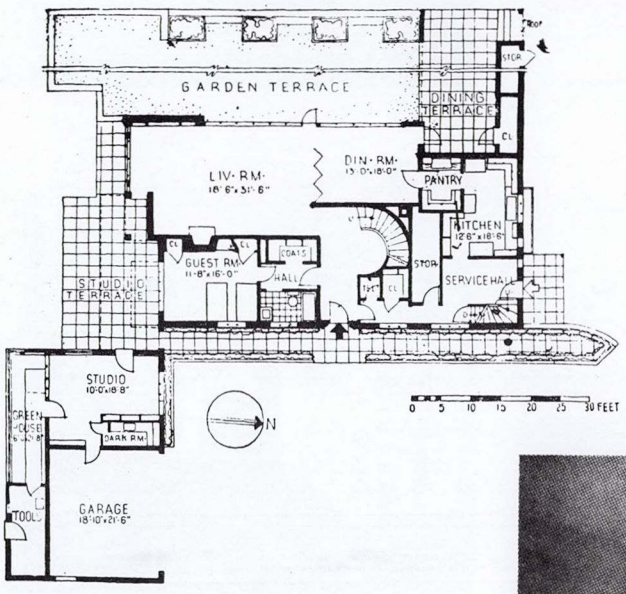
夏冬を通じて戸外及び室内の感覺を完全に一致させる樣に工夫せられた住宅。その爲に居間及び食堂の窓は大きく開き．テラスと室内床との高さをレベルにしたものである。

隣家と高い岩とのある關係から方位は西向きとなつてゐるが樹木の爲に西日の暑さは充分防がれる上に．建物から150呎程隔つた所に約30呎の斷崖があつて．開放的な室内もその爲に充分に祕密が保たれる。木造二階建。

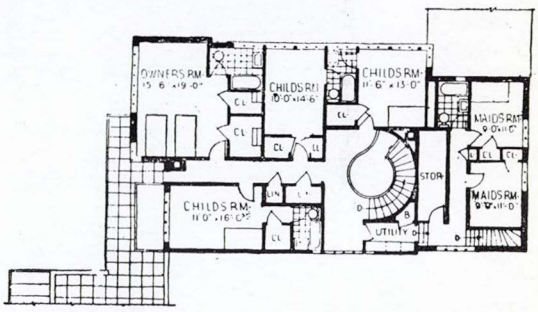
（Architectural Forum, July, 1939 より）



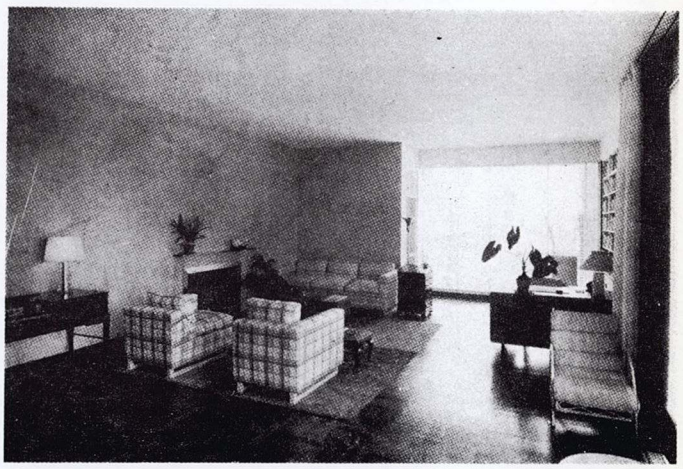
外　　觀



1階平面圖

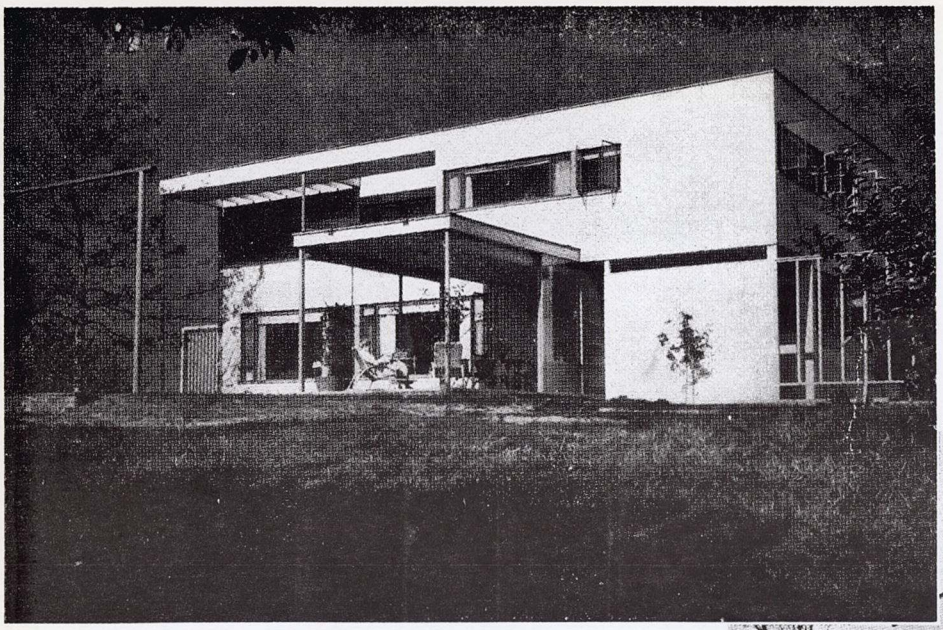


2階平面圖

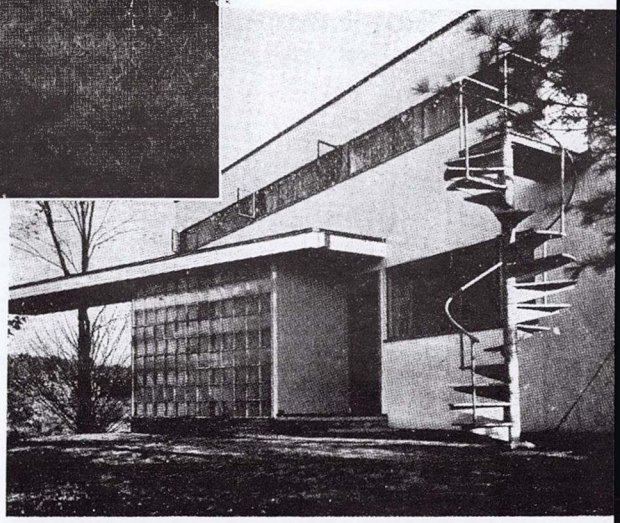


居　　間

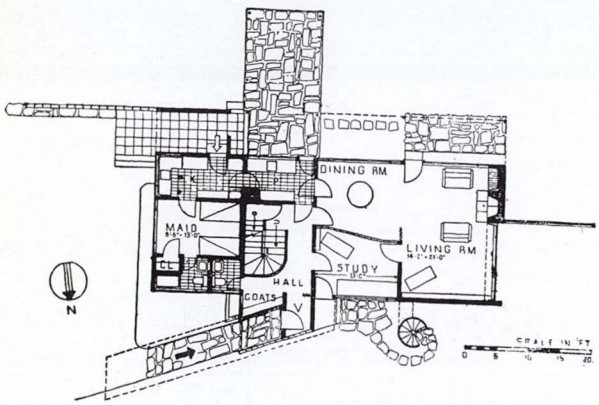
（アメリカ）ブルツクリンの住宅　建築家 G. Holmes Perkins



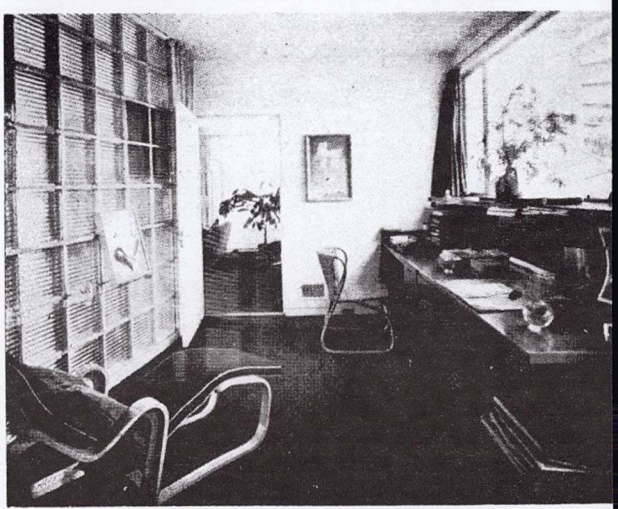
外　　觀 1



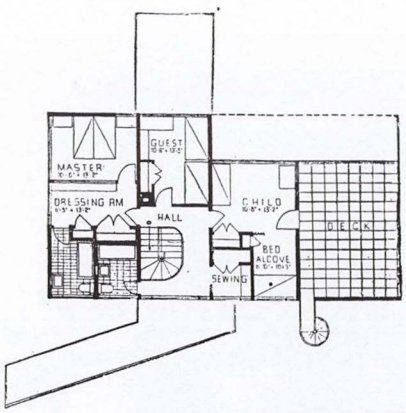
外　　觀



1 階 平 面 圖



書　　齋



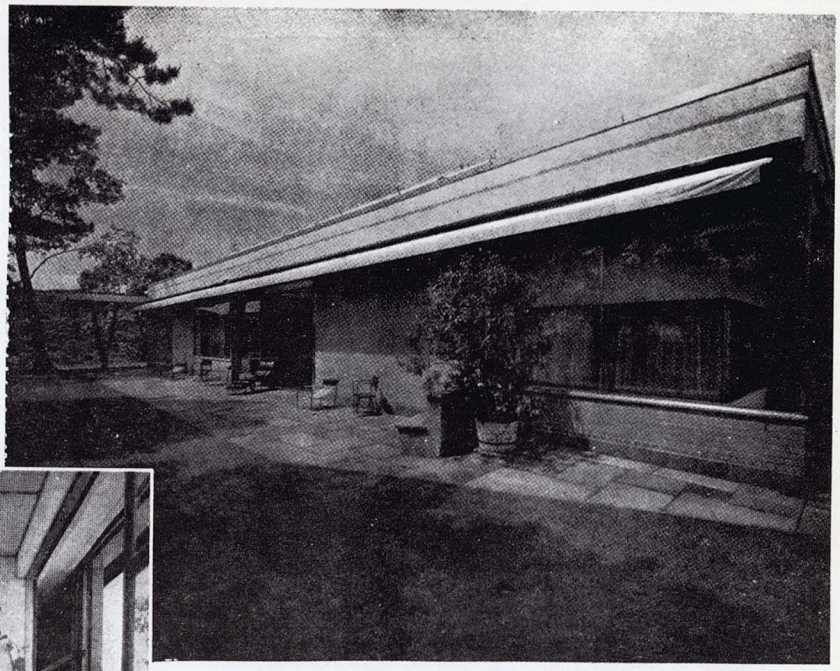
2 階 平 面 圖

極めて能率的であることを目標として設計せられた住宅。廊下のない動線の短いコムパクトなプランで．大きな窓からは廣い眺望と冬季東南から西へかけての豐富な日光とが得られ，夏季には南側は庇．西側は錆止アルミニユームのベネチアン・ブラインドで日光の直射が遮られる樣に出來てゐる。

自働皿洗器と廢物處理裝置のある臺所．夜間各室の煖房を中止した後にも浴室と化粧室だけは溫く殘つてゐるといふ特殊な煖房設備．浴室及び全ての給水設備の經濟的集中等いろいろな新工夫が凝されてゐる。東側及び西側庇の組格子は蔦等を這はす爲である。木造2階建。

（Architecrural Forum, July, 1939より）

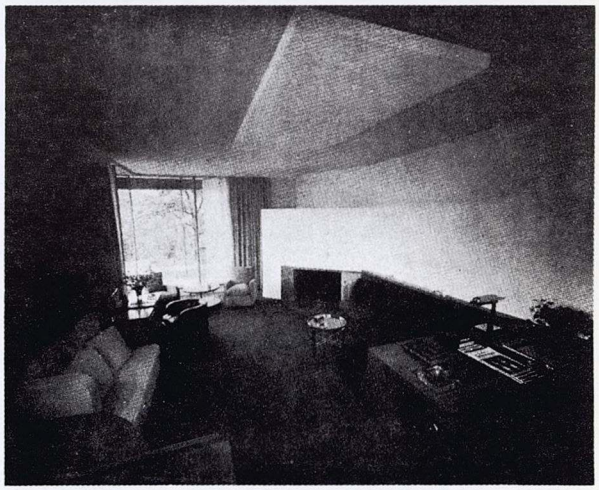
x 16　（アメリカ）リンコルンの住宅　　建築家　W. Gropius 及 M. Breuer



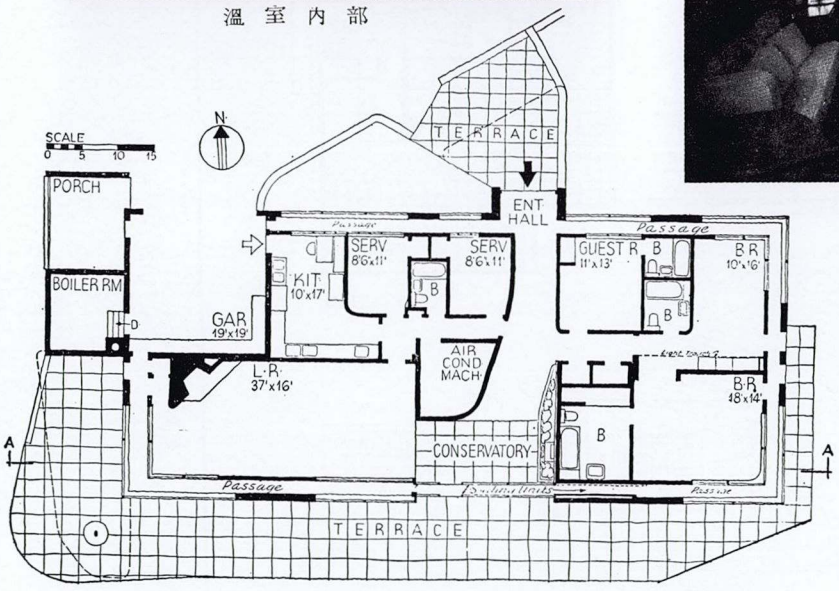
外　觀



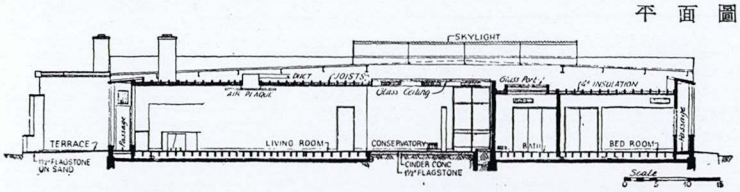
溫室內部



居　間



平面圖



斷面圖

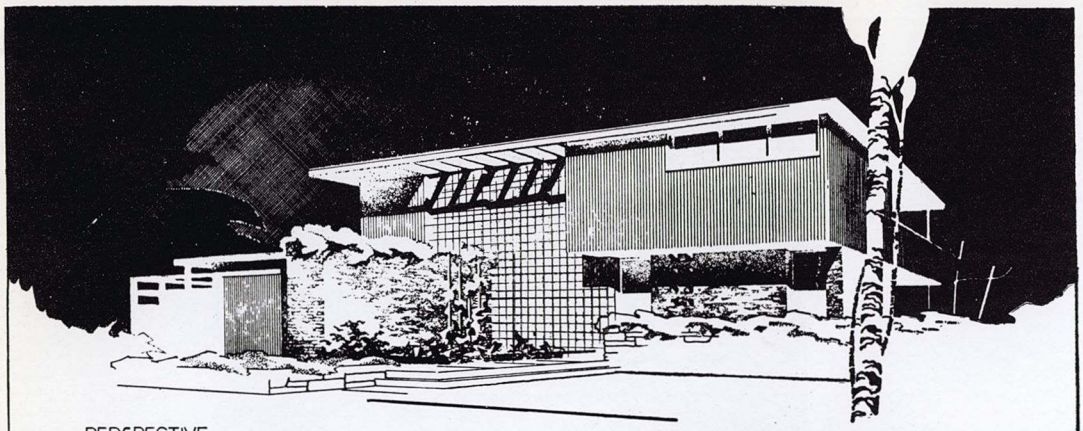
新式の煖房換氣裝置を極度に應用して，この住宅の持主の故郷である南カロリナ州の溫度と濕度とをニユーヨークに於て實現しやうと試みたものである

この爲に建物の周圍は全部2重にして言はば他の構造物中に完全に包まれた住宅である。

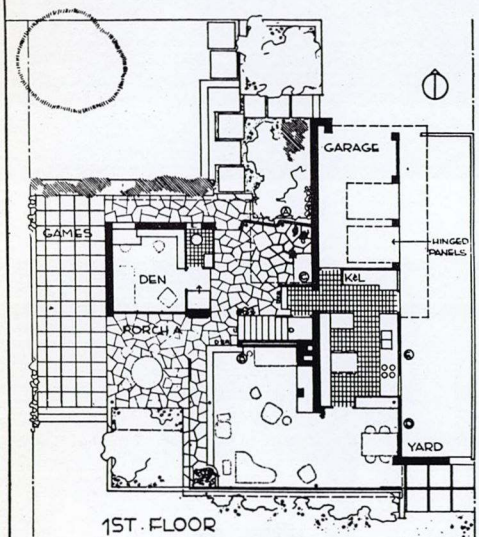
この構造に依つて室內は何んなに濕度を高めても硝子面に露を生ずることなく，又外部の音響からも遠ざかり得て極めて靜かである。

內部の建物が1年を通じて空氣調整をやる裝置を持つてゐる上に，2重壁の間のスペイスに對しても別の裝置が備へられてゐて，室內と戶外との溫度差の調節に役立つてゐる。

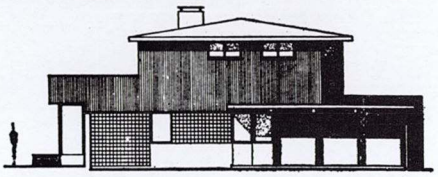
（Architectural Forum, July, 1939より）



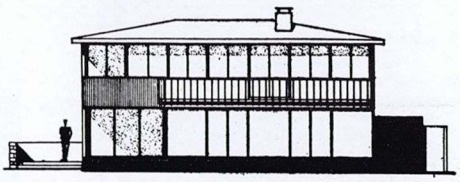
PERSPECTIVE



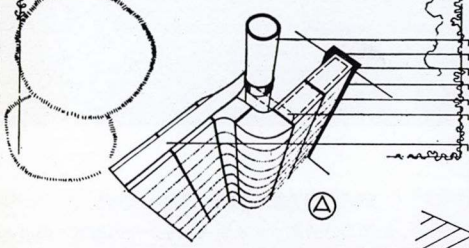
1ST. FLOOR

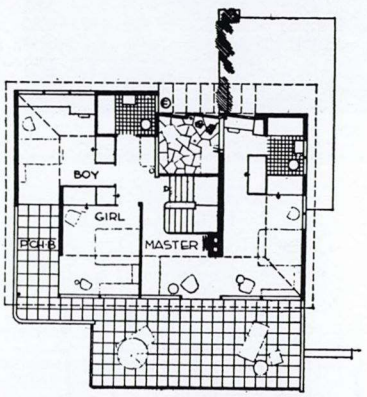


EAST ELEVATION

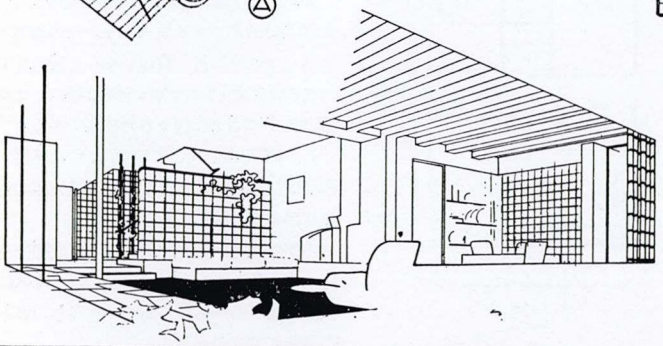


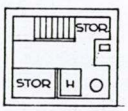
SOUTH ELEVATION





2ND FLOOR



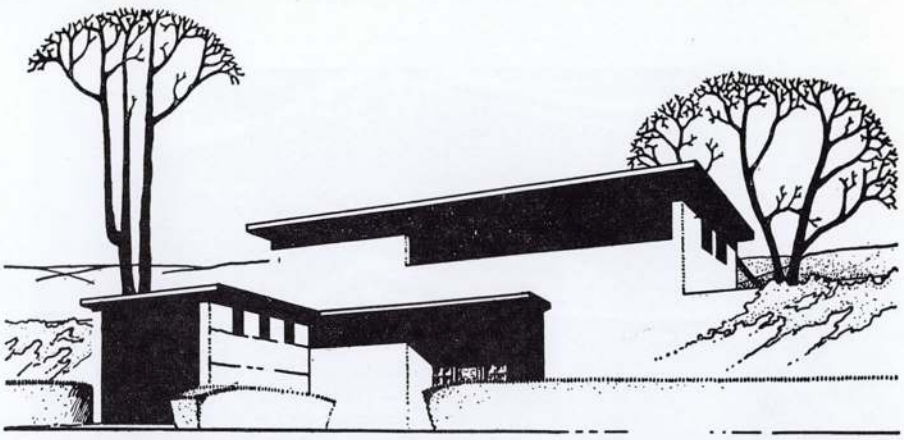


HEAT

オーエン・イリノイズ硝子會社がフオーラム誌を通じて行つた，住宅懸賞競技の當選圖案である。斷熱遮音のグラス・ブロツクを住宅建築へ普及するのが目的ではあるが，審査は住宅建築としての嚴正な批判の下に行はれてゐる。但グラス・ブロツクは傳統的な樣式よりは新しい形の方によりよく調和する故に，入選作の全部が近代式の住宅であることは已むを得ないことであろう

審査員の顏觸は Keck, Root, Pereira, Schweikher, Shaw, Hammond 及 顧問の Saylor の諸氏であつた。 (Architectural Forum, July, 1939より)

x 18 **（アメリカ）グラス・ブロツク使用の住宅懸賞1等當選圖案** **設計者 Harris A. Kemp**



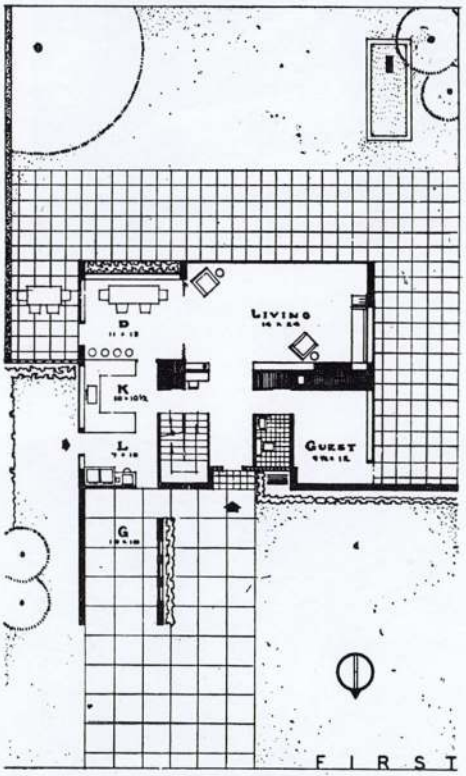
P E R S P E C T I V E



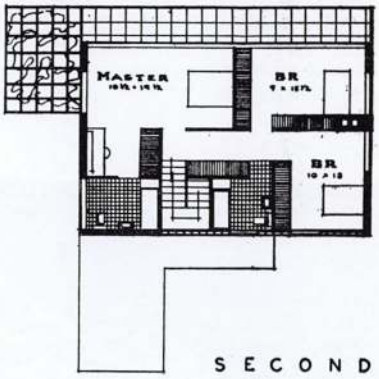
FR. DOOR



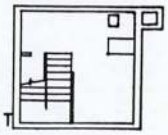
BEDROOM



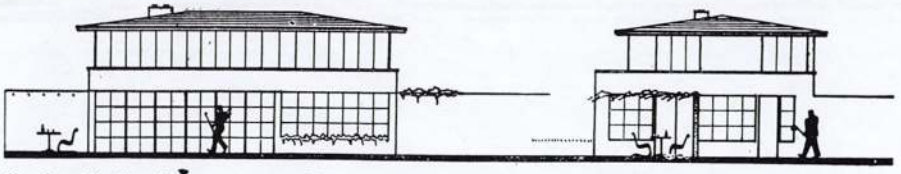
FIRST



SECOND



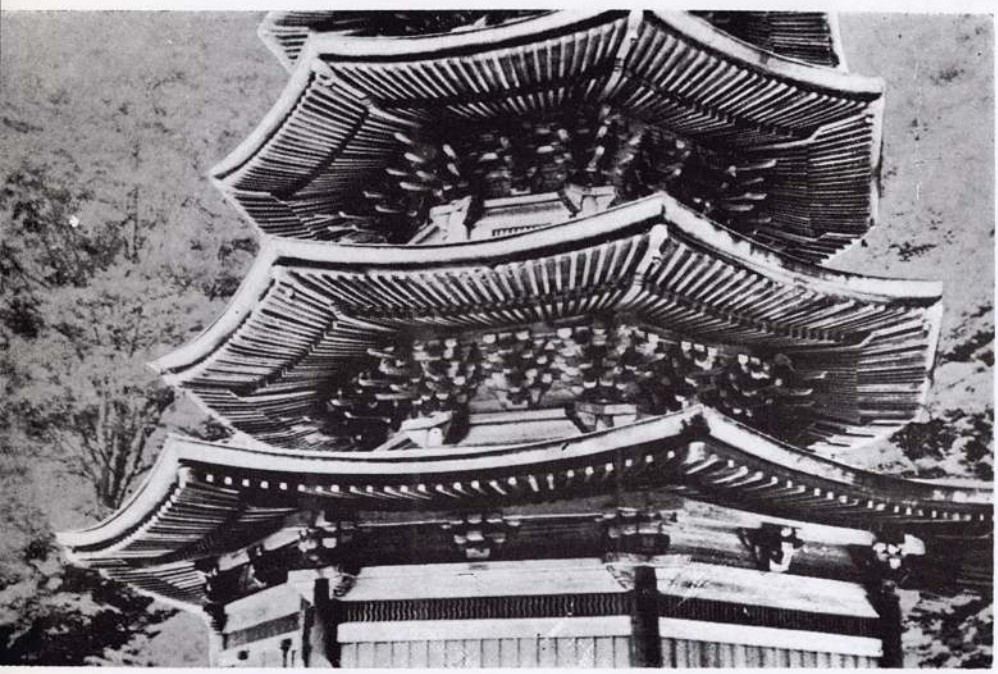
BASEMENT



S O U T H E L E V A T I O N S E A S T

（アメリカ）グラス・ブロツク使用の住宅懸賞2等當選圖案　設計者 Laurence W. Schwall

古建築新抄 (8) 藤原義一



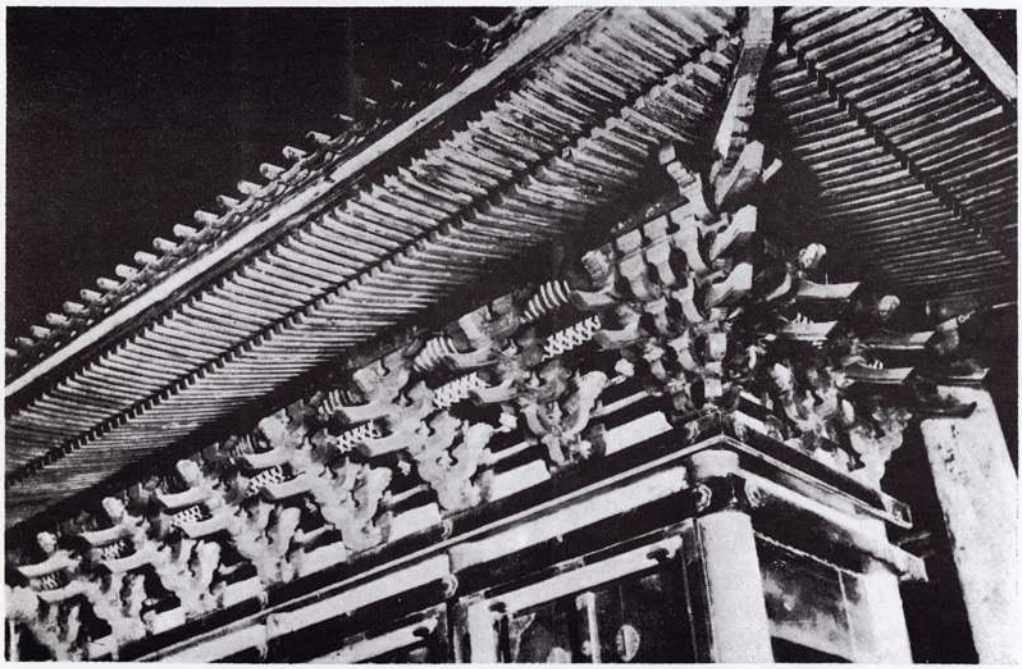
精巧・巧緻

伽籃建築をはじめとして、日本の古建築には元來美觀の展示を目的としたものが多い。建築そのものが裝飾の意味を有してゐる。故に輪換の美を發揮し、裝飾に意匠を凝らしたのであるが、その手段として建築の構造そのものに裝飾の意味を持たせたものと構造とは別に純裝飾物を附加充塡したものとがあつた。

かゝる意圖は後世になる程露骨になり、桃山時代から江戸時代のはじめにかけて極限に達した。即ち日光建築にその極致を見る。

1 安樂寺八角四重塔（長野縣別所温泉）

平安朝の頃京都の法勝寺に八角九重塔が建てられたといふ傳說があるが、現實に八角形の層塔は安樂寺にのみこれを見る。主として唐様を以てする種や詰組の手法によつて形態を頽る印象的ならしめてゐる。年代は室町初期



2 鶴林寺本堂内陣厨子

應永4年の作。本堂は和様と唐様の折衷様式建築として有名であるが、厨子も亦同じ折衷様式を有してゐる。上例と共に構造に裝飾的意圖を多分に持たせたもの。

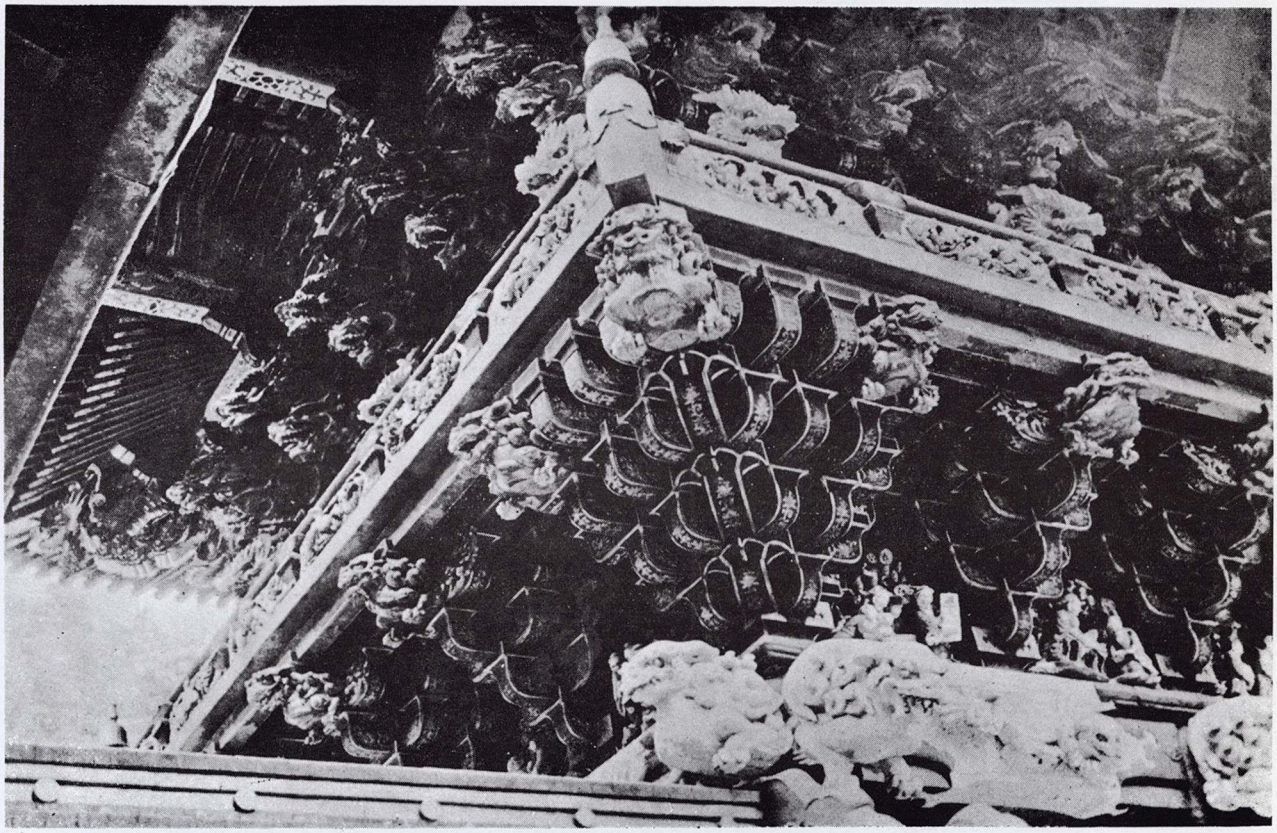
3 日光大猷院拝殿正面唐破風下彫刻

大猷院靈廟は東照宮社殿と共に日光建築を形成する。柱、蟇の如き純構造部材の表面に精巧な彫刻を充填し、その上に漆を塗り、金箔を置き、極彩色を施し、目も眩むばかりの美くしさである。

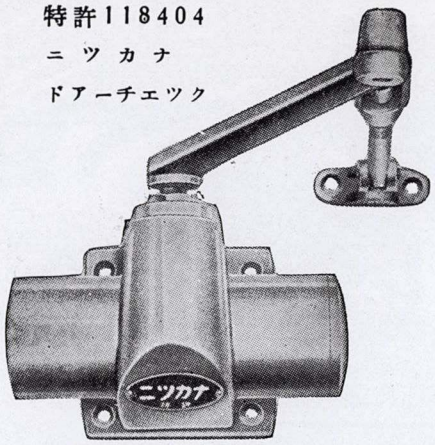


4 日光東照宮陽明門腰組

唐様の詰組を根本とし、種々の彫刻を附加充填し、漆、極彩色金箔等を應用して、日暮し門と云はれる。見ても見飽かぬ豪奢な裝飾が出來たのである。

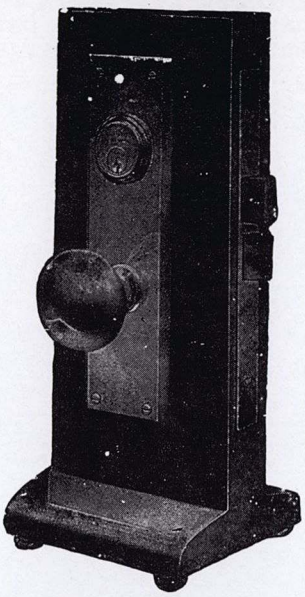


特許118404
ニツカナ
ドアーチエツク



日金

シリンダー錠



營業種目　シリンダー錠各種・ピーアレツス蝶番
家具用特殊錠前・建築用金具一式

日本金具株式會社

本　社　大阪市西淀川區大仁東二丁目　電話福島㊺2051・2052・2053 局2055・局2056

出張所　東京市日本橋區本町二丁目　電話日本橋㉔2993

ノボアルミナセメント

超高級　耐鹹耐寒耐火

六時間コンクリート

大阪窯業セメント株式會社

6 HOURS CONCRETE

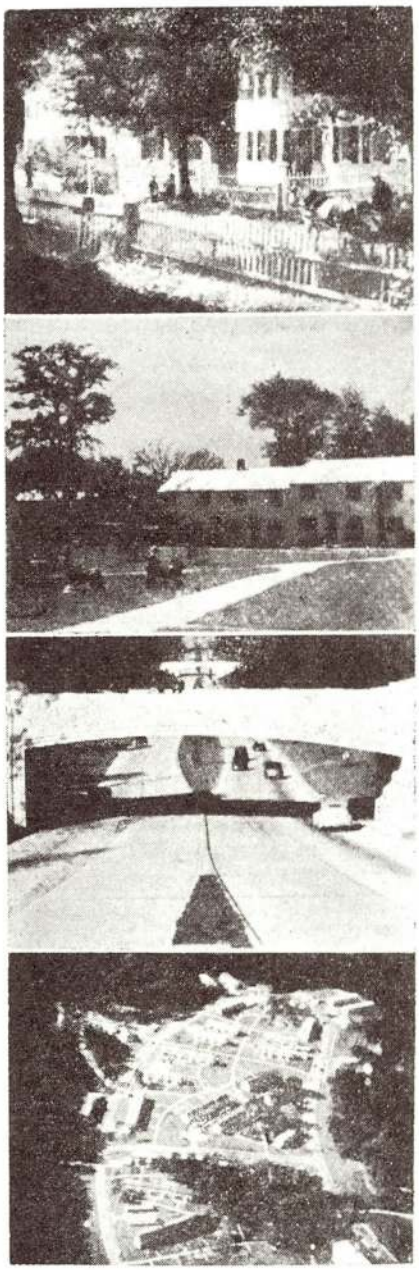
1:2:4 水比65 6時間 217㎏/㎠ 28日 410㎏/㎠

1:2:4 水比45 6時間 300㎏/㎠ 28日 580㎏/㎠

施工6時間後
完全使用が
出來ます

アメリカ都市計畫家協會提供の映畵"The City"

The American Institution of Planners Presents "The City" American City, June 1939, P. 129.



この映畵はニューヨークのカーネギー財團[1]よりアメリカ都市計畫家協會へ50,000弗の補助を與へられて出來たもので5月15日ボストンの全國都市計畫會議[2]で試寫會が催された、一般初公開は5月26日ニューヨーク萬國博覽會で行はれたが、一般の映畵館や市民團體の前で公開されるのに格好なものと思はれる。

この記錄映畵は四卷より成り(上映時間約44分)"The City"(都市)と題されてゐる。ある批評家の言に依れば、この"The City"は都市及町村計畫の分野から見て仲々劇的な又興味をそゝる魅力を持つてゐるのであるが、地方及農村計畫の方面より見て"The River"が持つてゐたものより優秀である相である。

そのテーマは大體序文に述べられてゐる。

> 〃年を追つて我々の住む都市はより複雜になり住み難くなつて行く、今こそ再建の時である、我々は古い都市を改造し、我々の要求により適合する樣な新しい社會を作らねばならない〃

こゝに示された代表的な場面でも判る樣に、"The City"は合衆國に於ける、都市發展の最もよい方面と惡い方面とを、明瞭にうつし出してゐる。この物語は最初、美しき New England の村の初期のアメリカ都市の生活から始まる。やがて不毛の荒地や起伏する丘に、ゴミゴミ安普請の建て込んだ工場町や鑛業町が、工場や機關車の煙突から吐き出される騷音と煤煙と塵埃の中に出來て來る。やがてカメラは、現代都市のめまぐるしくも渦卷く群衆と雜踏を、うつし出す、Wall Street は人混で身動きも出來ない程である。一瞬Trinity Church の鐘が日曜の時を報ずると、この街には人つ子一人見えなくなり、場面は計畫の不味い道

1) The Carnegie Corporation of New York.　2) The National Conferrence on Planning

路を都會を逃れて驀進する自動車の涯しない流れに一轉する。氣の狂つた様な日曜日の雜踏、何の設備もない危險な二方交通路、風致を害する醜惡な廣告看板。

Go-Stop 板に惱まされる自動車、危險な平面交叉道路などが次々に現はれて來る、そして最後には見透しのきいた、聰明な計畫によつてのみ可能である田園都市に通ずる巧みに計畫された公園道 Park way が現はれる。之は遠い將來に於ける架空的な都市のことではなくて、現實に存在する都市の一部に過ぎないが、何れも未來の都市の色々な要素が既に實現されつゝある事を示してゐる。自動車は美しい、區切られた道路を滑らかに流れて行く、人々は清潔な風通しのよい、明るい工場で働き、子供も大人も一緒になつて、太陽と碧空の中で暮す、住宅は明朗で清潔であり、綠の環境の中に融け込んでゐて、カメラは住宅や計畫や Underpass や Protected roadway や厚生廣場等、深く考慮を以つて計畫された都市に於てのみ出來る健康的な秩序ある生活を示し或は又新しい社會を建設するにだけでなく、我々が住んでゐるこの都市を改造するに必要な目標を指摘しながら、Green City の清潔さと能率的な事とが工業都市大都市の不潔と無秩序に對照してうつし出されると、映畫は陽光のふりそゝぐ大空の下にたのしくたわむれる子供達の場面を最後にして終るのである。

"The City" を製作するに當つてカーネギー財團より資金を受けたアメリカ都市計畫協會は、Civic Film Incorporated なる奉仕會社を組織しこの理事會は次のメンバーより成る。

Frederic'k L. Ackerman. Tracy B. Angur.
Russel Van Nest Black. Harold S. Buttenheim
Robert D. Kohn. Lowrence M. Orton
及 Clarence S. Stein

映畫製作技術ノ主責任者、

評論及脚本 Lewis Mumford. Pare Lorentz 及 Henwar Rodakiewicz

監督 Oscar Serlin
撮影 Ralph H. Steiner 及 Willard Van Dyke.
音樂 Aaron Coplond 及 Max Goberman
記事 Moris Carnovsky
編輯 Theodor Lawrence

（星野）



市街地價再增進への一要素としての交通

Charles Gordon; Transportation as an Element in urban Rehabilitation: The American City, June, 1939; P88.

（アメリカ交通協會理事）　チヤールス・ゴードン

最も多くの人々に便宜を與へられると云ふ事は都市固有の價値を決定する最も重要な條件であるからである。從つて都市の交通組織は人體生理に於いて、血管がなしてゐると同樣な作用を、その經濟生活に於てなしてゐるのである。だから都市の交通組織を變へる事に依つて、計畫者は都市固有の價値を實際に生かしもし、又、殺す事も出來るのである。

都市計畫の他の部門に於ては、何れも注意は先づ低收入の人々の要求を滿たす事に向けられる。之は當然さうあるべき事である。何故なら正しく計畫された住宅の欠乏と要領の惡い土地利用及び厚生の便宜の得られない事等に苦しんでゐる人達の多くは、經濟的に弱い爲に到底許容し得ない樣な狀態の下に生活する事を强ひられてゐる大衆であるからである。計畫のこの方面に關しては計畫者の注意は先づ大衆の要求に注がれ、從つて計畫と云ふ職業は、人間の社會的活動力を左右する點にまでたかめられてゐるのである。

然し乍ら、輸送計畫に關してはさうではないのである。この意外なる事實は多方面の計畫事業に從事してゐるあらゆる人々の考へを否定するものである。今日の都市計畫者及び地方計畫者の注意は、專ら自動車の活動範圍を擴める事にのみ向けられてゐる。だからと云つて私は、目下大市域の內外に於いて、自動車の活動範圍を擴める爲に、遊步道や橋梁や公園道や超幹線道路を造つてゐる事が全く、不要だと云ふのではない。併しかゝる工作が、都市の內部に於ける根本的な交通問題を何等解決するものでないと云ふ事と、かゝる改善はかなりに自動車の乘客の爲にのみ限られてゐるので、大衆の要求を見逃してゐると云ふ事を知らなければならない。

結局のところ、利用し得べき都市の經濟的資源は、自動車乘客の便宜の爲にのみ費されてゐて、眼前に推積してゐる都市の雜踏と云ふ根本問題は良くなつてゐるどころか、却つて惡くさへなつてゐる。思ふに計畫專門家が、この問題に關して利用し得る所の權威ある科學的、且、經濟的資料に一度充分に精通する時は、大衆輸送の便宜を計る事に依つて彼等を惱しつゝある、交通障害より解放する唯一の有效なる手段を見出し得ると云ふ事が一見して明らかとなるに違ひない。大衆輸送を更生し且適當に改善する事によつて都市の物質的發送の方向と本質とに影響を與へる有效なる手段を、獲得する事が出來ると云ふ事が認識されて、始めて充分にこの事の可能な事が計畫者に諒解されるのである。

【1939. 5. 15. Boston に開催の National Conference of Planning に提出の論文より抄譯】

（星野一雄）

中學生によつて勸められた街路用紙屑籠

School Pupils Urge Litter Receptacles for City Streets; American City, June, 1939, P, 125.

シカゴ（イリノイス州）ではシカゴ商業組合の社會奉仕委員會によつて Clean-up-Paint-up-Light-up 運動と云ふのが創められて、38の中學區——之は更に約 200の小學區に細分されるのであるが——この區內にある學校により指導されてゐる。

この運動はもともと、身體の淸潔に力を盡してゐたのであるが、それに伴つて指導精神及び立派な市民としての素養を涵養出來るので、之も亦目的とされてゐるのである。この運動は立派な市民としての作法や、生活の技術を修練する爲の優秀











な手段となつてゐる。

本年の4月に8人のシカゴの中學生達がWaukegan（イリノイス州）に集り其處で學生會議を開き、この町の Clean-up 運動の爲の方法を計畫した、尤もこれに對して W市議會の G. Robert Galloway 氏は "紙屑を集めてまはるなどは、幾週間もかゝるであらう" と云つた。

中學生達はラヂオを通じて、又、キワニス・ライオンズ婦人會、改善協會や教會等で、講演をした。或る11歳になる學生は、先月全國 Clean-up 放送に加はり、そしてシカゴ市會の實行委員の前で講演した最初の學生であつた。

今年のこの運動に於ける、二つの興味ある發展は、彼等學生達がなした**街路用紙屑入れ**の調査及各家庭の廢物入の調査である。他の都市に向けて屑籠の報告と繪を求める手紙が出された。學生達の報告書は市會に提出され Fred C. W. Parker 氏（Kiwanis International の實行委員）がWaste-basket 委員會の議長に撰ばれて、學生の委員會に協力する事になつた。

報告書は今學生達の手に依つて市長 Edward J. Kelly 氏の下に、いつでも提出される樣に準備されてゐる。屑肉入れの調査も又興味あるもので、學校では附近の團體と緊密に協力して、今戸別調査を行ひ屑肉入れを整理し、その調査結果を檢討してゐる。

この年の運動はシカゴでは一週間處か、一年も費した努力であるのであるが、この結果を報告するには未だ時期尚早である。何を期待すべきかと云ふ見通しは、昨年のこの運動の結果から得られる。この時には學校だけで 7,281,644 の Cleaning Painting の仕事、運動に關する講演 2,313、團體行列 110. 主婦實業家、商店主に依り署名された誓約750,000以上の結果を報告してゐる。

毎年シカゴ市會は6月始めにルーブホテルで開かれるウイクトリ午餐會に於て12個の賞杯を最も顯著な社會事業をなした學校に對して與へる事になつてゐる。（星野）

by Ethel Foster
（Clean-up-Paint-up--Light-up Campaign 理事）

工場火災に府が警告

大阪府工務課では最近激增すを工場火災（1月—8月迄179件、損害凡そ 3,000,000圓）分けてもセルロイド工場の火災の多いのに留意し殊に發火原因が殆ど從業員の不注意であるのに鑑み9月11日左の通り嚴重な警告を行つた。

きまつた場所以外で煙草は絕對に喫まぬこと。★セルロイド油脂類その他危險なものは必要以上に作業室内に搬入しないこと。★油のしみたぼろ類は危險のないところに處理すること。★避難出口を整理すること。★消防設備を整備し出火の際は適切なる處置を取り得るよう注意すること。

時　報

★第7回全國都市問題會議

第7回全國都市問題會議は明昭和15年東京市で開催せられることに、去る理事會に於て決定せられた。議題は次の通である。

第1議題　本邦都市發達の動向と其の諸問題

第2議題　都市の人事行政

明年は恰も皇紀2600年に相當し、政府その他に於て記念式典及各種の奉祝記念事業を帝都に開催すべく準備中であるので、これを機會にこの會議も東京に開催されるものである。會議に先立ち例の如く前記兩議題に對する研究報告の提出が期待されてゐる。會議の內容その他の詳細は追て發表される筈である。

★第1回6大都市建築會議

去る本年1月13—14日東京に於て準備會を開催した6大都市建築會議は、その第1回を去る11月中に大阪に於て開催することとなり、主催市の大阪市に於てはその準備に着手した。議題案は大體次の如きものである。

徵用令實施後の營繕事務運用に就いて

防火改修實施の具體案に就いて

防護室の實施設計に就いて

都市住宅雜綴和策としての住宅の實施設計に就いて

尙6大都市以外の都市からも申出により參加が歡迎される筈。

★防空模範街衢防火改修の完成

大阪市に於ける防火改修事業の實施方法を決定すべき、船場及市岡の防空模範街衢の防火改修がこの程完成して、去る9月16日市岡中學講堂に於て盛大に竣工報告が行はれた。

改修せられた戶數は船場13棟18戶、市岡7棟27戶で、大阪の鄕土建築の特色を生じつつ防空建築規則に準據して防空防火の目的を達せしめやうと努めた所に苦心の跡が見られる。この改修に依つて得られた各種のデータを資料として、大阪市の防火改修事業の計畫が立てられる筈である。

★完成年度に達した大阪都市計畫事業の現狀

今次變非常時局下の大大阪都市計畫事業を一瞥すると、莫大な鐵材統制起債抑制、の影響で7大事業のうち豫定通り完成するのは二つだけ、他は全部年度延長のやむなき狀態である、今年が完成年度にあたつてゐる都計事業は下記の通りである。

第1次都計事業（大正10年着工）事業費1億6,300萬圓、完成した道路は御堂筋初め38線、橋梁154近代的構成美を誇る大江、淀屋、天神、天滿、昭和、櫻宮等の諸橋は全て其賜である、然し阿倍野橋の改築工事遲延の爲、先づ一ケ年延長の筈。

第2次都計事業（昭和昭和7年着工）總費4,700萬圓、主に市の周圍部道路28線運河二等で進捗狀況はまだ70%前後市は都市發展の現狀に鑑み內容を修正して4ケ年の年度延長を行ふ豫定。

高速鐵道第1期事（業昭和4年着工）總費10.600萬圓第1號線南方我孫子間3號線大國町玉出間の地下鐵工事が之で、現在完成のものは、梅田、天王寺間で、他は鐵材の關係で完成迄には尙、二ケ年を要する見込。

大阪驛附近都計事業（昭和4年着工）總費485萬圓主なる事業は、驛前の街路擴張、地下道新設、驛前廣場造成。阪神地下鐵の完成と相俟つて來夏迄に大體の形を整える見込。但し地上の交通整理方法で各方面の意見一致せず完成迄には一ケ年は延長の模樣。

大阪驛前土地區畫整理（昭和10年着工）總費293萬圓驛前に高層ビル地帶を造成する事業で現在迄に二ケ年の延長を經たが、先づ先づ本年度中に完成の豫定。

公園墓地事業（昭和12年着工）總費169萬圓豐中市、中河內郡瓜破村の兩所に、計392,200平方米の墓地を新設する事業、用地買收は終つたが完成は來夏になる由。

下水處理事業（昭和6年着工）總費2,160萬圓、津守、海老江に下水處理場を設け中部並びに北部處理區の下水を淨化する計畫、今年末から一部の運轉を開始、年度中に完成の豫定。之に伴ひ問題の下水道使用料制度も今年12月から實施される筈。

會報

本協會員中軍務公用者氏名

前號發表後に於ける本協會員中軍務公用者下記の通りであります。（受付順）

普通贊助員　柴田耕一君

本協會員中徵用令應徵者氏名

本協會員中徵用令應徵者下記の通りであります。（受付順）

普通贊助員　名子一夫君　中條英一君　山野芳造君

主記會（第四回）

時　8月28日午後6時－8時30分
所　陳列場別室
出席者　桐本主記　黒田主記　伴野主記
　三浦主記　藪中主記
協議事項
1. 15年度會員名簿調製に關する件

常務會（第16回）

時　9月4日午後6時10分－7時20分
所　陳列場別室
出席者　理事　今林副會長　坂　副會長
　常務　黒田主記　三浦主記
　藪中主記　岩尾主計
　久保田主計　松井主計
　龜井編輯　新名編輯
　棚橋編輯　堀口編輯
議事
1. 法制委員會ヨリ臨時委員依囑方要求ノ件…承認
2. 建築學會ヨリ「ポスター」懸賞募集會誌ニ揭載方依賴ノ件……承認
3. 書棚調製ニ關スル件……主記一任
4. 小板書記退職手當等ニ關スル件……主記一任次回提出
5. 書記採用ノ件……次回提出
6. 會員詮衡

報告
1. 全國都市問題會議第七回總會議題決定報告
2. 片岡會長ヨリ圖書寄贈ノ件
3. 出征、應徵者報告

主記會（第5回）

時　9月6日正午－午後2時30分
所　陳列場別室
出席者　黒田主記　三浦主記　藪中主記
　松井主計　新名編輯
協議事項
1. 小板書記退職手當其他に關する件
2. 後任者採用に關する件
3. 廣告取扱事務分掌に關する件
4. 雜誌名義人變更に關する件

災害强度委員會（第9回）

時　9月12日午後6時－8時
所　陳列場別室
出席者　委員長　渡部
　幹事　淺野
　委員　河田、黒田、竹花
　藤田、長尾、後出
　池田、熊野、淺井
協議事項
1. 假設土留工事構法の拔刷配布の件
2. 鎔接手檢定方法に關する研究發表の件
3. 風壓の基準と解說に關する件
4. 無筋コンクリート構造の中間報告の件

九月例會（見學會）

時　9月16日午後1時－3時
所　市岡防空模範街區見學
出席者　阿部日出夫氏外150名
1. 午後1時大阪府立市岡中學校構堂に集合下記順序により擧行の市岡防空模範街區防火改修竣功報告會に參列

1. 宮城遙拜 1. 默禱 1. 挨拶（大阪府警察部長、大阪市助役） 1. 防火改修事業報告（大阪府建築課長） 1. 大阪市木造建物防火改修補助規程說明（大阪市防護課長） 1. 驛前火災實驗（16ミリ天然色）映寫

1. 上記終了後同中學西隣の改修現場隨意見學
1. 午後3時見學全部終了解散

因に受付に於て府市より寄贈の下記パンフレットを出席會員一同に配布す

1. 街區木造建物改修概要
1. 防空建築規則の概說
1. 大阪市木造建物防火改修補助規程
1. 驛前火災實驗報告

常　務　會（第17回）

時　9月18日午後5時50分—7時10分
所　陳列場別室
出席者　理事　坂副會長
常務　伴野主記　三浦主記
藪中主記　岩尾主計
松井主計　新名編輯

議　事

1. 十月例會ニ關スル件……次回提案
2. 小板書記退職手當等ニ關スル件……決定
3. 雇採用ニ關スル件……決定
4. 雜誌發行兼編輯人名義變更ノ件……承認
5. 廣告取扱ニ關スル事務分掌ノ件……決定
6. 都市問題會議總會議題會誌ニ掲載方ノ件…承認
7. 會員臺帳樣式變更並ニカード購入ノ件…承認
8. 會員詮衡

報　告

1. 九月例會終了報告
2. 八月分會計報告
3. 建築學會ヨリ厚生大臣ニ對スル意見書寫回付
4. 出征應徵者報告

法制委員會（第8回）

時　9月18日午後6時—8時30分
所　協會倶樂部室
出席者　委員長　玉置
幹　事　武田
委　員　本田、松井、平野、森口、横見

協議事項

1. 建築關係法令集編纂に關する件
   - イ　編入すべき條文の種類に關しては平野委員提案の通り決定
   - ロ　發行計畫に關する打合せ

會員動靜

入會者

會員

古川又一君　奈良縣高市郡八木町字八木八五（奈良縣廳土木課）
脇本茂君　旭區赤川町二ノ一〇六八（關西工學校敎諭）
山下福三郎君　東成區東小橋北町一ノ三七（自營）
田中八平君　神戸市林田區野田町八ノ一〇四（長崎市役所土木部計畫整理課）
鶴谷記三郎君　西淀川區姫島町一、七二四（自營）
福田佐二君　東區森之宮西ノ町六四三森之宮莊（長谷部竹腰建築事務所）
加藤英君　府下中河內郡久寶寺村字新田四一三八（帝國製糸株式會社施設課營繕係）
堀田好三君　和歌山市片岡町一ノ一（自營）
中里浩三君　和歌山市中之島町北之町七〇七（自營）
鈴木繁雄君　住吉區万代西四ノ四六（大阪市役所敎育部建築課工事係）
伊藤繁勝君　西淀川區大仁東一ノ三四（十三工業會）
堀內四知丸君　住吉區田邊東ノ町四ノ二三（株式會社清水組設計部大阪設計係）
津田勝君　和歌山市東長町十一丁目三（昭和紡績株式會社營繕係）
光岡清吉君　京都市左京區吉田本町五ノ三（株式會社清水組）
相澤喜久太郎君　京都市上京區柴野上柳町五二（清水組京都支店）
高橋市藏君　尼崎市東禦木町二三（山岡內燃機株式會社）

長田善吉君　京都市左京區下鴨芝本町三四（株式會社清水組）
山縣覺太郎君　東淀川區國次町六四三（自營）
小林健男君　住吉區昭和町東一ノ一六（自營）
富岡脩三君　北區北扇町市立文化寮內（大阪市役所教育部建設課）
向井寬三郎君　府下北河內郡交野町森（京都高等工藝學校教授）
森山清治君　神戸市林田區片山町三ノ一四六（株式會社竹中工務店）
岡崎半兵衛君　西區江戸堀北通二ノ五（自營）
佐伯富藏君　神戸市林田區長田明泉寺一一六ノ一二（神戸有馬電氣鐵道株式會社）
上村勇君　住吉區鷹合町六七ノ一（大阪市役所）
谷口泰一君　住吉區鷹合町一八五（大阪市電氣局運輸部車輛課）
大島治男君　京都市上京區等持院中町一〇（株式會社清水組）
宮城一夫君　住吉區田邊本町七ノ二〇（今宮職工學校）
高津啓二君　北區空心町二ノ四七（大阪市役所經理部營繕課）
中道清胤君　府下北河內郡守口町字守口六九四（自營）
飯田松太郎君　神戸市林田區六番町三ノ五八（自營）
浦野勝義君　北區都島北通二ノ五三（橋本建築事務所）
奥島正一君　京都市上京區紫竹下高才町四一（日本學術振興會災害科學研究所第二部）
笠野藤吉君　京都市右京區北白川久保田町三二（株式會社清水組京都支店）
北川正次君　住吉區村上町五（橋本建築事務所）
木村小治郎君　堺市文珠橋通一ノ一八（自營）
流石正治君　府下三島郡春日村中穗積二四三ノ四（橋本建築事務所）
至田利一君　府下南河內郡國分村國分一三四ノ四（自營）
須川徹一君　住吉區万代東四ノ一四（株式會社竹中工務店）
杉野有之眞君　旭區合市町一〇四八
本莊光和君　普通贊助員ヨリ轉格
關谷信次郎君　府下北河內郡枚方町字山ノ上松林組出張所（株式會社松村組）
竹下加壽男君　普通贊助員ヨリ轉格
田中瑞穗君　兵庫縣武庫郡精道村芦屋折ノ上二ノ一（神戸松浦工務店）
長坂昇君　豐中市大字濱塚一二八三（株式會社清水組）
中村篤君　神戸市葺合區熊內町三ノ二五（島田組工務店）
橋浦喜一郎君　神戸市灘區大和町二ノ一〇（橋本建築事務所）
松尾清君　神戸市林田區蓮宮通四ノ一五（神戸稅關會計課營繕係）
山口正君　西宮市北昭和町三二（京都市營繕部第一技術課）
吉田孝君　北區兎我野町三二備仲二郎方（株式會社清水組）

地方會員

小川昌三君　名古屋市昭和區北山町一ノ一八（株式會社清水組名古屋支店）
尾田正友君　宇治山田市船江町一一一三東紡社宅（東洋紡績株式會社營繕課）
相眞文爾君　三重縣富洲原町東紡社宅（東洋紡績株式會社富田工場營繕係）
西村秀雄君　名古屋市東區杉村町六ノ六（株式會社清水組名古屋支店）
龜山武雄君　名古屋千種區千種町元吉井五三（同）
目下勝秀君　德島縣阿波郡伊澤村（德島縣廳土木課營繕係）
森口勇君　德島縣勝浦郡小松島町東堀川通（同）
千草誠君　愛知縣知多郡大高町字北平部（株式會社清水組）
山岸榮夫君　東京市澁谷區櫻ヶ丘五香雲莊二三號（陸軍航空本部）
森政雄君　福井縣遠敷郡小浜町城內海岸通（株式會社清水組）
土居清君　明石市太寺一丁目三三七二（兵庫縣立工業學校）

永井佐藏君　愛知縣丹羽郡犬山町字犬山東古券二八二（東洋紡績株式會社營繕係）
河田亮治君　京都府東舞鶴市字濱八三九（自營）
阪口鶴二君　東京市牛込區南榎町三四（同）
武內富雄君　廣島市南竹屋町二三五（廣島縣廳）
奥保忠次君　普通贊助員ヨリ轉格
高橋太郎君　滋賀縣長濱町字高田四六（自營）
辻　法行君　京都府何鹿郡綾部町字綾中堂ノ元一（郡是製糸株式會社設備課）
中尾越郎君　高岡市富脇町九三二（株式會社清水組）
西村眞三二君　大垣市寺內町二〇四（合名會社鄉工務店）
野田一夫君　東舞鶴市北吸七六九（株式會社清水組）
野村茂治君　東京市杉並區阿佐ケ谷一ノ七二九（東京高等工藝學校）
林　三郎君　新京市中央通五四兒玉寮（東邊道開發株式會社）
平松龍太郎君　金澤市下堤町朝貨喜右衛門方（株式會社清水組）
藤井康之佑君　東京市淀橋區百人町三高路園內（日大講師）
松井金藏君　奉天市大和區紅梅町二六（福井高架組）
山本和夫君　愛媛縣伊豫郡松前町東納社宅北三條通三號（東洋レーヨン株式會社營繕課）
山田千代松君　金澤市長町五番丁一〇（株式會社清水組金澤出張所）
吉川治男君　川崎市池田町一四（大倉土木株式會社）

特別贊助員

池田鐵五郎君　西成區粉濱東ノ町五ノ五（大日本アスファルト工業株式會社）
森下敏郎君　豐中市南刀根山三三ノ二（大丸家具設計部）

普通贊助員

長井德道君　東成區勝山通八ノ四〇
大西榮六君　西宮市戸田町二二
中村貫治君　府下北河內郡寢屋川村垣溝（大阪市役所經理部營繕課）
杉浦文雄君　此花區中江町八七
片岡昇司君　北區東野田町三ノ七

退會者

會員

古井康男君　三浦春亥君　中野吉正君
西谷義量君　池呂信藏君

地方會員

中野勉君　小林市太郎君

普通贊助員

橋內一夫君

轉居・轉勤

會員

竹內政治君　北區中之島大阪市役所經理部營繕課
加藤松雄君　府下三島郡吹田町字高畑一四三一
小宮賢一君　東京市本所區太平町一ノ九（內務省防空研究所）
道田泰次郎君　住吉區阿倍野筋二ノ六〇府官舍
今泉實君　大阪製鋼株式會社
井上謙吉君　西區北堀江御池通五ノ一四（田村事務所電新町5.458）
熊野米雄君　府下北河內郡守口町字土居五二四
八卷信雄君　東京市芝區田村町六ノ七ノ六須賀商會內
平井英一君　府下北河內郡枚方町字岡谷五三〇
小田正二君　東京市豐島區西巢鴨二ノ一八九四青島務方（陸軍航空本部）
中田是規君　堺市南田出井町四丁一〇一ノ一
保園源三君　府下南河內郡道明寺村字古堂
池田秋夫君　西淀川區大仁東ノ町一ノ六六川崎方
岩崎陽行君　港區九條南通一ノ一〇九
中島富造君　神戸市葺合區加納町四ノ五ノ一新三宮ビル（電葺合7.711）
梶垣寬君　朝鮮羅津府南滿洲鐵道株式會社

北鮮鐵道事務所工務課建築係

河合　功君　東區北濱五ノ一三（長谷部竹腰建築事務所）

久田艮吉君　東京市世田ヶ谷區等々力一ノ二三三四武藏高工木村組作業所

三好貫一君　東京市四谷區大高町八〇

横瀨慶二君　京都府與謝郡宮津町鶴賀

石川純一郎君　府下豐能郡南豐島村字大原田一三

石川宏君　阪急沿線花屋敷長尾山（電池田2963）

奥田益市君　南洋パラオ群島コロール町二丁目（矢島組南洋支店）

早川健次君　東京市深川區更久町一ノ一九（藤木工務店東京支店）

松本幸雄君　住吉區山阪町二ノ九六

森本治一君　西宮市今津大東町八九

山崎鎭太郎君　西成區田端通一ノ二六

後出清範君　旭區森小路町七ノ四

西村安彦君　兵庫縣武庫郡住吉村鴨子ヶ原一八五ノ一

伊崎秀一君　尼崎市東御園町九（電尼崎1.785）

岡田僕君　住吉區北田邊四三伯水方

村上秀二君　兵庫縣武庫郡良元村仁川樂水園二一ノ二

桂川弘君　天王寺區茶臼山町七九ノ一

地方會員

太宰二郎君　哈爾濱市馬家溝代用官舍八〇

尾龜清四郎君　北區堂島濱通四ノ一〇須賀商會內

濱野幸次郎君　佐世保局氣付第四艦隊設營隊

羽柴盧君　朝鮮清津府松坪洞大林組日鐵出張所社宅

上原三郎君　兵庫縣飾磨郡飾磨町英賀甲一六八

杉江直巳君　住吉區北島東二ノ一五岸本方

田中彌君　岐阜市大黑町一丁目

日野藤好君　住吉區安立町四ノ五一生和園內

西岡喜一君　德島縣勝浦郡勝合村大字大原一七

池田正二君　東京帝國大學工學部建築學教室

土屋功君　東舞鶴市五條通初瀨南入ル

藤田元吉君　府下岡町幸通三丁目

高岡與三吉君　東京市小石川區江戶川町一七（電小石川898）

村井進君　東京市品川區大井出石町5110

安崎三佐男君　新居濱市金子新田（藤木工務店出張所內）

小林一夫君　東京市蒲田區蓮沼町三ノ三ノ二

荒木正巳君　熊本縣玉名郡鍋村鳥崎

今井忠君　浦和市仲町二ノ三七高野方

城戶武男君　名古屋市東區西二葉町一ノ一八

柴田清君　山口縣玖珂郡灘村大字藤生第二東紡岩國工場大林組出張所內

渡苅雄君　滿洲房產株式會社建設課

岸好雄君　東京府下立川町本町二ノ三二一七淺沼組出張所內

石津誠君　東京市蒲田區仲蒲田四ノ五ノ七（合名會社馬淵組東京出張所內）

特別賛助員

板谷惇君　旭區赤川町一一八三ノ一

城口龜吉君　府下豐能郡南豐島村原田八七四（電豐中3.097）

山田文治君　兵庫縣武庫郡良元村小林字ハクサリ三七ノ三（電寶塚511）

淺井欽治郎君　兵庫縣武庫郡塚口榮橋通二

上野次郎男君　東京市麹町區內幸町二ノ一大阪ビル（日本窒素肥料株式會社）

山內洋鷹君　神戶市灘區大和町三ノ六

普通賛助員

尾田正智君　下關市觀音崎町九四尾田管四郎方

天野勇君　東區今橋四丁目三菱信託ビル東畑謙三建築事務所

佐伯和男君　兵庫縣加古郡阿閤村野添一〇七二

平井謙一君　西區土佐堀通二ノ二（株式會社清水組）

福井高治君　同上　（同上）

金井洋三君　旭區今市町一〇六四大崎方（日東コンクリート株式會社）

河淵元三郎君　西宮市今津久壽川町四二

辻本義男君　東京府下立川町寺町立川町營アパート西寮七九號室

丹野哲夫君　東淀川區豐野町一七五八ノ六四

長谷部正直君　東成區林寺新家町一七一

野口修二君　岡山市巖井八三（岡山地方專賣局）
木村義雄君　西區梅本町一（日東コンクリート株式會社）
阪本政一君　滿洲國新京市至善路第五代用官舍七六號芹川方
繁岡鎭君　山口市芳澤町二一七六兒玉方
桑田美代治君　門司市大里新町海岸通（株式會社清水組出張員詰所內）
和中直一君　株式會社石川鐵工所
岡本金男君　筧組（電土4758）
染井武治君　染井建築事務所
中村靜雄君　大阪鐵道局神戸保線區建築科
寺澤林吉君　東邦重工業株式會社建築係

改名

特別賛助員

服部圭佑君（舊名　吉雄）

會告

職員解傭並採用ノ件

書記　小板常男

昭和十四年九月三十日附依願解職

石田雅美

昭和十四年九月六日附採用

昭和十四年九月

社團法人　日本建築協會

編輯後記

●秋晴にして、萩がこぼれ虫の音が冴える。田には稻、山には果實が實り、海には銀鱗の獲物が躍る。年の中に最も生甲斐が感じられるのはこの頃である。

●だが今年の秋は、親しむべき燈火に電力の不足を感じ、大陸の原野に疲せたる馬の勞苦を思ふ。個人の收獲の豐さに鼓腹する前にその國家への影響を考へ、一人の增收を享樂する以前に、その全體への聯關に思を至さねばならぬ。反省の秋である。

●國家總動員法はこの精神から公布せられ、順次發動を見つゝあるが、中でも國民徵用令の實施は、手不足の建築界から多數の青年建築技術者を國家の重用任務に動員した點に於て、建築界に取つては、鐵鋼工作物築造許可規則以來の出來事である。

●日本建築協會は、この實施及實施法の對策に就いて、各方面に意見を乞ふた所、伊藤滋山田守、吉村辰夫、中山元晴の諸氏の執筆を得て、本問題に對する建築家の意向を知ることが出來た故に、こゝにこれを揭げて大方の參考に資し度いと思ふ。執筆者の勞を多謝する。

●關谷房春氏の「防毒について」は氏の專門的立場よりの研究であり、防護室設計のよき參考資料である。

●紫煙室の原稿を募集する。なるべく變つた顏振からの潑剌たる文章を歡迎する。

●支那事變には或程度の見通しが附いた樣に思はれるが、戰時體制は今後も益々强化せられるであらう。建築界も尙多端である。會員諸君と共によく耐えよく戰はんと思ふ。

（新名種夫）

建築と社會

第22輯　第10號

毎月1回1日發行　定價　1册　50錢（郵稅3錢）
12册　6圓（〃36錢）
昭和14年10月1日印刷　昭和14年10月5日發行

發行・編輯兼印刷人　戶川弘
大阪市北區朝日ビル日本建築協會內
印刷所　プラトン印刷社
大阪市西區江戶堀南通2丁目13番地
發行所　社團法人　日本建築協會
大阪市北區中之島3ノ3　朝日ビル
電話長北濱(23)4501番(9)
振替口座大阪39975番
特約販賣店　柳々堂書店
大阪市西區京町堀羽子板橋西
電話土佐堀2440番
振替口座大阪2084番

禁轉載

本號に揭載せるものは、一切これを無斷にて轉載し又は單行本に上梓その他の複製行爲をなすことを禁ず。

廣告揭載料金

普通	1頁	1回	15,00
普通	½頁	1回	8,00
普通（前附第1頁）	1頁	1回	45,00
普通（前附第2頁）	1頁	1回	40,00
普通（後附第1及最終頁）	1頁	1回	25,00
アート（中挿）	½頁	1回	20,00
表紙2	1頁	1回	60,00
表紙3	1頁	1回	45,00
表紙4	1頁	1回	80,00
建築事務所錄	1欄	1回	1,50
（建築關係業者案內）	1欄	1回	5,00

廣告揭載御申込は本會へ直接願ひます。
本誌購讀御注文はすべて前金で本會直接又は特約店へ、振替貯金又は爲替で御拂込を願ひます。郵券代用は一割增、代金引換はお斷り致します。

"建築と社會" 第22輯 第10號　廣告索引

ア　旭硝子株式會社……10
　　淺野スレート株式會社……13
　　旭レール株式會社……1
エ　榮進社……23
　　荏原製作所……27
オ　大阪窯業セメント株式會社……中挿
　　大阪伊丹商店……22
　　大野製作所……表紙 2
　　岡田建材店……19
　　奥村重兵衛商店……21
カ　關城化學工業株式會社……表紙 4
キ　桐田商會……16
ク　久保商店……17
サ　坂田ベンチレーター製作所……4
　　佐村木商店……28
　　佐久間工業株式會社……11
　　三英電機製作所……25
　　三正商會……17
ス　須賀商會……29
セ　政正合資會社……8
タ　田島應用化工株式會社……30
　　大洋組……2
ト　東洋リノリユーム株式會社……表紙 3
　　東京芝浦電氣株式會社マツダ支社……24
ナ　名古屋製陶株式會社大阪出張所……6
　　南浦產業建材合資會社……14
　　內外土木建築材料合資會社……22
ニ　日本建築紙工株式會社……14
　　日本金具株式會社……中挿
　　日本陶業社……4
　　日本機械工業株式會社大阪支店……26
　　日東物產株式會社……12
　　西原衛生工業所……9
　　西孫南店建築金物部……5
ノ　野澤幸三郎商店……20
ヒ　平松釣戸車製造所……18
マ　松井商店……8
　　松下電器株式會社コンデット部……3
ミ　三井物產株式會社……7
ム　村田商會……前附 1
ヤ　矢橋大理石商店……5
ヨ　横河橋梁製作所……15
　　淀川鐵工所……19